

第8回

# 和牛甲子園

## 結果報告書



和牛甲子園

令和7年1月16日・17日

全農

主催：全国農業協同組合連合会

後援：文部科学省  
農林水産省  
独立行政法人農畜産業振興機構  
独立行政法人家畜改良センター  
東京都中央卸売市場食肉市場  
東京食肉市場株式会社  
全国農業高等学校長協会  
日本学校農業クラブ連盟  
公益財団法人全国学校農場協会  
公益社団法人全国食肉学校  
一般社団法人全国農業協同組合中央会  
JA全農ミートフーズ株式会社

協賛：公益社団法人中央畜産会  
公益社団法人全国食肉学校  
農林中央金庫  
三洋貿易株式会社  
株式会社ワイピーテック  
共栄火災海上保険株式会社  
株式会社日本農業新聞  
協同乳業株式会社  
全農畜産サービス株式会社  
株式会社科学飼料研究所  
株式会社全農ビジネスサポート  
全農サイロ株式会社  
ホクレンくみあい飼料株式会社  
JA全農くみあい飼料株式会社  
南日本くみあい飼料株式会社  
全農チキンフーズ株式会社  
JA全農たまご株式会社  
JA全農ミートフーズ株式会社

第8回和牛甲子園ホームページ  
大会の様子はこちらでもご覧いただけます。  
<https://wagyukoushien.com>



大会当日は、ライブ配信を行いました！

1日目：<https://youtube.com/live/4wTEJNhRYks?feature=share>  
2日目：<https://youtube.com/live/HFVb2V7eTc4?feature=share>



1日目



2日目





# 目次

|                                              |    |
|----------------------------------------------|----|
| 開会あいさつ                                       | 1  |
| 大会概要／タイムスケジュール                               | 2  |
| 開催意義・目的／出場校一覧                                | 3  |
| 和牛飼育体験発表会 タイトル                               | 4  |
| 出品牛一覧                                        | 5  |
| 選手宣誓／審査委員一覧                                  | 7  |
| 来賓祝辞（開会式）                                    | 8  |
| 主催者代表あいさつ（褒賞式）                               | 10 |
| 来賓祝辞（褒賞式）                                    | 11 |
| 大会結果                                         | 14 |
| 総合評価部門 最優秀賞                                  |    |
| 取組評価部門 優良賞 広島県立西条農業高等学校                      | 15 |
| 枝肉評価部門 優秀賞                                   |    |
| 取組評価部門 最優秀賞 岐阜県立加茂農林高等学校                     | 17 |
| 優秀賞 岐阜県立大垣養老高等学校                             | 19 |
| 優秀賞 鹿児島県立市来農芸高等学校                            | 20 |
| 優良賞・高校牛児特別賞 宮城県農業高等学校                        | 21 |
| 優良賞 宮崎県立高鍋農業高等学校                             | 22 |
| 審査委員特別賞 栃木県立矢板高等学校                           | 23 |
| 審査講評                                         | 24 |
| 体験発表会カンファレンス                                 | 26 |
| 取組評価部門 多田審査委員長から高校牛児へのメッセージ                  | 27 |
| 枝肉評価部門 最優秀賞 鹿児島県立鹿屋農業高等学校                    | 28 |
| 優秀賞 栃木県立矢板高等学校                               | 29 |
| 優秀賞 広島県立西条農業高等学校                             | 30 |
| 優良賞 福島県立磐城農業高等学校                             | 31 |
| 優良賞 栃木県立那須拓陽高等学校                             | 32 |
| 優良賞 鹿児島県立市来農芸高等学校                            | 33 |
| 審査委員特別賞 宮崎県立高鍋農業高等学校                         | 34 |
| 審査講評                                         | 35 |
| 枝肉断面一覧                                       | 40 |
| 第8回和牛甲子園 褒賞一覧および受賞結果                         | 48 |
| 令和6年度 第8回和牛甲子園- 枝肉評価部門（全国農業高等学校和牛枝肉共励会）- 成績表 | 49 |
| 先輩“高校牛児”講話                                   | 50 |
| 第8回和牛甲子園 特別授業（講演会）                           | 52 |
| 和牛甲子園に参加して                                   | 53 |
| 大会風景                                         | 74 |
| 第8回和牛甲子園 開催要領                                | 79 |
| 審査基準・褒賞について                                  | 87 |
| 協力者一覧                                        | 90 |







和牛甲子園

# 開会あいさつ



全国から集まった高校牛児の皆さん、こんにちは。ようこそ、和牛甲子園へ。

ただいまご紹介いただきました、全農の由井でございます。

主催者を代表しまして、ひとことごあいさつ申し上げます。

本日「第8回和牛甲子園」の開催にあたりまして、農林水産省様、文部科学省様、独立行政法人 農畜産業振興機構様、公益社団法人 中央畜産会様をはじめ、多くのご来賓、また多数の畜産食肉関係機関・団体のみなさまにご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

また、公益財団法人全国学校農場協会様、全国農業高等学校長協会様をはじめとする学校関係のみなさま、東京都中央卸売市場 食肉市場様、東京食肉市場 株式会社様はじめ、多くのご後援をいただきましたみなさま、ならびにご臨席いただいております審査委員の先生方には、

企画や準備の段階から格別のご指導を賜りましたことに御礼を申し上げます。

さて、昨年は元旦から能登半島地震、夏場にかけては山形・秋田、そして能登地方の豪雨災害など、自然災害が甚大な被害をもたらす年となりました。さらには、夏場の高温障害により農産物の生産も非常に大きな影響を受け、ここにご臨席の皆様におかれましても大変苦勞をされたことと思います。

そのようななか、こうして第8回目の和牛甲子園を開催できましたことは、我々にとって非常に大きな喜びであります。過去大会においては、感染症の影響によりWEB開催で制限されましたが、今年も実参加での開催が実現し、大変ありがたく思っております。本日のプログラムの中では、生徒同士の交流促進を目的とした「高校牛児交流会」も予定しています。この和牛甲子園には、全国で和牛生産に取り組んでおられる高校牛児の皆さんの交流の輪を広げていただきたいという大きな目的があります。ぜひ全国の仲間たちと情報を共有し、切磋琢磨することで、これからの人間関係を培っていただきたいと思います。加えて、先輩高校牛児による講話では、第5回大会で総合優勝を果たされた愛知県立渥美農業高等学校の卒業生に登壇していただきます。ぜひ楽しみになさってください。

本大会には、初出場となります3校を加え25の道府県から40校、また和牛においては過去最多となる63頭が出品され、主催者として大変嬉しく思っているところです。

さて、この大会の主人公である全国から集まった高校牛児のみなさんに、和牛甲子園の目的と開催者である私たちの思いについてお話しさせていただきます。

一つ目の目的は、ぜひ若いみなさんに将来の日本の和牛生産の担い手になってほしいということであります。残念ながら、わが国の肉牛生産農家は年々減少しています。みなさんの中には、高校に入学して初めて和牛に触れた方も多くおられると思いますが、みなさんの高校での活動を通して、和牛との触れあい、和牛の素晴らしさを実感していただき、ぜひ、「将来、自分も和牛生産を一生の仕事にしたい」と思ってもらえたら、これほど嬉しいことはありません。

二つ目の目的は、和牛甲子園のスローガンとなっておりますが、「みらいへつなぐ高校牛児の輪」ということで、和牛生産に携わっている高校牛児の仲間とこの瞬間を共有し、各高校でみなさんが取り組まれている独自の活動内容を情報交換することで、将来に繋がる和牛生産の輪を広げていただきたいと思います。

そして最後になりますが、私たちJAグループをはじめ、畜産関係者全員が高校生の取組みを心から応援していることをご理解いただけたらと思っております。

残念ながら、現在畜産を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあります。配合飼料や資材価格の高騰などに加え、国内でランピースキン病が初確認されるなど、家畜の疾病問題も非常に大きな課題になっています。こうしたなかではありますが、我々全農は「ちょっといい日に和牛をたべよう!」を合言葉に消費喚起策にも積極的に取り組んでおり、将来に残る日本の和牛生産を守っていきたく強い決意で事業に取り組んでまいります。

むすびになりますが、この2日間が、皆さまにとって有意義で充実したものとなりますことを祈念して、「第8回 和牛甲子園」開会の挨拶といたします。

二日間、よろしく願いいたします。

令和7年1月16日

全国農業協同組合連合会 常務理事

由井 琢也





和牛甲子園

# 大会概要／タイムスケジュール

## 和牛甲子園とは

全国には農業高校が300校余りあり、その中でも畜産学科が設置されている学校を中心に、授業やクラブ活動の一環として高校生の手によって和牛が飼育されています。そんな、全国の高校生と、彼らが育てた和牛が集まり、日ごろの和牛飼育の取り組みを発表し、その成果としての枝肉の肉質を競い合う大会、それが「和牛甲子園」です。

## 名称：第8回和牛甲子園

日程：令和7年1月16日（木）・17日（金）

1日目：和牛飼育体験発表会 他／2日目：和牛枝肉 勉強会・共励会 他

会場：品川グランドホール（THE GRAND HALL）／東京都中央卸売市場食肉市場

主催：全国農業協同組合連合会

後援：文部科学省、農林水産省、独立行政法人農畜産業振興機構、独立行政法人家畜改良センター、東京都中央卸売市場食肉市場、東京食肉市場株式会社、全国農業高等学校長協会、日本学校農業クラブ連盟、公益財団法人全国学校農場協会、公益社団法人全国食肉学校、一般社団法人全国農業協同組合中央会、JA全農ミートフーズ株式会社

協賛：公益社団法人中央畜産会、公益社団法人全国食肉学校、農林中央金庫、三洋貿易株式会社、株式会社ワイピーテック、共栄火災海上保険株式会社、株式会社日本農業新聞、協同乳業株式会社、全農畜産サービス株式会社、株式会社科学飼料研究所、株式会社全農ビジネスサポート、全農サイロ株式会社、ホクレンくみあい飼料株式会社、JA全農くみあい飼料株式会社、南日本くみあい飼料株式会社、全農チキンフーズ株式会社、JA全農たまご株式会社、JA全農ミートフーズ株式会社

## タイムスケジュール

### 1日目 1月16日（木）

| 時 間         | 次 第                          | 場 所                           |
|-------------|------------------------------|-------------------------------|
| 13：00～13：40 | 開会式                          | 品川グランドホール<br>(THE GRAND HALL) |
| 14：00～15：20 | 和牛飼育体験発表会<br>(結果発表・入賞校発表・講評) |                               |
| 15：30～16：10 | 高校牛児OB・OG講話                  |                               |
| 16：25～17：15 | 高校牛児交流会（第1部）                 |                               |
| 17：25～18：00 | 高校牛児交流会（第2部）                 |                               |
|             | 1日目終了                        |                               |

### 2日目 1月17日（金）

| 時 間         | 次 第            | 場 所                           |
|-------------|----------------|-------------------------------|
| 7：30～8：45   | 和牛枝肉勉強会        | 東京都中央卸売市場食肉市場                 |
| 8：45～9：45   | 和牛枝肉共励会        |                               |
| 9：45～11：00  | 移動             |                               |
| 11：00～12：00 | 特別授業（講演会）      | 品川グランドホール<br>(THE GRAND HALL) |
| 12：00～12：50 | 昼食・休憩          |                               |
| 12：50～13：20 | 枝肉勉強会まとめ 入賞牛解説 |                               |
| 13：35～14：45 | 褒賞式            |                               |
| 14：45～15：20 | 入賞校写真撮影・取材     |                               |
|             | 解散             |                               |

※大会の進行によっては、時間が前後する可能性があります。



和牛甲子園

# 開催意義・目的／出場校一覧

## 1 参加生徒の目標・目的意識の場の設定

農業高校において和牛飼育実習を行っている生徒に対し、目標となる場を設定し、「和牛甲子園大会出場」という目標・目的意識をもたせることにより、学習効果の向上と合わせ、畜産業界への関心を高めてもらう。

## 2 将来の担い手候補である高校生間のネットワーク作り

“高校牛児”として同じ志を持つライバルを日本各地に見出し、お互いに切磋琢磨し合うような同世代との交流の場を創出する。

## 第8回和牛甲子園出場校一覧

| 学校<br>No. | 出品<br>No. | 出 場 校           | 出場<br>回数 | 出品<br>頭数 | (参考)<br>第7回和牛甲子園の結果                          |
|-----------|-----------|-----------------|----------|----------|----------------------------------------------|
| 1         | -         | 北海道岩見沢農業高等学校    | 初        | ※        |                                              |
| 2         | -         | 北海道帯広農業高等学校     | 初        | ※        |                                              |
| 3         | 1,2       | 青森県立三本木農業恵拓高等学校 | 5        | 2        |                                              |
| 4         | 3,4       | 岩手県立水沢農業高等学校    | 8        | 2        |                                              |
| 5         | 5,6       | 岩手県立盛岡農業高等学校    | 5        | 2        |                                              |
| 6         | 7         | 岩手県立花巻農業高等学校    | 4        | 1        |                                              |
| 7         | 8         | 宮城県農業高等学校       | 4        | 1        |                                              |
| 8         | 9,10      | 福島県立会津農林高等学校    | 6        | 2        | 枝肉評価部門 優秀賞                                   |
| 9         | 11,12     | 福島県立磐城農業高等学校    | 5        | 2        |                                              |
| 10        | 13,14     | 茨城県立水戸農業高等学校    | 3        | 2        |                                              |
| 11        | 15,16     | 栃木県立宇都宮白楊高等学校   | 8        | 2        |                                              |
| 12        | 17,18     | 栃木県立鹿沼南高等学校     | 8        | 2        |                                              |
| 13        | 19,20     | 栃木県立栃木農業高等学校    | 8        | 2        | 枝肉評価部門 審査委員特別賞                               |
| 14        | 21,22     | 栃木県立那須拓陽高等学校    | 8        | 2        |                                              |
| 15        | 23,24     | 栃木県立真岡北陵高等学校    | 7        | 2        |                                              |
| 16        | 25,26     | 栃木県立矢板高等学校      | 8        | 2        |                                              |
| 17        | 27,28     | 群馬県立利根実業高等学校    | 6        | 2        |                                              |
| 18        | 29        | 神奈川県立中央農業高等学校   | 6        | 1        | 取組評価部門 優秀賞                                   |
| 19        | 30        | 富山県立中央農業高等学校    | 8        | 1        |                                              |
| 20        | 31,32     | 岐阜県立大垣養老高等学校    | 7        | 2        | 取組評価部門 優良賞<br>取組評価部門 最優秀賞                    |
| 21        | 33,34     | 岐阜県立加茂農林高等学校    | 8        | 2        | 取組評価部門 高校牛児特別賞                               |
| 22        | 35,36     | 岐阜県立飛騨高山高等学校    | 8        | 2        | 枝肉評価部門 優秀賞                                   |
| 23        | 37,38     | 愛知県立渥美農業高等学校    | 6        | 2        | 取組評価部門 優良賞                                   |
| 24        | 39,40     | 滋賀県立長浜農業高等学校    | 7        | 2        |                                              |
| 25        | 41,42     | 京都府立農芸高等学校      | 3        | 2        | 取組評価部門 審査委員特別賞<br>枝肉評価部門 優良賞                 |
| 26        | 43        | 兵庫県立但馬農業高等学校    | 初        | 1        |                                              |
| 27        | 44,45     | 島根県立出雲農林高等学校    | 8        | 2        |                                              |
| 28        | 46        | 岡山県立瀬戸南高等学校     | 6        | 1        |                                              |
| 29        | 47        | 広島県立西条農業高等学校    | 6        | 1        |                                              |
| 30        | 48        | 広島県立庄原実業高等学校    | 4        | 1        |                                              |
| 31        | 49        | 山口県立大津緑洋高等学校    | 5        | 1        |                                              |
| 32        | 50        | 福岡県立糸島農業高等学校    | 2        | 1        |                                              |
| 33        | 51        | 大分県立久住高原農業高等学校  | 2        | 1        |                                              |
| 34        | 52        | 佐賀県立唐津南高等学校     | 8        | 1        |                                              |
| 35        | 53        | 長崎県立諫早農業高等学校    | 5        | 1        |                                              |
| 36        | 54,55     | 宮崎県立高鍋農業高等学校    | 4        | 2        | 取組評価部門 優良賞<br>枝肉評価部門 優良賞                     |
| 37        | 56,57     | 鹿児島県立市来農芸高等学校   | 7        | 2        | 取組評価部門 優秀賞<br>枝肉評価部門 優良賞                     |
| 38        | 58,59     | 鹿児島県立鶴翔高等学校     | 8        | 2        |                                              |
| 39        | 60,61     | 鹿児島県立鹿屋農業高等学校   | 8        | 2        | 総合評価部門 最優秀賞<br>取組評価部門 審査委員特別賞<br>枝肉評価部門 最優秀賞 |
| 40        | 62,63     | 鹿児島県立曾於高等学校     | 7        | 2        |                                              |
| 合計        |           |                 |          | 63       |                                              |

※第3回大会より、次年度の和牛甲子園に出場予定の高校については、和牛飼育体験発表会のみでの出場も可能としている。



和牛甲子園

# 和牛飼育体験発表会 タイトル

## 和牛飼育体験発表会

| 学校<br>No. | 学校名             | 題 名                                      |
|-----------|-----------------|------------------------------------------|
| 1         | 北海道岩見沢農業高等学校    | 挑戦! 0から始まる岩農和牛                           |
| 2         | 北海道帯広農業高等学校     | 十勝から羽ばたき新たな頂へ〜「十勝和牛」日本一への挑戦〜             |
| 3         | 青森県立三本木農業恵拓高等学校 | 目指せ!! 美味しい牛肉生産!! 脂・赤身・環境の3観点の充実を目指して!!   |
| 4         | 岩手県立水沢農業高等学校    | 酒粕けえして、うんめえべゴになりました! パートⅡ & 水農産米ぬかの効果を検証 |
| 5         | 岩手県立盛岡農業高等学校    | 未来に繋ぐ私たちの甘酸っぱい挑戦                         |
| 6         | 岩手県立花巻農業高等学校    | 強守桜と私たち 〜続・健康的で快適な肥育管理を目指して〜             |
| 7         | 宮城県農業高等学校       | 環境保全を礎に世界へ挑む仙台牛の挑戦                       |
| 8         | 福島県立会津農林高等学校    | 私たちの愛情と会津の酒かすで育てた「会農牛」                   |
| 9         | 福島県立磐城農業高等学校    | クズ梨を使った和牛ストーリー                           |
| 10        | 茨城県立水戸農業高等学校    | 目指せA5! ねば〜る計画 〜安心・安全な和牛生産をアピールして2024〜    |
| 11        | 栃木県立宇都宮白楊高等学校   | 白楊高校本年度の取組について                           |
| 12        | 栃木県立鹿沼南高等学校     | 鹿南生の牛への情熱が燃えています!! 牛の能力を引き出すぞ。オー         |
| 13        | 栃木県立栃木農業高等学校    | 栃農高 動物科学科 牛と私たちの活動記録 2024                |
| 14        | 栃木県立那須拓陽高等学校    | 私たちの「匠」物語                                |
| 15        | 栃木県立真岡北陵高等学校    | にんじん森森で畜産の未来を元気モリモリに!                    |
| 16        | 栃木県立矢板高等学校      | 持続可能な肉牛生産を目指して 〜心土不二とフェーズフリー〜            |
| 17        | 群馬県立利根実業高等学校    | 沼田から日本へ! 〜ブランド化を目指して〜                    |
| 18        | 神奈川県立中央農業高等学校   | あなたと牛と〜都市と歩む和牛飼育を目指して〜                   |
| 19        | 富山県立中央農業高等学校    | JGAP認証のその先 PlusUltra                     |
| 20        | 岐阜県立大垣養老高等学校    | 岐阜県の輪 〜 消費者の求める牛肉を目指して 〜                 |
| 21        | 岐阜県立加茂農林高等学校    | 飛騨Gyu Real 〜通知から始まる私たちの日常〜               |
| 22        | 岐阜県立飛騨高山高等学校    | おいしさの追究                                  |
| 23        | 愛知県立渥美農業高等学校    | 牛たちが嫌う小さなアイツ〜ハエに対する総合的防除に挑戦〜             |
| 24        | 滋賀県立長浜農業高等学校    | 消費者が求めるお肉                                |
| 25        | 京都府立農芸高等学校      | 安心・安全でおいしい和牛肉を京都の皆様へ 〜農場HACCPの取組み・普及活動〜  |
| 26        | 兵庫県立但馬農業高等学校    | 世界にはばたけ! 但馬牛 〜高肉質生産・環境・AWの調和を目指して〜       |
| 27        | 島根県立出雲農林高等学校    | かあなんだ!? しまね和牛!! 〜目指せ! 日本一の肉質! 〜          |
| 28        | 岡山県立瀬戸南高等学校     | 牛に寄り添ったストレス軽減〜夏を乗り越えて立派な牛に〜              |
| 29        | 広島県立西条農業高等学校    | 広島和牛に新たな息吹を! 〜地域と目指すブランド向上〜              |
| 30        | 広島県立庄原実業高等学校    | 比婆牛の新たな価値を創造する                           |
| 31        | 山口県立大津緑洋高等学校    | Change the Future with まつり 〜酒粕とオリーブ粕の活用〜 |
| 32        | 福岡県立糸島農業高等学校    | 世界に誇る博多和牛生産〜糸島の魅力をギュッと詰めこんで〜             |
| 33        | 大分県立久住高原農業高等学校  | 三輝の成長日記「健康・愛情・連携」                        |
| 34        | 佐賀県立唐津南高等学校     | 佐賀県から姫福を!! 〜佐賀牛をモーッと全国へ〜                 |
| 35        | 長崎県立諫早農業高等学校    | 衛生環境に配慮した「クリーンミート」の生産                    |
| 36        | 宮崎県立高鍋農業高等学校    | 牛愛牛尽 〜えのきの力は無限大 第2章〜                     |
| 37        | 鹿児島県立市来農芸高等学校   | ピンチをチャンスに! 〜よりよい肉質目指して、牛と私たちの青春物語〜       |
| 38        | 鹿児島県立鶴翔高等学校     | 人にもウシにもやさしく                              |
| 39        | 鹿児島県立鹿屋農業高等学校   | 和牛の魅力は未来への宝箱 〜地域でエサから作る「本物の地産和牛」始めました〜   |
| 40        | 鹿児島県立曽於高等学校     | 一貫経営のレベルアップを目指して〜今年から変わった我らの和牛生産〜        |



和牛甲子園

## 出品牛一覧

| 出品<br>番号 | 性別 | 県   | 農協名       | 学校名<br>(出品者氏名)      | 住所       | 素牛産地 | 自家産 | 血統   |       |       |    | 生後<br>月齢 | 生年月日        | 個体識別番号 |
|----------|----|-----|-----------|---------------------|----------|------|-----|------|-------|-------|----|----------|-------------|--------|
|          |    |     |           |                     |          |      | ○   | 父    | 母の父   | 母の祖父  |    |          |             |        |
| 1        | 去勢 | 青森  | JA十和田おいらせ | 青森県立<br>三本木農業恵拓高等学校 | 青森県十和田市  | 青森県  | ○   | 忠光安  | 第1花国  | 福栄    | 33 | R4.4.14  | 16368-20482 |        |
| 2        | 去勢 | 青森  | JA十和田おいらせ | 青森県立<br>三本木農業恵拓高等学校 | 青森県十和田市  | 青森県  | ○   | 福之姫  | 百合白清2 | 安福久   | 28 | R4.8.23  | 16368-20499 |        |
| 3        | 去勢 | 岩手  | JA岩手ふるさと  | 岩手県立<br>水沢農業高等学校    | 岩手県奥州市   | 岩手県  | ○   | 知恵久  | 百合白清2 | 勝忠平   | 31 | R4.6.7   | 16126-82585 |        |
| 4        | 去勢 | 岩手  | JA岩手ふるさと  | 岩手県立<br>水沢農業高等学校    | 岩手県奥州市   | 岩手県  | ○   | 結乃宝  | 美津百合  | 安福久   | 28 | R4.8.22  | 16126-82615 |        |
| 5        | 雌  | 岩手  | JA新しいわて   | 岩手県立<br>盛岡農業高等学校    | 岩手県滝沢市   | 岩手県  | ○   | 吉重75 | 茂洋    | 勝忠平   | 29 | R4.7.20  | 16005-12922 |        |
| 6        | 雌  | 岩手  | JA新しいわて   | 岩手県立<br>盛岡農業高等学校    | 岩手県滝沢市   | 岩手県  | ○   | 百合未来 | 隆富志   | 菊福秀   | 30 | R4.6.30  | 16005-12887 |        |
| 7        | 去勢 | 岩手  | JAいわて花巻   | 岩手県立<br>花巻農業高等学校    | 岩手県花巻市   | 岩手県  | ○   | 紀多福  | 美国桜   | 百合白清2 | 33 | R4.4.15  | 13877-97897 |        |
| 8        | 去勢 | 宮城  | JA名取岩沼    | 宮城県<br>農業高等学校       | 宮城県名取市   | 宮城県  | ○   | 勝早桜5 | 百合茂   | 安福久   | 32 | R4.5.9   | 15577-15096 |        |
| 9        | 去勢 | 福島  | JA会津よつば   | 福島県立<br>会津農林高等学校    | 福島県河沼郡   | 福島県  |     | 若百合  | 幸紀雄   | 安福久   | 30 | R4.7.12  | 15494-93445 |        |
| 10       | 雌  | 福島  | JA会津よつば   | 福島県立<br>会津農林高等学校    | 福島県河沼郡   | 福島   |     | 若百合  | 美津照重  | 諒太郎   | 30 | R4.7.4   | 14553-93846 |        |
| 11       | 雌  | 福島  | JA福島さくら   | 福島県立<br>磐城農業高等学校    | 福島県いわき市  | 福島県  | ○   | 幸紀雄  | 美国桜   | 華春福   | 30 | R4.7.5   | 15869-60696 |        |
| 12       | 雌  | 福島  | JA福島さくら   | 福島県立<br>磐城農業高等学校    | 福島県いわき市  | 福島県  |     | 茂晴花  | 幸紀雄   | 美津照重  | 30 | R4.7.5   | 14178-89097 |        |
| 13       | 去勢 | 茨城  | JA常陸      | 茨城県立<br>水戸農業高等学校    | 茨城県那珂市   | 茨城県  |     | 北平関  | 美津照重  | 安福久   | 29 | R4.8.2   | 16472-78876 |        |
| 14       | 去勢 | 茨城  | JA常陸      | 茨城県立<br>水戸農業高等学校    | 茨城県那珂市   | 茨城県  |     | 那珂茂晴 | 北国関7  | 平茂勝   | 28 | R4.8.21  | 13651-66462 |        |
| 15       | 去勢 | 栃木  | JAしおのや    | 栃木県立<br>宇都宮白楊高等学校   | 栃木県宇都宮市  | 栃木県  |     | 福之姫  | 耕富士   | 美国桜   | 28 | R4.8.21  | 08728-74716 |        |
| 16       | 去勢 | 栃木  | JAしおのや    | 栃木県立<br>宇都宮白楊高等学校   | 栃木県宇都宮市  | 栃木県  | ○   | 若百合  | 光平照   | 菊福秀   | 29 | R4.8.9   | 14006-28344 |        |
| 17       | 去勢 | 栃木  | JAかみつが    | 栃木県立<br>鹿沼南高等学校     | 栃木県鹿沼市   | 栃木県  | ○   | 勝乃幸  | 美津照重  | 安茂勝   | 29 | R4.7.21  | 16304-70256 |        |
| 18       | 去勢 | 栃木  | JAかみつが    | 栃木県立<br>鹿沼南高等学校     | 栃木県鹿沼市   | 栃木県  | ○   | 百太   | 美津照重  | 金幸    | 29 | R4.8.1   | 16304-70263 |        |
| 19       | 去勢 | 栃木  | JAしもつけ    | 栃木県立<br>栃木農業高等学校    | 栃木県栃木市   | 栃木県  |     | 吉重75 | 百合茂   | 安福久   | 30 | R4.7.4   | 15423-54071 |        |
| 20       | 去勢 | 栃木  | JAしもつけ    | 栃木県立<br>栃木農業高等学校    | 栃木県栃木市   | 栃木県  | ○   | 勝乃幸  | 福之姫   | 茂勝栄   | 30 | R4.7.2   | 13826-51071 |        |
| 21       | 去勢 | 栃木  | JAなすの     | 栃木県立<br>那須拓陽高等学校    | 栃木県那須塩原市 | 栃木県  | ○   | 福之姫  | 安福久   | 平茂勝   | 33 | R4.4.4   | 16457-78798 |        |
| 22       | 去勢 | 栃木  | JAなすの     | 栃木県立<br>那須拓陽高等学校    | 栃木県那須塩原市 | 栃木県  |     | 愛之国  | 美国桜   | 百合茂   | 28 | R4.8.20  | 16690-10768 |        |
| 23       | 去勢 | 栃木  | JAはが野     | 栃木県立<br>真岡北陵高等学校    | 栃木県真岡市   | 栃木県  | ○   | 紀多福  | 若百合   | 安福久   | 32 | R4.4.22  | 16519-89508 |        |
| 24       | 去勢 | 栃木  | JAはが野     | 栃木県立<br>真岡北陵高等学校    | 栃木県真岡市   | 栃木県  | ○   | 那奈雄  | 若百合   | 安福久   | 30 | R4.6.29  | 16519-89577 |        |
| 25       | 雌  | 栃木  | JAしおのや    | 栃木県立<br>矢板高等学校      | 栃木県矢板市   | 栃木県  | ○   | 若百合  | 安福久   | 第1花国  | 33 | R4.3.26  | 16197-11714 |        |
| 26       | 去勢 | 栃木  | JAしおのや    | 栃木県立<br>矢板高等学校      | 栃木県矢板市   | 栃木県  |     | 関平照  | 諒太郎   | 安福久   | 29 | R4.7.26  | 14686-94596 |        |
| 27       | 去勢 | 群馬  | JA利根沼田    | 群馬県立<br>利根実業高等学校    | 群馬県沼田市   | 栃木県  | ○   | 若百合  | 福安照   | 茂勝栄   | 30 | R4.6.25  | 16368-04390 |        |
| 28       | 去勢 | 群馬  | JA利根沼田    | 群馬県立<br>利根実業高等学校    | 群馬県沼田市   | 栃木県  | ○   | 福之姫  | 幸紀雄   | 美津照重  | 30 | R4.7.9   | 16368-04406 |        |
| 29       | 去勢 | 神奈川 | JAさがみ     | 神奈川県立<br>中央農業高等学校   | 神奈川県海老名市 | 神奈川県 | ○   | 愛之国  | 福安照   | 平茂勝   | 32 | R4.5.7   | 16398-41071 |        |
| 30       | 去勢 | 富山  | JAあおば     | 富山県立<br>中央農業高等学校    | 富山県富山市   | 富山県  | ○   | 美津百合 | 安茂勝   | 松福美   | 30 | R4.7.10  | 16168-63942 |        |
| 31       | 去勢 | 岐阜  | JAにしみの    | 岐阜県立<br>大垣養老高等学校    | 岐阜県養老郡   | 岐阜県  | ○   | 花福桜  | 花清国   | 光平福   | 30 | R4.6.29  | 15446-02767 |        |
| 32       | 去勢 | 岐阜  | JAにしみの    | 岐阜県立<br>大垣養老高等学校    | 岐阜県養老郡   | 岐阜県  |     | 孝隆平  | 美津照重  | 華春福   | 31 | R4.6.15  | 15018-00106 |        |



和牛甲子園

## 出品牛一覧

| 出品<br>番号 | 性別 | 県   | 農協名                           | 学校名<br>(出品者氏名)     | 住所              | 素牛産地 | 自家産 | 血統    |            |      |    | 生後<br>月齢 | 生年月日        | 個体識別番号 |
|----------|----|-----|-------------------------------|--------------------|-----------------|------|-----|-------|------------|------|----|----------|-------------|--------|
|          |    |     |                               |                    |                 |      | ○   | 父     | 母の父        | 母の祖父 |    |          |             |        |
| 33       | 雌  | 岐阜  | JAめぐみの                        | 岐阜県立<br>加茂農林高等学校   | 岐阜県美濃加茂市        | 岐阜県  |     | 花清光   | 幸紀雄        | 勝忠平  | 29 | R4.7.20  | 16558-80481 |        |
| 34       | 雌  | 岐阜  | JAめぐみの                        | 岐阜県立<br>加茂農林高等学校   | 岐阜県美濃加茂市        | 岐阜県  |     | 花清光   | 福増         | 花清勝  | 29 | R4.8.2   | 16480-75450 |        |
| 35       | 雌  | 岐阜  | JAひだ                          | 岐阜県立<br>飛騨高山高等学校   | 岐阜県高山市          | 岐阜県  | ○   | 花清光   | 福平国        | 光平福  | 30 | R4.7.1   | 13937-82931 |        |
| 36       | 雌  | 岐阜  | JAひだ                          | 岐阜県立<br>飛騨高山高等学校   | 岐阜県高山市          | 岐阜県  | ○   | 花福桜   | 白清85の<br>3 | 忠富士  | 29 | R4.7.23  | 13937-82955 |        |
| 37       | 去勢 | 愛知  | JA愛知みなみ                       | 愛知県立<br>渥美農業高等学校   | 愛知県田原市          | 愛知県  | ○   | 福之姫   | 幸紀雄        | 安福久  | 32 | R4.4.28  | 16199-74614 |        |
| 38       | 去勢 | 愛知  | JA愛知みなみ                       | 愛知県立<br>渥美農業高等学校   | 愛知県田原市          | 愛知県  | ○   | 諒太郎   | 第1花国       | 安平   | 30 | R4.6.21  | 16199-74638 |        |
| 39       | 雌  | 滋賀  | JA全農滋賀県本部                     | 滋賀県立<br>長浜農業高等学校   | 滋賀県長浜市          | 滋賀県  | ○   | 光平栄   | 美津茂重       | 安茂勝  | 34 | R4.3.1   | 16321-62838 |        |
| 40       | 雌  | 滋賀  | JA全農滋賀県本部                     | 滋賀県立<br>長浜農業高等学校   | 滋賀県長浜市          | 滋賀県  | ○   | 秋忠平   | 安茂勝        | 第6栄  | 31 | R4.6.6   | 16321-62845 |        |
| 41       | 去勢 | 京都  | JA京都                          | 京都府立<br>農芸高等学校     | 京都府南丹市          | 京都府  | ○   | 直太郎   | 安福久        | 百合茂  | 32 | R4.5.16  | 16599-32100 |        |
| 42       | 去勢 | 京都  | JA京都                          | 京都府立<br>農芸高等学校     | 京都府南丹市          | 京都府  |     | 百合未来  | 安福久        | 百合茂  | 30 | R4.6.29  | 16168-67995 |        |
| 43       | 雌  | 兵庫  | JAたじま                         | 兵庫県立<br>但馬農業高等学校   | 兵庫県養父市          | 兵庫県  | ○   | 丸若土井  | 芳山土井       | 芳悠土井 | 42 | R3.6.18  | 16450-10768 |        |
| 44       | 雌  | 島根  | JAしまね                         | 島根県立<br>出雲農林高等学校   | 島根県出雲市          | 島根県  | ○   | 暁之藤   | 本忠福        | 芳之国  | 34 | R4.3.11  | 16369-50806 |        |
| 45       | 去勢 | 島根  | JAしまね                         | 島根県立<br>出雲農林高等学校   | 島根県出雲市          | 島根県  | ○   | 本忠福   | 美国桜        | 勝忠平  | 34 | R4.3.16  | 16369-50813 |        |
| 46       | 雌  | 岡山  | JA晴れの国岡山<br>岡山東広域営農<br>経済センター | 岡山県立<br>瀬戸南高等学校    | 岡山県岡山市          | 岡山県  | ○   | 隆久勝   | 福之姫        | 美津福  | 30 | R4.7.3   | 13981-02710 |        |
| 47       | 去勢 | 広島  | JAひろしま                        | 広島県立<br>西条農業高等学校   | 広島県東広島市         | 広島県  | ○   | 福之姫   | 安福久        | 安茂勝  | 25 | R4.11.25 | 15088-33152 |        |
| 48       | 去勢 | 広島  | JAひろしま                        | 広島県立<br>庄原実業高等学校   | 広島県庄原市          | 広島県  | ○   | 花勝百合  | 諒太郎        | 安福久  | 30 | R4.6.24  | 15646-64530 |        |
| 49       | 雌  | 山口  | JA山口県                         | 山口県立<br>大津緑洋高等学校   | 山口県長門市          | 山口県  | ○   | 幸紀雄   | 隆安国        | 安福久  | 30 | R4.7.6   | 15987-09221 |        |
| 50       | 去勢 | 福岡  | JA糸島                          | 福岡県立<br>糸島農業高等学校   | 福岡県糸島市          | 福岡県  |     | 百合白清2 | 福之姫        | 安福久  | 26 | R4.10.19 | 16264-55151 |        |
| 51       | 去勢 | 大分  | JAおおい                         | 大分県立<br>久住高原農業高等学校 | 大分県竹田市          | 大分県  | ○   | 桜花久   | 安森照        | 寿恵高福 | 28 | R4.8.28  | 14812-19004 |        |
| 52       | 去勢 | 佐賀  | JAからつ                         | 佐賀県立<br>唐津南高等学校    | 佐賀県唐津市          | 佐賀県  |     | 福之姫   | 安福久        | 勝忠平  | 31 | R4.6.13  | 14088-77959 |        |
| 53       | 去勢 | 長崎  | JAながさき県央                      | 長崎県立<br>諫早農業高等学校   | 長崎県諫早市          | 長崎県  | ○   | 勝乃幸   | 安平栄        | 平茂晴  | 33 | R4.4.15  | 16508-10483 |        |
| 54       | 去勢 | 宮崎  | JA児湯                          | 宮崎県立<br>高鍋農業高等学校   | 宮崎県児湯郡          | 宮崎県  | ○   | 神照栄   | 勝平正        | 福之国  | 32 | R4.5.12  | 13547-57657 |        |
| 55       | 去勢 | 宮崎  | JA児湯                          | 宮崎県立<br>高鍋農業高等学校   | 宮崎県児湯郡          | 宮崎県  | ○   | 神照栄   | 安福久        | 忠富士  | 31 | R4.5.27  | 16477-57685 |        |
| 56       | 去勢 | 鹿児島 | JAさつま日置                       | 鹿児島県立<br>市来農芸高等学校  | 鹿児島県<br>いちき串木野市 | 鹿児島県 | ○   | 華忠良   | 安福久        | 百合茂  | 30 | R4.7.8   | 16447-15046 |        |
| 57       | 去勢 | 鹿児島 | JAさつま日置                       | 鹿児島県立<br>市来農芸高等学校  | 鹿児島県<br>いちき串木野市 | 鹿児島県 | ○   | 秀幸福   | 安福久        | 百合茂  | 26 | R4.11.5  | 16447-15282 |        |
| 58       | 去勢 | 鹿児島 | JA鹿児島いずみ                      | 鹿児島県立<br>鶴翔高等学校    | 鹿児島県阿久根市        | 鹿児島県 | ○   | 諒太郎   | 喜亀忠        | 百合茂  | 30 | R4.6.29  | 13825-64227 |        |
| 59       | 去勢 | 鹿児島 | JA鹿児島いずみ                      | 鹿児島県立<br>鶴翔高等学校    | 鹿児島県阿久根市        | 鹿児島県 | ○   | 諒太郎   | 美国桜        | 華春福  | 29 | R4.7.19  | 13825-67310 |        |
| 60       | 去勢 | 鹿児島 | JA鹿児島きもつき                     | 鹿児島県立<br>鹿屋農業高等学校  | 鹿児島県鹿屋市         | 鹿児島県 | ○   | 安亀忠   | 安福久        | 勝忠平  | 31 | R4.5.26  | 16130-31757 |        |
| 61       | 去勢 | 鹿児島 | JA鹿児島きもつき                     | 鹿児島県立<br>鹿屋農業高等学校  | 鹿児島県鹿屋市         | 鹿児島県 | ○   | 喜亀忠   | 安福久        | 金幸   | 30 | R4.6.26  | 16130-31801 |        |
| 62       | 去勢 | 鹿児島 | JAそお鹿児島                       | 鹿児島県立<br>曾於高等学校    | 鹿児島県曾於市         | 鹿児島県 | ○   | 梅華福   | 安福久        | 勝忠平  | 31 | R4.5.25  | 15191-54222 |        |
| 63       | 雌  | 鹿児島 | JAそお鹿児島                       | 鹿児島県立<br>曾於高等学校    | 鹿児島県曾於市         | 鹿児島県 | ○   | 華義福   | 喜亀忠        | 安福久  | 32 | R4.4.23  | 16561-03398 |        |



和牛甲子園

# 選手宣誓／審査委員一覧

## 選手宣誓



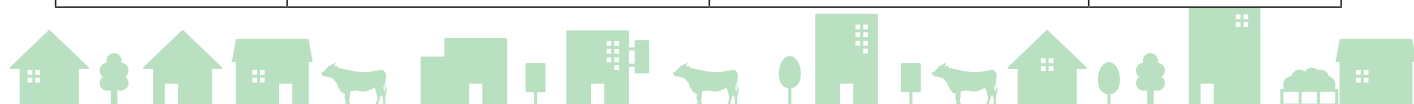
福島県立会津農林高等学校  
(開会式)



神奈川県立中央農業高等学校  
(枝肉共励会)

## 審査委員

|                   | 所属              | 役職                 | 審査委員名  |
|-------------------|-----------------|--------------------|--------|
| 総合審査委員長           | 全国農業協同組合連合会     | 畜産総合対策部長           | 佐藤 勸   |
| 審査委員長<br>(取組評価)   | 東京農業大学          | 農学部 教授             | 多田 耕太郎 |
| 審査委員<br>(取組・枝肉評価) | 独立行政法人 家畜改良センター | 鳥取牧場 場長            | 河村 正   |
| 審査委員<br>(取組評価)    | 公益社団法人 全国食肉学校   | 専務理事 学校長           | 小原 和仁  |
| 審査委員<br>(取組評価)    | 東京都立園芸高等学校      | 副校長                | 江森 忍   |
| 審査委員<br>(取組評価)    | 東京都立瑞穂農芸高等学校    | 農場主任<br>畜産科学科 主任教諭 | 伊勢 博祥  |
| 審査委員<br>(取組評価)    | 農林中金総合研究所       | 主任研究員              | 小田 志保  |
| 審査委員長<br>(枝肉評価)   | 公益社団法人 日本食肉格付協会 | 専務理事               | 小林 淳二  |
| 審査委員<br>(枝肉評価)    | 帯広畜産大学          | 畜産学部 教授            | 口田 圭吾  |
| 審査委員<br>(枝肉評価)    | 東京食肉市場株式会社      | 専務取締役              | 倉林 康樹  |
| 審査委員<br>(枝肉評価)    | 東京食肉市場株式会社      | 取締役                | 寺内 栄司  |
| 審査委員<br>(枝肉評価)    | JA全農ミートフーズ株式会社  | 常務取締役              | 前田 信吾  |



# 来賓祝辞（開会式）



この度はご盛会、誠にありがとうございます。また、お招きをいただき、ありがとうございました。

今年は、出品頭数が過去最多であると伺っております。全国の農業高校生が、日々熱心に和牛について学び、知識・技術の習得に取り組んでおられることを大変嬉しく、また、頼もしく感じます。

生徒の皆さんは、日頃、仲間とともに大切に牛を育てる中で、飼育技術にとどまらず、優しさ、たくましさ、あるいは、「我々はいのちをいただいて生かされている」といったこと、あるいは地域創生や環境問題についてなど、たくさんの極めて大切なことを学んでおられることと思います。

この度は、その成果を遺憾なく発揮されますとともに、全国の高校牛児が心をつなぎ、日本が世界に誇る和牛の未来をたくましく作っていただきたい、そんなふうに、思っているところです。

本大会のために大変なご尽力をされておられる関係の皆様、日頃より熱心に指導に当たられている先生方に心より敬意を表するとともに、生徒の皆さんにとって、実り多い大会となることを期待し、祝辞とさせていただきます。

令和7年1月16日

文部科学省 初等中等教育局 参事官（高等学校担当）付 産業教育振興室 教科調査官  
国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官

遠藤 友治



和牛甲子園

# 来賓祝辞（開会式）



皆さんこんにちは。公益財団法人全国学校農場協会の  
韭塚と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

第8回和牛甲子園が盛大に開催されること、誠におめで  
とうございます。

和牛甲子園も8回目となりましたが、この大会の人気  
は高く、農業高校の参加校も増え、ずいぶん定着してこら  
れたと思っています。これもJA全農様をはじめ、関係者

の努力のたまものと思っています。

12月10日の農業新聞を持ってきました。みんな良い顔で写っています。こう見ると女子生徒  
さんの人数が多いですね。

さて、私も農業の教員でしたので、かつてホルスタイン牛の肥育をしたことがあります。去  
勢牛です。北海道から子牛1頭を約8万～9万だったと思いますが、20頭買って約2年育てて  
700kgで売ります。1頭50万程度だったかと覚えています。それに比べると、和牛は、日本が  
誇る牛肉で高額で売れるのかと思っています。

今、海外では日本食ブームで、和牛について需要があるのかと思っています。ニュースでも  
訪日客から和牛の良さは格別だと語っています。

その和牛の魅力は、やはりやわらかさとジューシーさのバランスだと思います。口の中に入れ  
て溶けるほどの柔らかさであり、和牛ならではの、品質の良さだと思っています。

しかし、畜産業界では、飼料や資材の価格の高騰、担い手不足や国際化の進展など、大きな  
変化の時期に来ています。ここに参加してこられた、農業高校の生徒の皆さんも、そのような中、  
飼料を自ら生産したり、発育段階に応じた飼育管理など、様々な工夫により生産してきたので  
はないかと思っています。

これから日本の農業従事者の人口は、現在137万人と言われているが20年後には、33万人  
にまで減るといわれています。

これほど多くの農業高校の生徒が畜産を学んでいるかと思うと、日本農業の従事者数は減少  
してきているといわれますが、日本の畜産会、これからの人々に期待できるな。と思っています。

本日は、誠におめでとうございます。

令和7年1月16日

公益財団法人全国学校農場協会 理事長

韭塚 光信





和牛甲子園

# 主催者代表あいさつ（褒賞式）



褒賞式にあたり、ひとことごあいさつを申し上げます。

2日間に渡り開催されました和牛甲子園第8回大会におきまして、ご臨席・ご講演いただきました各関係機関・団体の皆様、また協賛いただきました各企業の皆様、誠にありがとうございました。加えて審査委員の皆様におかれましても、準備段階から多大なるご指導をいただき感謝申し上げます。そして、ここに集まった高校牛児の皆さん、2日間、大変お疲れ様でした。特に2日目は朝早くから枝肉勉強会と共励会

があり、非常に盛沢山な一日であったと思いますが、皆さん、いかがだったでしょうか。

昨日の体験発表では、みなさんが日頃から和牛を愛し、真摯に和牛生産に取り組む姿を垣間見ることができました。発表内容につきましても、先輩から代々引き継いだ取組内容や、皆さんの代になって課題を見つけ、新しい発想で取り組まれた内容があり、しっかりとしたデータと素晴らしいプレゼンテーションに感銘を受けました。選手宣誓でもありましたように、和牛と共に成長する皆さんの姿をしっかりと見せていただくことができました。また、先生方におかれましては、多大なるご協力を賜りましたことを、この場を借りまして、感謝申し上げます。

さて、大会の冒頭でもお話しましたが、わが国の畜産を取り巻く環境は、先行きが非常に見通しづらい情勢にあります。高校牛児の皆さんの取組発表の中でも、生産費の削減や生産性向上を図るテーマも多く見られました。

こういった厳しい情勢下ではありますが、若い高校牛児の皆さんが本当に真摯に和牛生産に取り組んでいる姿を見せていただき、我々としみしても、この先10年20年、もっと先まで、和牛の素晴らしさを世界に広げ、国内の生産に携わる皆様に少しでも支援していく取組みを進めていかなければいけないと強く感じました。

これから褒賞式に移りますが、結果に満足している方もいれば、もしかしたらもう少し頑張れたという感想を持たれた方もおられると思います。しかし、今回の結果のみに囚われることなく、引き続き牛たちと向き合って頑張りたいです。加えて、本大会を通して繋がることができた全国の仲間をこれからも大切に、またみんなで集うことができたなら最高だと感じております。

むすびになりますが、本大会の開催にご尽力いただいたすべての関係者のみなさまに心より感謝を申しあげ、私のあいさつといたします。ありがとうございました。

令和7年1月17日

全国農業協同組合連合会 常務理事

由井 琢也



和牛甲子園

# 来賓祝辞（褒賞式）



褒賞式に当たり、一言、御挨拶を申し上げます。

今年度も、我が国の畜産業の将来を担う「高校牛児」の皆様が集い、「第8回和牛甲子園」が盛大に開催されましたことに、心よりお慶び申し上げます。

また、大会に御尽力されました全国農業協同組合連合会をはじめ、関係者の皆様方に対しまして、深く敬意を表する次第であります。

さて、高校牛児の皆さん、第8回和牛甲子園への御出場、誠にありがとうございます。さらに各部門で優秀な成績を収められ表彰された皆さんにおかれましては、改めてありがとうございます。

本大会に参加された皆さんは、和牛の肥育に関する知識や技術、肉質の評価方法等への理解を更に深めるとともに、このような晴れの舞台で発表することにより、自信を深めることができたものと思います。

また、同じ志を持つ全国の高校牛児との交流ができ、素晴らしい体験ができたのではないかと思います。

皆様も御存じの通り、和牛は、日本の伝統的な食文化を代表する食材として、国内だけではなく、海外からも高く評価されており、我が国の農林水産物の輸出の主翼を担う重要品目となっています。農林水産省としても、国内外の旺盛な和牛肉の需要に的確に応えていくため、生産基盤の一層の強化、経営安定対策の着実な実施、輸出の拡大に積極的に取り組んでいるところです。

さらに、昨年、食料・農業・農村基本法が改正され、この基本法に基づき、現在、新たな食料・農業・農村基本計画の策定を行っており、これに加えて畜産関係では、畜産・酪農の中長期的な方向性の指針となる酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針や家畜改良増殖目標などの見直し作業も行っており、本年3月には中長期的な将来展望をしっかりと示してまいり所存です。

本日ここに集われました高校牛児の皆さんは、高校を卒業された後も、この和牛甲子園への出場で培った知識や経験、仲間との繋がり等を活かして、地域の畜産業の維持・拡大のみならず、我が国の畜産業全体の発展に御尽力されることを心から期待しており、意欲ある若者が未来に希望をもって畜産業に携わっていけるよう、応援してまいります。

最後に、「和牛甲子園」が今後も、高校牛児の皆様の学びや感動を分かち合う場として、さらに発展していくとともに、本日御参加の皆様方の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

令和7年1月17日

農林水産省 大臣官房審議官

関村 静雄





和牛甲子園

# 来賓祝辞（褒賞式）



只今、ご紹介に預かりました農畜産業振興機構（alic）の天羽です。今年も高校牛児の皆様にお逢いできて嬉しく思っております。

受賞された高校の関係の皆様、おめでとうございます。また、惜しくも受賞を逃された皆様には、また次の機会に向けてのチャレンジをお願い致したいと思います。

和牛甲子園は、今回で第8回、25道府県40校の参加を頂いているとのことで、「継続は力なり」という言葉もあるとおり、主催者はじめ関係の皆様方のご尽力に敬意を表したいと思います。

さて皆様方は、この和牛甲子園を目標の1つとして頂いて、毎日毎日、生きものである和牛と共に、高校生活を送って来られたことと思います。

身をもって経験された、経験されている最中の飼養管理や作業安全にも気を遣いながらの肥育は、気を抜くことのできないものであったろうと考え、その中での共励会の結果は、5等級・4等級に格付けされたものが多いと伺っており、その技術の高さに感心しているところです。

昨日の体験発表会での報告のスライドを拝見しましたが、肥育は勿論のことながら、畜産を巡る今日的な諸課題、飼料費の高騰やアニマルウェルフェアといった諸課題にも真摯に向き合っておられる中で、地域の資源の活用や様々な機関との交流、さらには消費者アンケートや販売実習までチャレンジされて来られました。

試行錯誤やご苦労の中で得られたことも多かったろうと推察しております。他校の取り組みについて発表会の場合などを通して共有することも、大切なことと思料します。また、高校牛児の皆さんの笑顔が素晴らしかったです。後ろで見守っておられるであろう先生方のご尽力に重ねて敬意を表したいと思います。

さて、私どもalicは、国の政策に基づき、肉用子牛の生産者補給金制度やマルキンなど、農畜産業の振興をmissionとする独立行政法人です。我々と致しましても今後の畜産を支える若い皆様の取組を心強く感じている次第です。

また、和牛は世界に誇る日本の宝です。この宝を未来へと継承していくため、さらには、皆様が将来、現場で安心して働けるよう、alicは今後とも様々な形で畜産を支援していきたいと考えております。

来年もまた和牛甲子園で、高校牛児の活躍に触れることを楽しみにしておりますし、将来、この界隈の業界で働いておられる皆様とどこかの現場で再び、お会いできることを祈念致しまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

令和7年1月17日

独立行政法人農畜産業振興機構 理事長

天羽 隆



和牛甲子園

# 来賓祝辞（褒賞式）



皆さん、こんにちは。

ただいま、ご紹介いただきました東京都中央卸売市場食肉市場場長の渡邊です。

本日は、「第8回和牛甲子園」が大きな成果をあげて、盛大に開催されましたことを、心よりお慶び申し上げます。

私たち食肉市場も、第1回から、この大会を応援していますが、今回の出場校数は、初参加3校を含む40校、出品頭数は過去最多の63頭とのことで、ますます盛り上がりを見せていることを誇らしく思います。

高校生の冬の全国大会といえば、サッカー、ラグビー、駅伝など、様々ありますが、この「和牛甲子園」も農業高校に通う学生の皆さんにとって、

冬の風物詩としてすっかり定着したのではないのでしょうか。

今大会のスローガンに「みらいへつなぐ高校牛児の輪」とありますように、皆さんが、こうして、ここ芝浦の地に一同に会し、同じ志を持つ全国各地の仲間と直接、交流できたことは、将来に向けての貴重な体験になったものと思います。

皆さんの和牛肥育の取組のプレゼンテーションをwebで拝見させていただきました。肥育環境の整備や健康状態の管理、また、より良い肉質を目指した飼料の工夫など、出品されたどの和牛も、皆さんが肥育技術を磨き、日夜、情熱を傾けて育てあげてきた牛であることがひしひしと伝わってきました。

研究発表の課題では、昨今の社会状況の急激な変化の中で顕在化している様々な問題を取り上げ、柔軟な発想で問題に果敢に向き合い、粘り強くチャレンジする姿に感動しました。

地元企業など地域との連携、SDGs、地産地消などの従前からの課題に加え、長引く資材高騰の中で、今まで以上にコストや経営を意識した、畜産業の将来を視野に入れた課題設定も見られました。いずれも、その水準の高さ、着眼点の的確さに、驚きと同時に大きな期待を覚えました。

日本の畜産業の将来を担う皆さんが、このように真剣に、和牛の肥育と課題に、若い感性を活かして取り組まれていることを、大変頼もしく感じる次第です。

皆さんの取組はどのように評価されましたか。結果は出ましたが、日々、試行錯誤しながら取り組んできたプロセスそのものが貴重な成果、財産です。皆さん、全員が胸を張って、ふるさとに、学び舎に帰っていただきたいと思います。

本日のせりで皆さんが大切に育てた和牛が、実際に商品として評価を受け、取引されたことも、本大会の成果の一つであると思います。せり場で、牛の取引価格が決まる瞬間は、まさに甲子園という名にふさわしいエキサイティングな場面となったことでしょう。

さて、本日のせりの舞台となった東京市場は、全国から最も多くの和牛が集まります。皆さんも実感されたように、せりによる取引では、生産者が良いものを作れば、その品質を多くの購買者にダイレクトに評価され、価格が決まります。

多様かつ大規模なマーケットである首都圏に、最高の食肉を届ける役割を担う市場ですから、高く評価される和牛を望む購買者がたくさんいます。そこで、東京市場に出荷して、取引されることが一つのブランドにもなっているのです。

皆さんが将来、畜産業を担う際には、ぜひ、素晴らしい和牛を育て、この東京市場に出荷してください。私どもは、その日を心待ちにしております。

結びになりますが、今回出場した生徒の皆さんをはじめ、ご指導に当たられた学校関係者の皆様、そして和牛甲子園の開催に当たりご尽力された関係者の皆様の、今後の益々の御活躍とご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、おめでとうございます。

令和7年1月17日

東京都中央卸売市場食肉市場 場長

渡邊 勝美





和牛甲子園

# 大会結果

## 【総合評価部門】

| 褒賞   | 学校名          |
|------|--------------|
| 最優秀賞 | 広島県立西条農業高等学校 |

## 【取組評価部門】

| 褒賞      | 学校名           |
|---------|---------------|
| 最優秀賞    | 岐阜県立加茂農林高等学校  |
| 優秀賞     | 岐阜県立大垣養老高等学校  |
|         | 鹿児島県立市来農芸高等学校 |
| 優良賞     | 宮城県農業高等学校     |
|         | 広島県立西条農業高等学校  |
|         | 宮崎県立高鍋農業高等学校  |
| 審査委員特別賞 | 栃木県立矢板高等学校    |
| 高校牛児特別賞 | 宮城県農業高等学校     |

## 【枝肉評価部門】

| 褒賞      | 学校名                         |
|---------|-----------------------------|
| 最優秀賞    | 鹿児島県立鹿屋農業高等学校 (枝肉番号111)     |
| 優秀賞     | 栃木県立矢板高等学校 (枝肉番号76)         |
|         | 広島県立西条農業高等学校 (枝肉番号97)       |
| 優良賞     | 福島県立磐城農業高等学校 (枝肉番号61)       |
|         | 栃木県立那須拓陽高等学校 (枝肉番号71)       |
|         | 鹿児島県立市来農芸高等学校 (枝肉番号107)     |
| 審査委員特別賞 | 宮崎県立高鍋農業高等学校 (枝肉番号329(105)) |

※優秀賞、優良賞に序列はなく、それぞれ体験発表順、枝肉番号順に記載

我ら西農、秘めた才能！  
 広島和牛、おモオ〜いギュウギュウ！



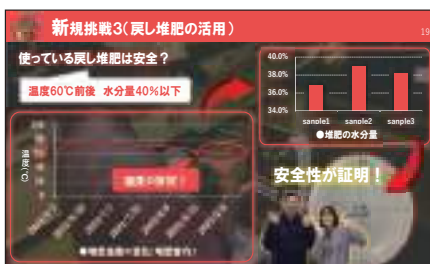
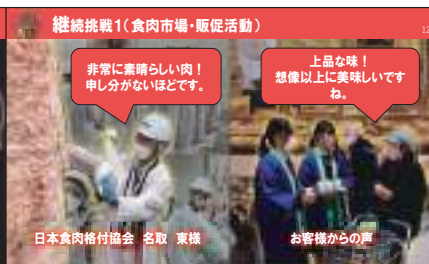
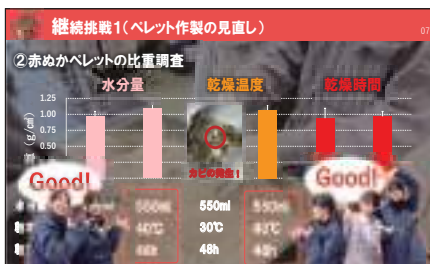
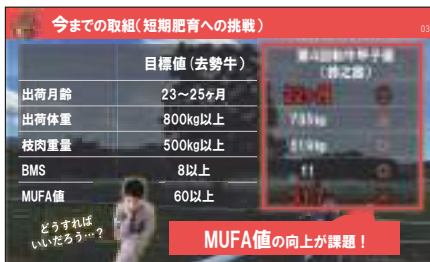
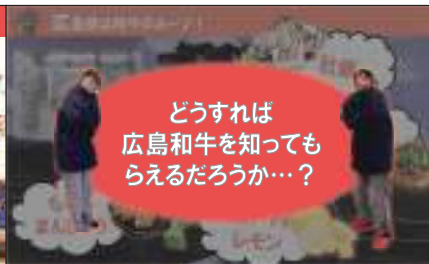


総合評価部門  
取組評価部門  
枝肉評価部門

最優秀賞  
優良賞  
優秀賞

広島県立西条農業高等学校

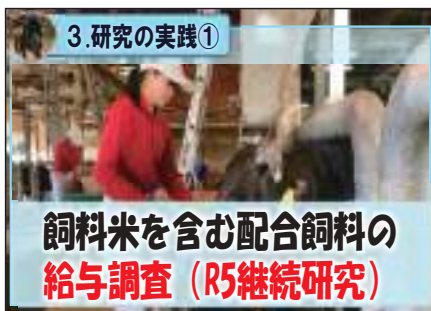
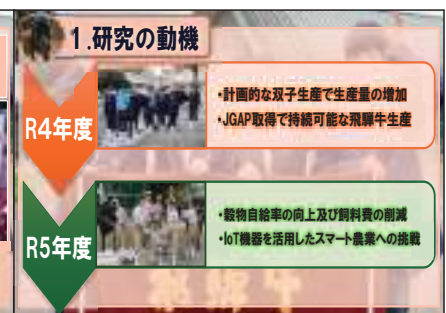
## 体験発表内容 「広島和牛に新たな息吹を!～地域と目指すブランド向上～」



## 牛舎に急げ!! 幸せのタイムリミット!!



### 体験発表内容 「飛騨Gyu Real ～通知から始まる私たちの日常～」



3. 研究の実践①

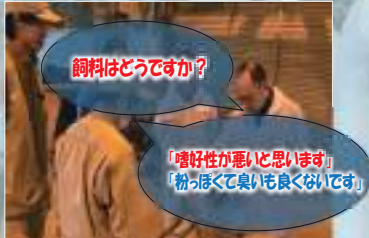
| ♂ 去勢牛 |      |      |      | ♀ 雌牛 |      |      |      |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 区別    | 全頭平均 | 飼料費  | 飼料効率 | 区別   | 全頭平均 | 飼料費  | 飼料効率 |
| 標準区   | 100% | 10.8 | 4割   | 標準区  | 100% | 10.5 | 4割   |
| 実験区   | 33%  | 7.3  | 5割   | 実験区  | 40%  | 7.2  | 5割   |
| 全国平均  | 65%  | 8.6  |      | 全国平均 | 48%  | 7.3  |      |



和牛甲子園

# 取組評価部門 最優秀賞 岐阜県立加茂農林高等学校

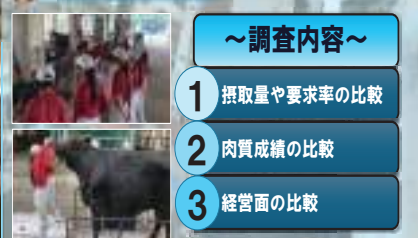
## 3. 研究の実践①



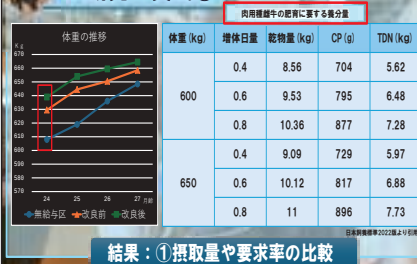
## 3. 研究の実践①



## 3. 研究の実践①



## 3. 研究の実践①



結果：①摂取量や要求率の比較

## 3. 研究の実践①

| ♂去勢牛 |      |        |      | ♀雌牛 |      |        |      |
|------|------|--------|------|-----|------|--------|------|
| 調査区  | 5等線率 | BMSNo. | 出荷頭数 | 調査区 | 5等線率 | BMSNo. | 出荷頭数 |
| 改良後  | 100% | 9.5    | 4頭   | 改良後 | 100% | 9.5    | 2頭   |
| 改良前  | 100% | 10.8   | 4頭   | 改良前 | 100% | 10.5   | 4頭   |
| 無給与  | 33%  | 7.3    | 6頭   | 無給与 | 40%  | 7.2    | 5頭   |

結果：②肉質成績の比較

## 3. 研究の実践①

| 飼料費(円)    | 区分   | 飼料米(kg) | 〇飼料費               |
|-----------|------|---------|--------------------|
| 3,800,000 | 無給与区 | 0       | 40万削減              |
| 3,400,000 | 改良前  | 2,200   | 〇飼料米給与量 2.2t       |
| ▲400,000  | 差異   | 2,200   | 〇筋肉率 342肉UP        |
|           |      |         | 〇筋肉平均価格 279,102円UP |

結果：③経営面の調査

## 3. 研究の実践①

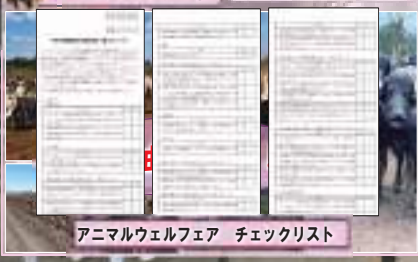


## 3. 研究の実践①

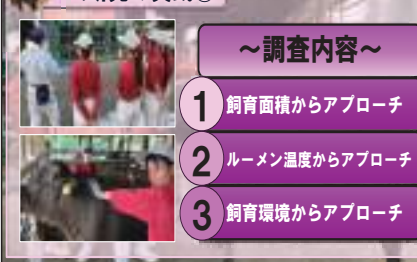
| 項目  | 飼料費  | 5等線率 | 出荷頭数 | 筋肉率 | 筋肉平均価格  | 合計  |
|-----|------|------|------|-----|---------|-----|
| 改良後 | 100% | 9.5  | 4頭   | 342 | 279,102 | 342 |
| 改良前 | 100% | 10.8 | 4頭   | 342 | 279,102 | 342 |
| 無給与 | 33%  | 7.3  | 6頭   | 342 | 279,102 | 342 |

飛騨牛への普及活動

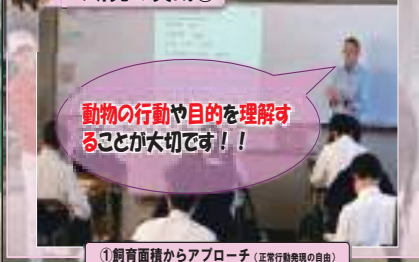
## 4. 研究の実践②



## 4. 研究の実践②

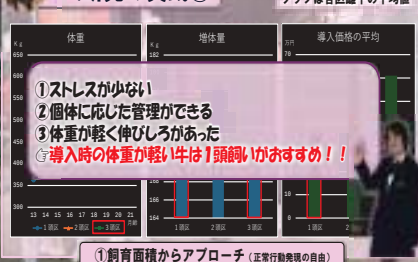


## 4. 研究の実践②



①飼育面積からアプローチ (正常行動表現の自由)

## 4. 研究の実践②



①飼育面積からアプローチ (正常行動表現の自由)

## 4. 研究の実践②



②ルーメン温度からアプローチ (痛み・振動・疲労からの自由)

## 4. 研究の実践②

| 年月         | ルーメン温度 | 年月        | ルーメン温度 |
|------------|--------|-----------|--------|
| 2023/12/27 | 41.14℃ | 2024/4/13 | 40.96℃ |
| 2024/4/14  | 40.92℃ | 2024/4/25 | 40.97℃ |
| 2024/10/20 | 40.91℃ | 2024/5/29 | 42.07℃ |
| 2024/10/21 | 41.11℃ | 2024/6/1  | 42.01℃ |
|            |        | 2024/6/1  | 41.53℃ |
|            |        | 2024/6/2  | 41.65℃ |
|            |        | 2024/7/1  | 41.02℃ |
|            |        | 2024/7/2  | 41.38℃ |

注 高温状態が2日以上続く

ルーメン温度は高くても直腸温度は正常



岐阜県立加茂農林高等学校

### 私たちの最愛のパートナーご堪能あれ



### 体験発表内容 「岐阜県の輪 ～ 消費者の求める牛肉を目指して～」

#### 岐阜県の輪

～消費者が求める牛肉を目指して～



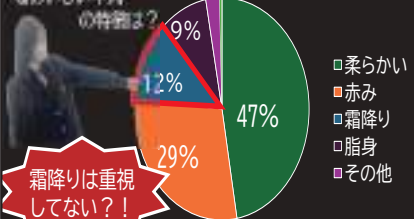
#### 今年度の取組み

1. 消費者が求める牛肉の生産
2. 組合や高校との地域協力
3. 未利用資源の活用

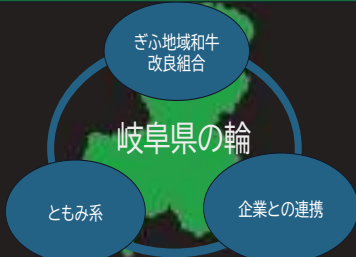


#### 取組み1 消費者が求める牛肉の生産

Qおいしい牛肉の特徴は？



#### 取組み2 組合や高校との交流



#### 取組み2 組合や高校との交流



#### 取組み2 組合や高校との交流



#### 取組み2 組合や高校との交流

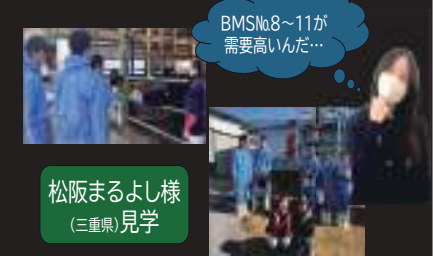
##### 岐阜県 第7の系統雌牛「ともみ系」



#### 取組み2 組合や高校との交流



#### 今後の活動



# 取組評価部門 優秀賞 鹿児島県立市来農芸高等学校

牛と共に夢を追い、牛と共に夢叶える。夢を叶えるために青春を捧げる我ら畜産部。



## 体験発表内容 「ピンチをチャンスに!!～よりよい肉質目指して、牛と私たちの青春物語～」

ピンチをチャンスに!!  
～よりよい肉質を目指して、牛と私達の青春物語～



鹿児島県立市来農芸高等学校 畜産部

目次  
Contents

- 01 発情抑制で瑕疵の発生を減らす
- 02 子牛育成期からの増体改善
- 03 世界初!  
アンヒドロースで発情抑制

〈桃李号〉 土瀬波×美国桜×忠茂勝 30カ月齢



|         |                    |
|---------|--------------------|
| 枝重      | 635kg              |
| BMS No. | 12                 |
| ロース芯面積  | 101cm <sup>2</sup> |
| バラ厚     | 11.2cm             |
| 皮下脂肪    | 1.7cm              |
| 歩留      | 80.6%              |
| 瑕疵      | カ(その他)             |

枝肉単価も上がらず  
経営的にも大きな影響を受けました...

取り組み2  
子牛育成期からの増体改善



TMR美味しいよ  
使ってみたら?



取り組み3  
世界初アンヒドロースで発情抑制



高校牛児が動き出す!



どげんかせんといかん!!

牛が教えて  
くれたこと



楽しさ 悔しさ トラブル

全国に高校牛児がいることは私たちの強い支えに



みんなで牛と共に夢を叶えましょう!!

仙台牛、挑戦の先に未来がある。地球を守り、世界を制す！



## 体験発表内容 「環境保全を礎に世界へ挑む仙台牛の挑戦」



## 【参加校から寄せられた授賞理由コメント（抜粋）】

- ・最先端の研究に取り組まれており、発表内容・構成ともに素晴らしいものだったから
- ・環境に優しい仙台牛というワードやルミナックという飼料に興味を持ったから
- ・環境問題対策及び良質な稲わらを生産することで牛にも生産者にも優しい取り組みだったから
- ・ナノテラスを用いた牛肉の分析について興味深いと感じたから



# 取組評価部門 優良賞 宮崎県立高鍋農業高等学校

牛愛牛尽 ～和牛を愛する仲間の力で世界に誇れる宮崎牛を～



体験発表内容 「牛愛牛尽 ～えのきの力は無限大 第2章～」



# 取組評価部門 審査委員特別賞 栃木県立矢板高等学校

今年こそクラス牛の「さくら」で総合優勝を目指します!!



体験発表内容 「持続可能な肉牛生産を目指して ～心土不二とフェーズフリー～」





和牛甲子園

# 取組評価部門 審査講評



多田 審査委員長

第8回全国農業高等学校和牛枝肉共励会・和牛甲子園が、25道府県40校が参加し、品川グランドホールおよび東京都中央卸売市場食肉市場において、盛大に開催されましたことに対しお慶び申し上げます。

取組評価部門・体験発表について、審査委員を代表して審査結果についてご報告します。なお、審査は審査基準に則り、厳正中立かつ公平に実施しました。

体験発表の評価は、事前提出された動画および資料を基に実施しました。

高校牛児の皆さんは、昨年と同様に夏季の記録的猛暑もあり、自分自身の体調管理をしつつ、毎日の牛

の世話もすることになり、大変だったかと思われそうですが、各校とも発表準備にも注力されたことが伝わる内容でした。

このうち、入賞を果たしたのは以下の各校です。

## ○最優秀賞 岐阜県立加茂農林高等学校

継続課題をさらに追究し、飼料米配合飼料の嗜好性改良に取り組み、有効点と問題点について検討しました。また、アニマルウェルフェアと生産性の両立を目標に、飼育面積の至適条件、ルーメン温度と健康との関係、飼育環境暑熱対策の効果について明らかにしました。

他県および海外に出て精力的に研修し、そこで得た知見も参考にした発表で、澁刺とし、成果が伝わるように構成を工夫しており、審査委員一同から大変に高い評価を得ました。

## ○優秀賞 岐阜県立大垣養老高等学校

消費者の求める牛肉の生産について継続研究し、霜降り度合いの異なる牛を生産するための飼養方法について実践検証しました。また、地域の方々との交流の輪を広げ、未利用資源の飼料化、暑熱対策、牛を他校からの導入・飼養し、農家へ譲渡するなど、飛騨牛の普及を目指した興味深い取り組みで、発表も理解しやすく、審査委員一同から高い評価を得ました。

## ○優秀賞 鹿児島県立市来農芸高等学校

雌牛の瑕疵発生を減らす対策として、発情抑制剤投与の効果について検討し、有効性を明らかにしました。さらに子牛育成期からの増体改善、同校での黒豚肥育からヒントを得た機能性糖質給与による発情抑制の検証など、リスクを抱えても挑戦する、高校牛児ならではの興味深い取り組みで、発表も理解しやすく、審査委員一同から高い評価を得ました。

## ○優良賞 宮城県農業高等学校

仙台牛に環境保全牛としての付加価値を与えることに挑戦しました。ゲップ中のメタンを削減する飼料給与、環境に良い稲わら生産に役立つ肥料検討、ナノレベルでの肉の美味しさ評価など、精力的な取り組みで、審査委員の多くから高い評価を得ました。

## ○優良賞 広島県立西条農業高等学校

赤ぬかペレット給与の継続試験の追究のため、種々の給与条件による産肉成績を明らかにし



和牛甲子園

# 取組評価部門 審査講評

ました。広島血統の再構築、戻し堆肥の活用による経費削減についても検討しました。広島和牛に新たな息吹をと云う思いが伝わる発表で、審査委員の多くから高い評価を得ました。

## ○優良賞 宮崎県立高鍋農業高等学校

えのきの菌床を活用した敷料の再利用法を検討しました。戻し堆肥の敷料としての利用、飼料作物栽培への利用、菌床灰の大腸菌抑制について、いずれも有効であることを明らかにしました。発表は理解しやすく、活力があり、審査委員の多くから高い評価を得ました。

## ○審査委員特別賞 栃木県立矢板高等学校

多様な牛肉の可能性、有事の際の牛の避難に関してなどを検討しました。着眼点が良く、大変に興味深い取り組みで、発表は澁刺と理解しやすく、仲間と協調して活動したことが伝わる内容でした。審査委員から今後の展開を期待する高い評価を得ました。

入賞を逃した各校も仲間と一丸となって目標を達成するために“和牛”と向きあっていました。今大会では、和牛生産が抱える問題を解決すべく、経費削減のための低未利用資源・地域資源の飼料としての活用、アニマルウェルフェア、消費者が求める肉質とその生産、飼養環境の暑熱対策、有事の際の避難誘導など、継続的な取り組みに加え、新たな挑戦もありました。興味あることを追究する高校牛児らしい取り組みばかりで、発表も熱意に溢れており、全審査委員から称賛の声が上がりました。

これらの取り組みは、生徒の皆さんの努力は勿論ですが、地域の方々が支援し、教職員の方が熱心に指導されていることが窺えるものでした。関係の皆様には敬意を表しますとともに、今後も我が国の畜産を担う若人のためにご尽力いただきたく存じます。

前大会から完全な実参加での開催に戻り、今回も皆さんが一堂に会しましたので、全国各地で同じ志を持ち頑張っている仲間と直に熱を感じながら繋がることができましたと思います。正に今大会のキャッチフレーズ「みらいへつなぐ 高校牛児の輪」が進展し、その輪がさらに広がったのではないのでしょうか。

先輩“高校牛児”講話にて、「高校で牛を通して仲間と濃密な時間を過ごし、そこで感じた喜びや悔しさから、興味を持ち努力することの楽しさを身につけた今の自分がある」との発言がありました。和牛甲子園と云う目標に向かって仲間と苦楽を共にした経験は、今後の皆さんの人生に役立つ貴重なものになるでしょう。是非とも後輩へも繋げてください。

和牛肉の味は格別で、私たちの健康で心豊かな生活を彩り、幸せと笑顔を届けてくれます。その魅力は海外へも伝わり、和牛への注目度は高まるばかりです。どうか、皆さんで「和牛文化」そして「日本の農業」をさらに勢いづけていってください。

主催者である全国農業協同組合連合会をはじめとする関係の皆様のご尽力により、全国の高校牛児のネットワーク構築を進める意義ある大会となりました。厚く感謝申し上げます。

本大会が末永く続くことを祈念し、取組評価部門・体験発表の審査講評と致します。

令和7年1月16日

東京農業大学

多田 耕太郎





和牛甲子園

# 体験発表会カンファレンス

## 【目的】

次回大会にむけて、課題の明確化とモチベーション向上に資するため、審査委員から体験発表の内容について講評・指導を受けるとともに、審査委員をファシリテーターとしたグループワークを実施して、課題解決に向けた議論の「深堀」を実施する。

## 【進め方】

- (1) 審査委員から各校毎に講評指導を実施。
- (2) 審査委員の講評指導終了後、審査委員をファシリテーターとしたグループワークを実施。
- (3) グループワーク終了後、取組評価部門審査委員長による全体振り返り・総括を実施。

## 【班割】

| 1班<br>(多田審査委員長)     | 2班<br>(河村審査委員)   | 3班<br>(小原審査委員)    | 4班<br>(江森審査委員)    |
|---------------------|------------------|-------------------|-------------------|
| 青森県立<br>三本木農業恵拓高等学校 | 福島県立<br>会津農林高等学校 | 栃木県立<br>栃木農業高等学校  | 神奈川県立<br>中央農業高等学校 |
| 鹿児島県立<br>鹿屋農業高等学校   | 鹿児島県立<br>曾於高等学校  | 岩手県立<br>水沢農業高等学校  | 宮城県農業高等学校         |
| 栃木県立<br>矢板高等学校      | 富山県立<br>中央農業高等学校 | 岐阜県立<br>加茂農林高等学校  | 岐阜県立<br>飛騨高山高等学校  |
| 愛知県立<br>渥美農業高等学校    | 兵庫県立<br>但馬農業高等学校 | 鹿児島県立<br>市来農芸高等学校 | 栃木県立<br>真岡北陵高等学校  |
|                     | 岩手県立<br>花巻農業高等学校 | 広島県立<br>庄原実業高等学校  | 北海道<br>帯広農業高等学校   |

| 5班<br>(伊勢審査委員)   | 6班<br>(小田審査委員)   | 7班<br>(佐藤総合審査委員長) | 8班<br>(佐藤畜産総合対策部次長) |
|------------------|------------------|-------------------|---------------------|
| 岐阜県立<br>大垣養老高等学校 | 滋賀県立<br>長浜農業高等学校 | 京都府立<br>農芸高等学校    | 宮崎県立<br>高鍋農業高等学校    |
| 福島県立<br>磐城農業高等学校 | 茨城県立<br>水戸農業高等学校 | 栃木県立<br>宇都宮白楊高等学校 | 栃木県立<br>鹿沼南高等学校     |
| 長崎県立<br>諫早農業高等学校 | 福岡県立<br>糸島農業高等学校 | 島根県立<br>出雲農林高等学校  | 広島県立<br>西条農業高等学校    |
| 栃木県立<br>那須拓陽高等学校 | 岡山県立<br>瀬戸南高等学校  | 群馬県立<br>利根実業高等学校  | 大分県立久住高原<br>農業高等学校  |
| 山口県立<br>大津緑洋高等学校 | 鹿児島県立<br>鶴翔高等学校  | 佐賀県立<br>唐津南高等学校   | 岩手県立<br>盛岡農業高等学校    |

# 取組評価部門

## 多田審査委員長から高校牛児へのメッセージ

今回も40の参加校があり、活気のある体験発表会となったことがとても嬉しいです。年々レベルアップする皆さんの素晴らしい発表に、採点は大変に悩み苦勞しました。しかし、その一方で元気と感動を貰うこともでき、感謝しています。皆さんも、他校の取り組みに興味を持ち、大いに影響を受けたことでしょう。

大会初日の高校牛児交流会においては、他校の生徒と直ぐに打ち解け、熱く語り合っている光景が見られました。また、グループに分かれてのカンファレンスでも、積極的に質問する姿勢に感心しました。

和牛甲子園の目的の一つとして「“高校牛児”として同じ志を持つライバルを日本各地に見出し、お互いに切磋琢磨し合うような同世代との交流の場を創出する」がありますが、それが実現していることを強く感じました。

皆さんが向き合っているのは、“和牛”という生き物・命です。話すことのできない牛の管理をするためには、日々細やかに観察し、体調などを察知することに努めたことでしょう。また、仲間ともお互いに「目」「気」「心」を配り、対話して意思の疎通を図りながら取り組みを進めたことでしょう。この経験は皆さんの人間関係の構築力を高めた筈です。どうかこの経験を活かし、他者の幸福を思い、世に貢献する社会人となってください。

皆さんの益々の活躍、期待しています！



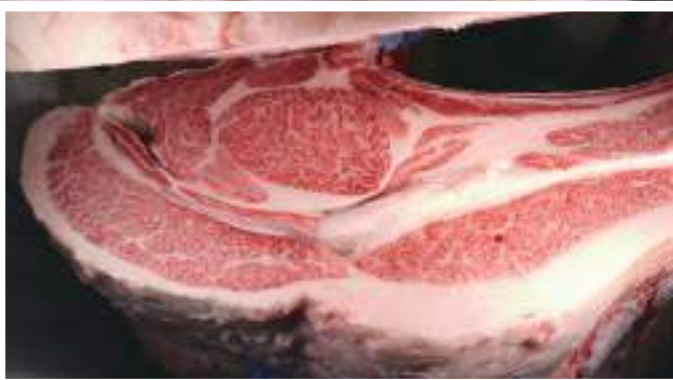
# 枝肉評価部門 最優秀賞 鹿児島県立鹿屋農業高等学校

和牛肥育への情熱100% !!  
受け継がれる技で育てた愛情満載「鹿児島黒牛」を全国へ



枝肉番号 : No.111 等 級 : A5  
性 別 : 去勢 B M S : 12  
枝肉重量 : 653kg

今年こそクラス牛の「さくら」で総合優勝を目指します！！



|              |            |
|--------------|------------|
| 枝肉番号 : No.76 | 等 級 : A5   |
| 性 別 : 去勢     | B M S : 12 |
| 枝肉重量 : 543kg |            |

我ら西農、秘めた才能！広島和牛、おもォ〜いギョウギョウ！



枝肉番号：No.97      等      級：A5  
 性      別：去勢      B   M   S：12  
 枝肉重量：598kg

輝く青春! とともに歩む和牛物語  
～ きくた91 と さくら216 ～



|              |            |
|--------------|------------|
| 枝肉番号 : No.61 | 等 級 : A5   |
| 性 別 : 雌      | B M S : 12 |
| 枝肉重量 : 504kg |            |

牛づくりは私たちの手から！  
地域と共に歩んだ拓陽「匠」物語！！



枝肉番号：No.71      等      級：A5  
性      別：去勢      B M S：12  
枝肉重量：688 kg

# 枝肉評価部門 優良賞 鹿児島県立市来農芸高等学校

牛と共に夢を追い，牛と共に夢叶える。  
夢を叶えるために青春を捧げる我ら畜産部。



枝肉番号：No.107      等      級：A5  
性      別：去勢      B M S：12  
枝肉重量：561kg

牛愛牛尽 ～和牛を愛する仲間の力で世界に誇れる宮崎牛を～



枝肉番号 : No.329      等      級 : A5  
 性      別 : 去勢      B M S : 12  
 枝肉重量 : 601kg



和牛甲子園

# 枝肉評価部門 審査講評



末吉業務部長

本日の審査を担当させていただきました日本食肉格付協会の末吉です。

第8回和牛甲子園の開催誠にありがとうございます。回を重ねるごとに参加校が増え、高校牛児の皆さんのご活躍は地元のテレビや専門誌、或いはYouTube動画などで拝見できますが、牛の飼養管理を通して命と真正面から向き合い、責任をもって、愛情たっぷりに牛と触れ合う光景は素晴らしく、高校牛児が純粋に何かに取り組む姿はまさに和牛甲子園の理念そのものであり、私たちに感動をもたらしてくれます。

また、進学・就職を控えた現役高校生にとって、この和牛甲子園で、食肉産業関係者や卒業生の皆さんの体験に基づく話などを聞きながら、進路や職業を選択するうえで色々なことを学ぶ場ともなっております。先ほど格付についてお話をさせていただきましたが、これをきっかけとして格付にも興味を持っていただき職業選択の一つにしていだけたら幸いです。

この和牛甲子園の開催にあたって主催された全国農業協同組合連合会のスタッフの皆様におかれては1年がかりの準備で大変ご苦労が多かったことと思いますが、参加される高校牛児をしっかりとサポートされながら、素晴らしく盛大な大会となりましたことに心から敬意を表します。

それでは枝肉評価部門の審査委員を代表しまして審査の概要と結果をご報告申し上げます。審査につきましては、日本食肉格付協会の牛枝肉取引規格、開催要領にある審査基準に基づき枝肉を総合的に評価して、厳正、公平に行っております。

今回の枝肉評価部門出場校・出品頭数は、北は北海道から南は鹿児島県まで、25道府県40校より黒毛和牛雌17頭、去勢46頭の総計63頭となりました。

## 黒毛和牛 雌【雌：17頭】

|     | 枝重    | ロース  | ばら  | 皮下  | 基準値  | 歩留    | 肉質   |       | B.M.S |      | B.C.S |
|-----|-------|------|-----|-----|------|-------|------|-------|-------|------|-------|
|     |       |      |     |     |      | 「A」率  | 「5」  | 「4」up | 平均    | 10up |       |
| 前 回 | 499.8 | 76.5 | 8.4 | 2.8 | 76.2 | 100.0 | 84.6 | 100.0 | 10.6  | 69.2 | 4.0   |
| 今 回 | 477.4 | 68.3 | 8.3 | 2.9 | 75.2 | 100.0 | 70.6 | 100.0 | 8.9   | 61.9 | 4.2   |
| 全 国 | 439.3 | 61.5 | 7.5 | 2.6 | 74.6 | 87.3  | 47.9 | 74.0  | 7.3   | 26.2 | 4.0   |

※全国値はC D版牛枝肉格付情報：令和5年次（1-12）

黒毛和牛雌では、歩留等級「A」率は100.0%でした。全国平均は87.3%ですから見事な成績となりました。雌の特徴として脂肪付着が厚くなる傾向が高いのですが、皮下脂肪の厚さの平均は2.9cmと昨年より厚くはなりましたが適度な範囲であり、肥育仕上げの時期の皮下脂肪のコントロールの成果であると思います。皮下脂肪厚は4cm以上になると「B」等級になる可能性が高くなりますから適度な厚さになるように管理することが重要です。歩留基準値の平均は75.2で全国値74.6を上回りました。

枝肉重量の平均値は全国平均より約40kg大きく、胸最長筋面積の平均は68.3cm<sup>2</sup>で前回に比べて小さくなりましたが、全国平均と比べれば大きく、また、ハート芯の枝肉も少なく、商品価値を高めました。





和牛甲子園

# 枝肉評価部門 審査講評

肉質についてみると、「5」等級は70.6%で、「4」等級以上率は100%でした。立派な成績です。特に雌は飼養管理が難しいと云われる中で良く頑張りました。BMSNoの平均は8.9で、全国平均と比較するととても良い結果であったと思います。「肉の色沢」については光沢が良く、「脂肪の質」についても締まり、光沢、粘りの良いものが多く見られました。今回全ての脂肪の脂肪酸測定を行いました。食味に良い効果があるといわれるオレイン酸平均値は雌で58.4%、去勢は55.9%で、一般的に55%以上は好ましい数値といわれていますので脂肪の質が良かったことと関係していると思います。

## 黒毛和牛去勢【去勢：46頭】

|     | 枝重    | ロース  | ばら  | 皮下  | 基準値  | 歩留    | 肉質   |       | B.M.S |      | B.C.S |
|-----|-------|------|-----|-----|------|-------|------|-------|-------|------|-------|
|     |       |      |     |     |      | 「A」率  | 「5」  | 「4」up | 平均    | 10up |       |
| 前 回 | 558.0 | 77.5 | 9.2 | 2.6 | 76.3 | 100.0 | 91.3 | 97.8  | 10.7  | 82.6 | 3.9   |
| 今 回 | 547.2 | 77.4 | 9.2 | 2.7 | 76.3 | 100.0 | 82.6 | 100.0 | 10.0  | 67.4 | 4.1   |
| 全 国 | 514.5 | 68.9 | 8.4 | 2.4 | 75.4 | 97.7  | 64.8 | 92.2  | 8.6   | 40.1 | 3.7   |

※全国値は CD 版牛枝肉格付情報：令和5年次（1-12）

黒毛和牛去勢でも、歩留等級「A」率が100.0%という成績でした。全国平均は97.7%ですから、素晴らしい結果となりました。

枝肉重量を見ると今回の平均は547.2kgで全国平均枝肉重量よりも約33kg大きい結果となっています。牛が大きく健康に育ったことは、皆さんの愛情と毎日頑張った飼養管理の賜物です。ちなみに出品牛の最大重量は688.0kgでした。胸最長筋面積は、平均77.4cm<sup>2</sup>で全国平均の68.9cm<sup>2</sup>を大幅に上回っております。また、ばらの厚さは、平均9.2cmで昨年とほぼ変わらず、皮下脂肪の厚さは平均2.7cmで適度でありました。全国の肥育生産者のプロの皆さんが育てた枝肉の結果と比べても、和牛甲子園の成績は見劣りしない立派なものです。ただ、平均値に届かない高等学校もありましたので、開催目的にございます「我が国の畜産を担う高校生の育成とネットワーク作り」の精神を活かして、肥育等に関する技術を共有して全体的な底上げを図っていただければ幸いです。

肉質については、「5」等級率は82.6%、「4」等級以上率は100.0%と素晴らしい結果となりました。昨年のBMSNoの平均は2桁台の10.7でしたが、今年も10.0と2桁台をキープしました。「肉の色沢」も良いものも多く、健康に育てられた結果であると思います。脂肪質については、オレイン酸平均値55.9%でした。やや硬い脂肪の枝肉も見られましたが、全体的には滑らかさや、粘りに優れた枝肉が多かった証であります。

## 【瑕疵の発生】（単位：頭）

|     | ア | イ      | ウ      | エ      | オ      | カ      | 計        |
|-----|---|--------|--------|--------|--------|--------|----------|
| 前 回 |   | 2(3.4) | 1(1.7) | 5(8.5) |        | 4(6.8) | 12(20.3) |
| 今 回 |   | 1(1.6) | 1(1.6) | 2(3.2) | 1(1.6) | 4(6.3) | 9(14.3)  |

瑕疵の発生が9頭ありました。出品牛の14.3%の枝肉に瑕疵が表示されましたが、昨年より減少しました。腹鋸筋にうっ血が見られ入賞を逃した枝肉もあるように、瑕疵が表示されると枝肉としての商品価値が低下することを実体験として学んだことと思います。



和牛甲子園

# 枝肉評価部門 審査講評

それでは入賞牛について講評をさせていただきます。

枝肉評価部門の最優秀賞に輝きましたのは、枝肉番号111号、鹿児島県立鹿屋農業高等学校の枝肉であります。

| 枝肉番号：111 |           |       | 受賞者：鹿児島県立鹿屋農業高等学校 |     |      |     |           |       |
|----------|-----------|-------|-------------------|-----|------|-----|-----------|-------|
| 等 級      | B M S No. | 枝肉重量  | 基準値               | ロース | ばら   | 皮下  | B C S No. | オレイン酸 |
| A 5      | 12        | 653.0 | 81.9              | 115 | 11.3 | 2.0 | 4         | 52.0  |

生後月齢30か月、枝肉重量653.0kg、ロース面積115cm<sup>2</sup>、ばらの厚さ11.3cm、皮下脂肪の厚さは2.0cm、歩留基準値は81.9、B.M.S.No.12でした。この枝肉は、腿、ロース、ばら、肩の充実が見事で、全体の形がよく、釣合において特に優れていました。肉質は、ロース芯及び周囲筋における脂肪交雑が十分で、二分体でも筋肉露出面の交雑が見事でした。さらに、肉色も鮮やかで、ロース芯の表面はビロード状できめが細かく、脂肪質は締りや滑らかさ、また、粘りにおいて優れていて、外観、肉質ともに特に優れていると審査委員の高い評価となり、最優秀賞に選出されました。おめでとうございます。

次に優秀賞を2点選出しました。1頭目は、枝肉番号76号、栃木県立矢板高等学校の枝肉です。この枝肉は前・中・後軀が充実していて、そのバランスも素晴らしく、枝肉の形やその釣合は見事でした。特にロース芯は綺麗な俵型で肥育技術の高さが伺えます。肉質は、霜降り状の脂肪交雑が美しく、周囲筋の交雑も十分で、きめも細やか、脂肪質も優れていたことから審査委員の高い評価となりました。おめでとうございます。

2頭目の優秀賞は、枝肉番号97号、広島県立西条農業高等学校の枝肉です。この枝肉は腿の見事に驚きさえ覚えました。ロースや腹鋸筋、僧帽筋や広背筋の厚さは秀逸で、決して、腿勝ちではなく、枝肉の釣合も見事でした。外観の評価は最優秀賞に肩を並べる評価であります。肉質は特にきめの細やかさが目を引きましたが、肉色は鮮やかで、光沢に力があり、肉質についても審査委員は高い評価をしております。最優秀賞との差は歩留基準値の差だけでありました。おめでとうございます。

次に優良賞を3点選出しました。まず、ご紹介するのは、枝肉番号61号、福島県立磐城農業高等学校の枝肉です。この枝肉は肉質のすばらしさを褒めてあげないといけません。雌の特性を遺憾なく引き出し、見事な肉質でした。霜降り上の脂肪交雑は美しく、光沢やきめの細やかさ、脂肪質など、思わず食べてみたいと感じる極上の肉質で審査委員の高い評価となりました。おめでとうございます。

2頭目は、枝肉番号71号、栃木県立那須拓陽高等学校の枝肉です。この枝肉の特徴は体長の充実した長さで、枝肉重量が688kgと迫力満点の枝肉でした。もも、ロース、ばら、かたの充実は芸術品で、この牛の特性を遺憾なく引き出した肥育技術の賜物です。肉質は脂肪交雑は細やかな霜降り状態であり、また、ロース芯では偏りもなく、見事でした。健康で大きく育てた肥育技術を審査委員は高く評価しました。おめでとうございます。

3頭目は、枝肉番号107号、鹿児島県立市来農芸高等学校の枝肉です。この枝肉はかわいいハート芯でしたが大きく、ばらの厚みも十分で、かたは充実し、枝肉の釣合は抜群でした。肉質は、肉色が艶やかで、力もあり、きめは細やかで、滑らかで、脂肪質も優れた枝肉でした。外観の釣合と肉色の艶やかさを審査委員は高く評価しました。おめでとうございます。





和牛甲子園

# 枝肉評価部門 審査講評

最後に、審査委員特別賞です。

審査委員特別賞に選出されたのは、枝肉番号329(105)号、宮崎県立高鍋農業高等学校の枝肉です。この牛は、宮崎から船に乗り神戸に上陸し、その後は車で東京まで運ばれました。長旅の途中で疲れから体調を崩し、東京到着後に緊急と畜されました。皆さんも心配されたと思いますが、「よく頑張ったね」と褒めてあげて下さい。枝肉もご覧になられたと思いますが、外観、肉質ともに入賞牛に匹敵する素晴らしい出来栄でありました。

牛さんの頑張り、肥育技術の高さに感動し、審査委員全員が一致して審査委員特別賞に選出しました。おめでとうございます。

以上、入賞牛についての寸評を申し述べましたが、その他に2頭の枝肉をご紹介します。

まず、1頭目は、枝肉番号110号、鹿児島県立鹿屋農業高等学校の枝肉です。外観、肉質ともに秀逸で瑕疵の表示がなければ入賞まちがいの枝肉でした。命と向き合い、愛情を傾けて、健康を第一に育ててこられたと思いますが、産業動物としての取引の中で瑕疵が表示されたときの評価を実体験として学ぶことができたと思います。このような学びこそ、まさに、和牛甲子園に参加した意義であると考えご紹介させていただきました。

2頭目は、枝肉番号93号、兵庫県立但馬農業高等学校の枝肉です。今回が初めての参加となりました。生後42ヶ月齢まで健康に育てた高校牛児の愛情に心から敬意を表します。やはり、この枝肉の特質すべきは肉質です。脂肪交雑は他の高校の枝肉に比べると、少なめですが、肉色の力強さと鮮やかさは但馬牛独特です。また、ロース芯の表面は滑らかで、その細やかさは誠に見事でした。皮下脂肪を背負いすぎましたが、質は絶品で見事でした。今後の益々のご活躍を願っております。

最後になりましたが、入賞された各高等学校の牛児の皆さん誠におめでとうございます。心から敬意を表します。

惜しくも入賞を逃した高校牛児の皆さん、それぞれが愛情を込めて育ててこられた枝肉の姿はカッコよくなかったですか。皆さんの期待に応えようと精一杯カッコよくポーズを取っていましたね。皆さんから貰った多くの愛情に対する牛さんからの感謝の姿だと思います。その姿は入賞牛にけして負けるものではありません。よく頑張りましたね。胸を張りましょう。

和牛甲子園が多く的高校牛児の学びと成長の場として益々盛大になりますように心からご祈念申し上げます。審査講評とさせていただきます。

本日はおめでとうございます。

令和7年1月17日

審査委員長（枝肉評価部門）

公益社団法人日本食肉格付協会

業務部長 末吉 正実





和牛甲子園

# 枝肉評価部門 審査講評

## 枝肉評価部門「審査ならびに枝肉の撮影実施にあたって」



和牛甲子園が開催され、多くの皆様と素晴らしい時間を共有できたことを大変嬉しく思います。本大会にご参加いただいた高校牛児の皆様、運営に尽力された主催者の皆様、そして枝肉部門の審査や枝肉撮影の機会をくださった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。大会は大変な盛況を見せ、私自身にとっても高校牛児の皆様と直接交流できる貴重な機会となりました。実際にお会いし、言葉を交わすことができた時間は、とても意義深いものとなりました。

和牛甲子園を通じ、高校牛児たちが丹精込めて育てた和牛が、と畜を経て枝肉となり、その品質がプロの目で評価され、市場に出るまでの流れを目の当たりにすることで、畜産の現場をより深く実感

できたのではないかと思います。特に、高校牛児と直接対話し、肥育にかけた思いや努力について語り合えたことが印象的でした。長い時間をかけて愛情深く育てられた和牛が、最終的に枝肉として評価される姿は、畜産の営みの本質を改めて考えさせられる瞬間です。高校牛児たちにとっても、自らの努力の成果を実感し、畜産への理解を深める良い機会となったことでしょう。

今年は、昨年を上回る合計63頭の枝肉を審査するとともに、ロース芯や外貌の撮影も行いました。撮影には、MIJ-15撮影装置、MIJ mobile、そして携帯アプリのWagyu Cameraを使用しました。これらの機材を用いて撮影した写真は、皆様へお送りしております。撮影の合間には短い時間ではありましたが、高校牛児の皆さんや指導にあたる先生方と直接お話しする機会もあり、その熱意や真剣な姿勢を間近で感じることができました。

東京食肉市場のセリ場には仕事で頻繁に訪れていますが、昨年に続き、今回もあれほど多くの人であふれる光景を目の当たりにし、改めて和牛甲子園の注目度の高さを実感しました。今回お送りした画像が、次回以降の大会に向けた改善の参考資料として活用されれば幸いです。

和牛甲子園の一連のプロセスを通じ、高校牛児の皆さんがプロの肉牛生産者としての視点を養い、将来的に肉牛産業の持続的な発展につながる可能性を強く感じました。これからも和牛甲子園が、若い世代にとって畜産の魅力を深く学び、実践できる貴重な場であり続けることを願っています。

帯広畜産大学 畜産学部  
生命・食料科学研究部門 教授

口田 圭吾

※すべての出品牛の画像データは、帯広畜産大学・口田圭吾研究室の協力により、  
和牛甲子園公式ホームページよりご覧になれます。

※P.40～P.47枝肉断面写真は、口田圭吾研究室により撮影されました。

<https://wagyu-koushien.com/main/koushien04/8th-study/>





和牛甲子園

# 枝肉断面一覽

No.51 青森県立三本木農業恵拓高等学校



No.52 青森県立三本木農業恵拓高等学校



No.53 岩手県立水沢農業高等学校



No.54 岩手県立水沢農業高等学校



No.55 岩手県立盛岡農業高等学校



No.56 岩手県立盛岡農業高等学校



No.57 岩手県立花巻農業高等学校



No.58 宮城県農業高等学校



※枝肉No順に掲載



和牛甲子園

# 枝肉断面一覧

No.59 福島県立会津農林高等学校



No.60 福島県立会津農林高等学校



No.61 福島県立磐城農業高等学校



No.62 福島県立磐城農業高等学校



No.63 茨城県立水戸農業高等学校



No.64 茨城県立水戸農業高等学校



No.65 栃木県立宇都宮白楊高等学校



No.66 栃木県立宇都宮白楊高等学校



※枝肉No順に掲載



和牛甲子園

# 枝肉断面一覧

No.67 栃木県立鹿沼南高等学校



No.68 栃木県立鹿沼南高等学校



No.69 栃木県立栃木農業高等学校



No.70 栃木県立栃木農業高等学校



No.71 栃木県立那須拓陽高等学校



No.72 栃木県立那須拓陽高等学校



No.73 栃木県立真岡北陵高等学校



No.74 栃木県立真岡北陵高等学校



※枝肉No順に掲載

# 枝肉断面一覽

No.75 栃木県立矢板高等学校



No.76 栃木県立矢板高等学校



No.77 群馬県立利根実業高等学校



No.78 群馬県立利根実業高等学校



No.79 神奈川県立中央農業高等学校



No.80 富山県立中央農業高等学校



No.81 岐阜県立大垣養老高等学校



No.82 岐阜県立大垣養老高等学校





和牛甲子園

# 枝肉断面一覽

No.83 岐阜県立加茂農林高等学校



No.84 岐阜県立加茂農林高等学校



No.85 岐阜県立飛騨高山高等学校



No.86 岐阜県立飛騨高山高等学校



No.87 愛知県立渥美農業高等学校



No.88 愛知県立渥美農業高等学校



No.89 滋賀県立長浜農業高等学校



No.90 滋賀県立長浜農業高等学校



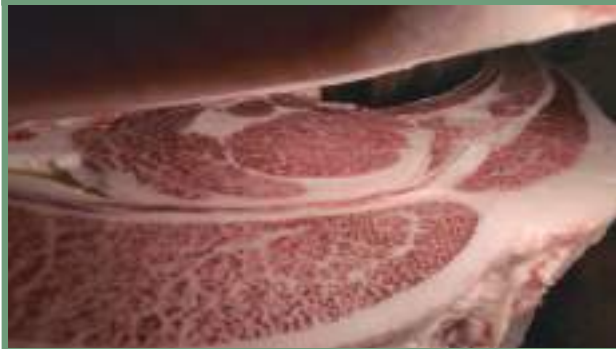
※枝肉No順に掲載



和牛甲子園

# 枝肉断面一覧

No.91 京都府立農芸高等学校



No.92 京都府立農芸高等学校



No.93 兵庫県立但馬農業高等学校



No.94 島根県立出雲農林高等学校



No.95 島根県立出雲農林高等学校



No.96 岡山県立瀬戸南高等学校



No.97 広島県立西条農業高等学校



No.98 広島県立庄原実業高等学校



※枝肉No順に掲載



和牛甲子園

# 枝肉断面一覧

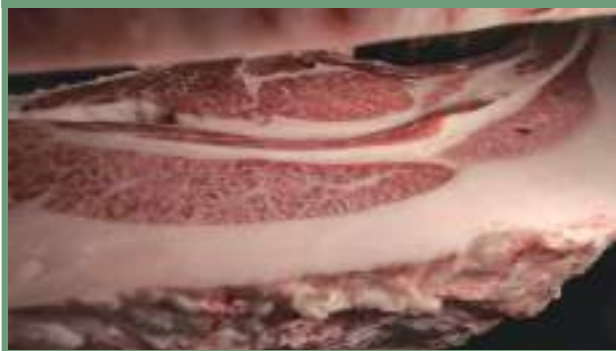
No.99 山口県立大津緑洋高等学校



No.100 福岡県立糸島農業高等学校



No.101 大分県立久住高原農業高等学校



No.102 佐賀県立唐津南高等学校



No.103 長崎県立諫早農業高等学校



No.104 宮崎県立高鍋農業高等学校



No.329 宮崎県立高鍋農業高等学校



No.106 鹿児島県立市来農芸高等学校



※枝肉No順に掲載



和牛甲子園

# 枝肉断面一覧

No.107 鹿児島県立市来農芸高等学校



No.108 鹿児島県立鶴翔高等学校



No.109 鹿児島県立鶴翔高等学校



No.110 鹿児島県立鹿屋農業高等学校



No.111 鹿児島県立鹿屋農業高等学校



No.112 鹿児島県立曾於高等学校



No.113 鹿児島県立曾於高等学校



※枝肉No.順に掲載





# 第8回和牛甲子園 褒賞一覧および受賞結果

## 《総合評価部門》 最優秀賞1校選出／奨励賞39校選出

|      |      |   | 褒賞                 | 内容                                                                     | 受賞校名         |
|------|------|---|--------------------|------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 最優秀賞 | 1校選出 | ① | 全国農業協同組合連合会会長賞     | 最優秀賞受賞校には、全国農業協同組合連合会会長賞以下、左記12賞を授与。<br>(全農畜産サービス株式会社社長賞は、畜産生産関係資材セット) | 広島県立西条農業高等学校 |
|      |      | ② | 農林水産省畜産局長賞         |                                                                        |              |
|      |      | ③ | 独立行政法人農畜産業振興機構理事長賞 |                                                                        |              |
|      |      | ④ | 独立行政法人家畜改良センター理事長賞 |                                                                        |              |
|      |      | ⑤ | 東京都中央卸売市場食肉市場場長賞   |                                                                        |              |
|      |      | ⑥ | 東京食肉市場株式会社社長賞      |                                                                        |              |
|      |      | ⑦ | 全国農業高等学校長協会賞       |                                                                        |              |
|      |      | ⑧ | 公益財団法人全国学校農場協会賞    |                                                                        |              |
|      |      | ⑨ | 公益社団法人全国食肉学校賞      |                                                                        |              |
|      |      | ⑩ | くみあい飼料工場会長賞        |                                                                        |              |
|      |      | ⑪ | 全農畜産サービス株式会社社長賞    |                                                                        |              |
|      |      | ⑫ | 株式会社日本農業新聞社長賞      |                                                                        |              |

|     |       |   |                 |                                     |                      |
|-----|-------|---|-----------------|-------------------------------------|----------------------|
| 奨励賞 | 39校選出 | ① | 全国農業高等学校長協会賞    | 奨励賞受賞校39校には、全国農業高等学校長協会賞以下、左記4賞を授与。 | 総合評価部門最優秀賞受賞校以外の全39校 |
|     |       | ② | 公益財団法人全国学校農場協会賞 |                                     |                      |
|     |       | ③ | 公益社団法人全国食肉学校賞   |                                     |                      |
|     |       | ④ | 株式会社日本農業新聞社長賞   |                                     |                      |

## 《取組評価部門》 最優秀賞1校 優秀賞2校 優良賞3校 審査委員特別賞1校 高校牛児特別賞1校 選出

|      |      |   | 褒賞                 | 内容                                      | 受賞校名         |
|------|------|---|--------------------|-----------------------------------------|--------------|
| 最優秀賞 | 1校選出 | ① | 独立行政法人農畜産業振興機構理事長賞 | 最優秀賞受賞校には、独立行政法人農畜産業復興機構理事長賞以下、左記5賞を授与。 | 岐阜県立加茂農林高等学校 |
|      |      | ② | 独立行政法人家畜改良センター理事長賞 |                                         |              |
|      |      | ③ | 東京都中央卸売市場食肉市場場長賞   |                                         |              |
|      |      | ④ | 全国農業高等学校長協会賞       |                                         |              |
|      |      | ⑤ | 公益財団法人全国学校農場協会賞    |                                         |              |

|     |      |   |                    |                                          |                               |
|-----|------|---|--------------------|------------------------------------------|-------------------------------|
| 優秀賞 | 2校選出 | ① | 独立行政法人農畜産業振興機構理事長賞 | 優秀賞受賞校2校には、独立行政法人農畜産業振興機構理事長賞以下、左記3賞を授与。 | 岐阜県立大垣養老高等学校<br>鹿児島県立市来農芸高等学校 |
|     |      | ② | 全国農業高等学校長協会賞       |                                          |                               |
|     |      | ③ | 公益財団法人全国学校農場協会賞    |                                          |                               |

|     |      |   |                    |                                    |                                           |
|-----|------|---|--------------------|------------------------------------|-------------------------------------------|
| 優良賞 | 3校選出 | ① | 独立行政法人農畜産業振興機構理事長賞 | 優良賞受賞校3校には、全国農業高等学校長協会賞以下、左記3賞を授与。 | 宮城県農業高等学校<br>広島県立西条農業高等学校<br>宮崎県立高鍋農業高等学校 |
|     |      | ② | 全国農業高等学校長協会賞       |                                    |                                           |
|     |      | ③ | 公益財団法人全国学校農場協会賞    |                                    |                                           |

|         |      |   |             |                                   |            |
|---------|------|---|-------------|-----------------------------------|------------|
| 審査委員特別賞 | 1校選出 | ① | 全国農業協同組合連合会 | 審査委員特別賞受賞校には、全国農業協同組合連合会より左記賞を授与。 | 栃木県立矢板高等学校 |
|---------|------|---|-------------|-----------------------------------|------------|

|         |      |   |             |                                   |           |
|---------|------|---|-------------|-----------------------------------|-----------|
| 高校牛児特別賞 | 1校選出 | ① | 全国農業協同組合連合会 | 高校牛児特別賞受賞校には、全国農業協同組合連合会より左記賞を授与。 | 宮城県農業高等学校 |
|---------|------|---|-------------|-----------------------------------|-----------|

## 《枝肉評価部門》 最優秀賞1頭 優秀賞2頭 優良賞3頭 審査委員特別賞1頭選出

|      |      |   | 褒賞                 | 内容                                      | 受賞校名                   |
|------|------|---|--------------------|-----------------------------------------|------------------------|
| 最優秀賞 | 1頭選出 | ① | 独立行政法人農畜産業振興機構理事長賞 | 最優秀賞受賞校には、独立行政法人農畜産業復興機構理事長賞以下、左記5賞を授与。 | 鹿児島県立鹿屋農業高等学校(枝肉番号111) |
|      |      | ② | 東京都中央卸売市場食肉市場場長賞   |                                         |                        |
|      |      | ③ | 東京食肉市場株式会社社長賞      |                                         |                        |
|      |      | ④ | 公益社団法人日本食肉格付協会会長賞  |                                         |                        |
|      |      | ⑤ | JA全農ミートフーズ株式会社社長賞  |                                         |                        |

|     |      |   |                         |                                     |                                            |
|-----|------|---|-------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------------|
| 優秀賞 | 2頭選出 | ① | 東京食肉市場株式会社社長賞           | 優秀賞受賞校2校には、東京食肉市場株式会社社長賞以下、左記2賞を授与。 | 栃木県立矢板高等学校(枝肉番号76)<br>広島県立西条農業高等学校(枝肉番号97) |
|     |      | ② | JA全農ミートフーズ株式会社東日本営業本部長賞 |                                     |                                            |

|     |      |   |                         |                                     |                                                                        |
|-----|------|---|-------------------------|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 優良賞 | 3頭選出 | ① | 東京食肉市場株式会社社長賞           | 優良賞受賞校3校には、東京食肉市場株式会社社長賞以下、左記2賞を授与。 | 福島県立磐城農業高等学校(枝肉番号61)<br>栃木県立那須拓陽高等学校(枝肉番号71)<br>鹿児島県立市来農芸高等学校(枝肉番号107) |
|     |      | ② | JA全農ミートフーズ株式会社東日本営業本部長賞 |                                     |                                                                        |

|         |      |   |             |                                   |                            |
|---------|------|---|-------------|-----------------------------------|----------------------------|
| 審査委員特別賞 | 1頭選出 | ① | 全国農業協同組合連合会 | 審査委員特別賞受賞校には、全国農業協同組合連合会より左記賞を授与。 | 宮崎県立高鍋農業高等学校(枝肉番号329(105)) |
|---------|------|---|-------------|-----------------------------------|----------------------------|

令和6年度 第8回和牛甲子園- 枝肉評価部門（全国農業高等学校和牛枝肉共励会） - 成績表

| 出品<br>番号 | 枝<br>肉<br>番<br>号 | 農協名等       | 学校名<br>(出品者氏名)      | 性別 | 県  | 個体識別<br>番号  | 血統   |       |       | 養牛<br>産地 | 生後<br>月齢 | 生年月日      | 枝肉<br>重量 | 歩留<br>等級 | 肉質<br>等級 | 販売単価<br>(税抜き) | 販売金額<br>(税抜き) | 歩留等級 |      |          |          | 肉質等級       |          |            |    |    |     |    |    |         |     | 報<br>紙<br>記 | 部<br>位 | 買<br>参<br>No. | オ<br>レ<br>イ<br>ン<br>酸 | 飽<br>和<br>脂<br>肪<br>酸 | （MUFA）<br>不飽和脂 | 備 考  |     |
|----------|------------------|------------|---------------------|----|----|-------------|------|-------|-------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|---------------|---------------|------|------|----------|----------|------------|----------|------------|----|----|-----|----|----|---------|-----|-------------|--------|---------------|-----------------------|-----------------------|----------------|------|-----|
|          |                  |            |                     |    |    |             | 父    | 母の父   | 母の祖父  |          |          |           |          |          |          |               |               | ロース  | バラ   | 背脂肪<br>厚 | 歩留<br>基準 | BMS<br>No. | 脂肪<br>交雑 | BCS<br>No. | 光沢 | 等級 | シマリ | キメ | 等級 | BFS No. | 脂肪質 |             |        |               |                       |                       |                |      | 等級  |
| 1        | 51               | J A十和田おいらせ | 青森県立<br>三本木農業恵拓高等学校 | 去勢 | 青森 | 16368-20482 | 忠光安  | 第1花国  | 福栄    | 青森県      | 33       | 令和4年4月14日 | 571      | A        | 4        | 2,320         | 1,324,720     | 67.0 | 9.8  | 3.4      | 74.4     | 7          | 4        | 4          | 5  | 5  | 4   | 3  | 5  | 5       |     |             | 2314   | 57.9          | 36.4                  | 61.0                  |                |      |     |
| 2        | 52               | J A十和田おいらせ | 青森県立<br>三本木農業恵拓高等学校 | 去勢 | 青森 | 16368-20499 | 福之姫  | 百合白清2 | 安福久   | 青森県      | 28       | 令和4年8月23日 | 559      | A        | 5        | 2,604         | 1,455,636     | 76.0 | 8.9  | 2.1      | 76.3     | 11         | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 3  | 5       | 5   |             |        | 1094          | 56.7                  | 38.3                  | 59.4           |      |     |
| 3        | 53               | JA岩手ふるさと   | 岩手県立<br>水沢農業高等学校    | 去勢 | 岩手 | 16126-82585 | 知恵久  | 百合白清2 | 勝忠平   | 岩手県      | 31       | 令和4年6月7日  | 546      | A        | 5        | 2,992         | 1,633,632     | 67.0 | 9.0  | 3.5      | 74.1     | 8          | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 3  | 5       | 5   |             |        | 1085          | 56.9                  | 38.2                  | 59.6           |      |     |
| 4        | 54               | JA岩手ふるさと   | 岩手県立<br>水沢農業高等学校    | 去勢 | 岩手 | 16126-82615 | 結乃宝  | 美津百合  | 安福久   | 岩手県      | 28       | 令和4年8月22日 | 537      | A        | 5        | 2,594         | 1,392,978     | 65.0 | 8.3  | 2.3      | 74.6     | 9          | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 2  | 5       | 5   |             |        | 1046          | 54.8                  | 39.4                  | 57.9           |      |     |
| 5        | 55               | JA新いわた     | 岩手県立<br>盛岡農業高等学校    | 雌  | 岩手 | 16005-12924 | 吉重75 | 茂洋    | 勝忠平   | 岩手県      | 29       | 令和4年7月20日 | 450      | A        | 4        | 2,613         | 1,175,850     | 58.0 | 7.8  | 2.7      | 74.1     | 7          | 4        | 5          | 4  | 4  | 4   | 5  | 4  | 3       | 5   | 5           |        |               | 2314                  | 58.5                  | 36.3           | 61.3 |     |
| 6        | 56               | JA新いわた     | 岩手県立<br>盛岡農業高等学校    | 雌  | 岩手 | 16005-12887 | 百合未来 | 隆富志   | 菊福秀   | 岩手県      | 30       | 令和4年6月30日 | 490      | A        | 5        | 2,851         | 1,396,990     | 64.0 | 8.2  | 3.7      | 73.8     | 10         | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 3  | 5       | 5   |             |        | 2188          | 59.1                  | 35.3                  | 62.3           |      |     |
| 7        | 57               | JAいわた花巻    | 岩手県立<br>花巻農業高等学校    | 去勢 | 岩手 | 13877-97897 | 紀多福  | 美国桜   | 百合白清2 | 岩手県      | 33       | 令和4年4月15日 | 534      | A        | 4        | 2,412         | 1,288,008     | 63.0 | 9.4  | 3.6      | 74.0     | 7          | 4        | 5          | 4  | 4  | 4   | 4  | 4  | 5       | 5   |             |        | 2314          | 54.4                  | 40.1                  | 57.6           |      |     |
| 8        | 58               | JA名取岩沼     | 宮城県<br>農業高等学校       | 去勢 | 宮城 | 15577-15096 | 勝早桜5 | 百合茂   | 安福久   | 宮城県      | 32       | 令和4年5月9日  | 523      | A        | 5        | 3,106         | 1,624,438     | 76.0 | 8.4  | 3.4      | 75.3     | 11         | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 3  | 5       | 5   | オ           | ばら     | 1094          | 58.0                  | 36.3                  | 61.0           |      |     |
| 9        | 59               | JA会津よつば    | 福島県立<br>会津農林高等学校    | 去勢 | 福島 | 15494-93445 | 若百合  | 幸紀雄   | 安福久   | 福島県      | 30       | 令和4年7月12日 | 539      | A        | 5        | 2,689         | 1,449,371     | 89.0 | 8.3  | 1.7      | 78.2     | 10         | 5        | 5          | 5  | 5  | 5   | 5  | 3  | 5       | 5   | カ           | ばら     | 2188          | 56.2                  | 38.4                  | 59.1           |      |     |
| 10       | 60               | JA会津よつば    | 福島県立<br>会津農林高等学校    | 雌  | 福島 | 14553-93846 | 若百合  | 美津照重  | 諒太郎   | 福島       | 30       | 令和4年7月4日  | 503      | A        | 5        | 2,585         | 1,300,255     | 65.0 | 7.8  | 3.3      | 73.8     | 9          | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 5  | 3       | 5   | 5           |        |               | 1085                  | 59.3                  | 35.6           | 61.9 |     |
| 11       | 61               | JA福島くら     | 福島県立<br>磐城農業高等学校    | 雌  | 福島 | 15869-60696 | 幸紀雄  | 美国桜   | 華春福   | 福島県      | 30       | 令和4年7月5日  | 504      | A        | 5        | 3,007         | 1,515,528     | 86.0 | 7.9  | 3.2      | 76.7     | 12         | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 5  | 3       | 5   | 5           |        |               | 2314                  | 58.2                  | 36.4           | 61.2 | 優良賞 |
| 12       | 62               | JA福島くら     | 福島県立<br>磐城農業高等学校    | 雌  | 福島 | 14178-89097 | 茂晴花  | 幸紀雄   | 美津照重  | 福島県      | 30       | 令和4年7月5日  | 433      | A        | 5        | 2,517         | 1,089,861     | 69.0 | 8.1  | 2.9      | 75.7     | 10         | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 3  | 5       | 5   |             |        | 2314          | 57.6                  | 36.7                  | 60.5           |      |     |
| 13       | 63               | JA常陸       | 茨城県立<br>水戸農業高等学校    | 去勢 | 茨城 | 16472-78876 | 北平関  | 美津照重  | 安福久   | 茨城県      | 29       | 令和4年8月2日  | 548      | A        | 5        | 3,513         | 1,925,124     | 97.0 | 9.0  | 1.5      | 79.9     | 11         | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 3  | 5       | 5   |             |        | 2314          | 53.8                  | 40.8                  | 54.0           |      |     |
| 14       | 64               | JA常陸       | 茨城県立<br>水戸農業高等学校    | 去勢 | 茨城 | 13651-66462 | 那珂茂晴 | 北国関7  | 平茂勝   | 茨城県      | 28       | 令和4年8月21日 | 507      | A        | 4        | 2,577         | 1,306,539     | 53.0 | 7.5  | 2.7      | 72.5     | 7          | 4        | 5          | 4  | 4  | 4   | 5  | 4  | 3       | 5   | 5           |        |               | 2188                  | 58.9                  | 36.3           | 59.7 |     |
| 15       | 65               | JAしおのや     | 栃木県立<br>宇都宮白楊高等学校   | 去勢 | 栃木 | 08728-74716 | 福之姫  | 耕富士   | 美国桜   | 栃木県      | 28       | 令和4年8月21日 | 633      | A        | 5        | 2,602         | 1,647,066     | 82.0 | 8.6  | 2.4      | 75.7     | 9          | 5        | 5          | 5  | 5  | 5   | 5  | 5  | 3       | 5   | 5           |        |               | 2596                  | 59.1                  | 36.3           | 60.5 |     |
| 16       | 66               | JAしおのや     | 栃木県立<br>宇都宮白楊高等学校   | 去勢 | 栃木 | 14006-28344 | 若百合  | 光平照   | 菊福秀   | 栃木県      | 29       | 令和4年8月9日  | 481      | A        | 5        | 2,225         | 1,070,225     | 59.0 | 7.9  | 3.3      | 73.4     | 9          | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 5  | 3       | 5   | 5           | ウ      | ロース           | 2596                  | 56.1                  | 39.1           | 58.9 |     |
| 17       | 67               | JAかみつが     | 栃木県立<br>鹿沼南高等学校     | 去勢 | 栃木 | 16304-70256 | 勝乃幸  | 美津照重  | 安茂勝   | 栃木県      | 29       | 令和4年7月21日 | 511      | A        | 5        | 2,522         | 1,288,742     | 76.0 | 9.3  | 2.6      | 76.7     | 10         | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 5  | 3       | 5   | 5           |        |               | 2557                  | 54.4                  | 40.8           | 57.2 |     |
| 18       | 68               | JAかみつが     | 栃木県立<br>鹿沼南高等学校     | 去勢 | 栃木 | 16304-70263 | 百太   | 美津照重  | 金幸    | 栃木県      | 29       | 令和4年8月1日  | 573      | A        | 5        | 2,731         | 1,564,863     | 78.0 | 10.2 | 2.1      | 77.3     | 10         | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 5  | 3       | 5   | 5           |        |               | 2596                  | 57.3                  | 37.5           | 60.3 |     |
| 19       | 69               | JAしもつけ     | 栃木県立<br>栃木農業高等学校    | 去勢 | 栃木 | 15423-54071 | 吉重75 | 百合茂   | 安福久   | 栃木県      | 30       | 令和4年7月4日  | 529      | A        | 5        | 2,898         | 1,533,042     | 81.0 | 9.8  | 2.3      | 77.8     | 12         | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 5  | 3       | 5   | 5           |        |               | 2188                  | 55.7                  | 38.9           | 59.0 |     |
| 20       | 70               | JAしもつけ     | 栃木県立<br>栃木農業高等学校    | 去勢 | 栃木 | 13826-51071 | 勝乃幸  | 福之姫   | 茂勝栄   | 栃木県      | 30       | 令和4年7月2日  | 542      | A        | 5        | 2,603         | 1,410,826     | 84.0 | 8.4  | 2.8      | 76.6     | 12         | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 5  | 3       | 5   | 5           | エ      | もも            | 2613                  | 58.2                  | 36.8           | 60.8 |     |
| 21       | 71               | JAなすの      | 栃木県立<br>那須拓殖高等学校    | 去勢 | 栃木 | 16457-78798 | 福之姫  | 安福久   | 平茂勝   | 栃木県      | 33       | 令和4年4月4日  | 688      | A        | 5        | 2,947         | 2,027,536     | 92.0 | 10.8 | 3.5      | 76.9     | 12         | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 5  | 3       | 5   | 5           |        |               | 2596                  | 55.4                  | 39.7           | 58.5 | 優良賞 |
| 22       | 72               | JAなすの      | 栃木県立<br>那須拓殖高等学校    | 去勢 | 栃木 | 16690-10768 | 愛之国  | 美国桜   | 百合茂   | 栃木県      | 28       | 令和4年8月20日 | 534      | A        | 5        | 2,606         | 1,391,604     | 76.0 | 9.4  | 2.2      | 76.9     | 9          | 5        | 4          | 5  | 5  | 5   | 5  | 5  | 3       | 5   | 5           |        |               |                       |                       |                |      |     |





和牛甲子園

# 先輩“高校牛児”講話

## 先輩“高校牛児”による進路講話

- 目的：**進学・就職を控えた現役高校生にとって関心の高い進路選択の事例研究として、参加生徒の進路選択に資するため、和牛甲子園出場経験者が体験に基づく講話を実施
- 講話者：**第5回総合評価部門 最優秀賞受賞校 愛知県立渥美農業高等学校
- 内容：**高校生の進路・職業選択のためのケーススタディー
- 方法：**司会者との質疑応答方式による対話形式による講話

### 今回登場する先輩牛児のプロフィール

#### 藤井 琴未さん：

高校卒業後、本場の畜産業を学ぶために宮崎大学農学部畜産草地科学科に進学しました。3年生次から牧場研究室に所属し、乳牛・肉牛・豚の飼養管理を学んでいます。また、格付けの学習にも興味を持ち、全日本大学対抗ミートジャッジング競技会において個人総合部門2位を獲得し、日本代表としてオーストラリア大会にも参加しました。将来は、地元である愛知県で農業高校の教員を目指しています。



#### 村上 すずさん：

高校卒業後、北海道にある帯広畜産大学の別科、酪農専修で酪農を学んでいます。

帯広畜産大学は、「日本の食糧基地」として食料の生産から消費まで一貫した環境が整う北海道十勝地域において、生命、食料、環境をテーマに「農学」「畜産科学」「獣医学」に関する教育研究を推進し、知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、「職を支え、暮らしを守る人材の育成を通じて地位毛及び国際社会に貢献する」ことを目標にしています。その中でも別科では、酪農のエキスパートを育てるコースであり、農場での乳牛を扱う実習はもちろん、ウシの家畜人工授精師や削蹄師、HACCP講習などの習得を目指しています。



#### 清水 梨里菜さん：

高校卒業後、宮城県にある専門学校東北動物看護学院愛玩動物看護学科に進学しました。

動物の命を救いたいという思いを胸に、動物看護師の国家資格合格を目指し、日々勉学に励んでいます。





和牛甲子園

# 先輩“高校牛児”講話

## 奥田 里紗さん：

第5回、6回、7回大会に参加し、卒業後、東京農業大学農学部デザイン農学科に進学しました。和牛甲子園に3回も大会に参加させていただき、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。

現在は、多田先生のもとで、生き物や食が持つ機能性に着目し、それらを応用して持続可能な社会をデザインする勉強をしています。



## 先輩牛児から後輩牛児へ贈るメッセージ

### 藤井琴末 さん

私が参加した第4回、5回大会はオンラインだったので、初めて和牛甲子園の会場に行けたことはとても嬉しい経験でした。実際に取り組み発表を拝見したり、大会の合間に牛児のみなさんとお話したり、枝肉も見せていただけて、刺激的な2日間になりました。牛児のみなさんが、この活動に携わり全力を尽くしたことは何より今後の力になるはずです。自分が選んだ道を信じて、お互いに頑張りましょう。

### 村上すす さん

高校牛児の皆さん、和牛甲子園お疲れ様でした。楽しい大会になりましたか？  
私は、コロナ禍で来ることができなかった、東京の会場にこのような形で参加することができて、とても楽しかったです。  
和牛甲子園を通して培った、資料作りや発表の仕方、そして自分たちで考えて行動に移す力は、進学した先でとても役に立っていますし、大切にしたい力です。  
和牛甲子園で学んだことを生かして、一緒に頑張りましょう！

### 清水梨里菜 さん

和牛甲子園お疲れ様でした。出場していたときから二年経ちましたが、当時の記憶がよみがえり懐かしい気持ちになりました。久しぶりに畜産に関わることが出来とても楽しかったです。取り組み部門では、そんな発想もあるんだとおどかされるものばかりでわくわくしました。これからも頑張ってください。

### 奥田里紗 さん

高校牛児の皆さん、和牛甲子園お疲れ様でした！  
今年も素晴らしい発表と枝肉の出来映えに、皆さんの高校3年間の努力と牛への深い愛情がとても伝わってきました。年々レベルアップするその挑戦の姿は、日本の畜産業の明るい未来を感じさせてくれました！また、私自身、皆さんの熱意あふれる姿勢に感動し、とても刺激を受けました。  
この和牛甲子園での経験を今後の糧に、次の大会や新たな挑戦にも自信を持って進んでください！  
高校牛児の皆さんを応援しています！

## 恩師からのメッセージ

今回参加した卒業生は、「総合優勝」という特に印象的な時期を共に過ごした4名でした。大会の中でも感じたことではありますが、自分のことを、自分の言葉で伝える力がよく身についていると感じ、嬉しい気持ちになりました。

卒業生としての彼女たちとは、この大会期間中、ずっと牛の話をしていたような気がします。私にも、卒業生にとっても、総合優勝したときと同じくらい、一生忘れない思い出になりました。このような機会をいただき、ありがとうございました。

尾崎 智子 先生



和牛甲子園

## 第8回和牛甲子園 特別授業（講演会）

元卓球日本代表 全農所属で全農オフィシャルアンバサダーを務める石川佳純さんに、サプライズゲストとしてご講演いただきました。ご自身の現役時代の経験をもとに、夢に向かって進む高校牛児へ激励の言葉をいただきました。





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 北海道岩見沢農業高等学校



初めての参加でどのような大会が分からなかったが、入賞した学校の発表を見て大変刺激を受けました。今年度は、出品牛がいなく体験発表のみの参加でしたが、来年度は出品牛がいるので大会参加に向けて牛の管理を徹底していきたいと思いました。

(田澤 未季)

配信での参加で会場の雰囲気や配信されていない部分など分からない部分はあるが、発表等を見させていただき自分たちのこれからの活動に参考になることばかりでした。来年度は、牛を出荷できるのでそれまでケガやトラブルを起こさないように日々の飼養管理を行っていききたいと思います。

(船越 乙羽)

全国の農業高校生が和牛生産に対して熱い思いを持って取り組んでいることが分かりました。私たちは、岩見沢農業高校として初めての和牛肥育に挑戦しています。入賞されている学校のような、活動ができるか不安はありますが消費者の方がおいしいと感じ、幸せになれるような和牛を生産できるように取り組んでいきます。

(安藤 龍之介)

普段から乳牛の飼養管理について学ぶ機会が多いですが、この大会を通して和牛生産の魅力を感じました。今年度は会場には行けませんでした。来年度は参加できるということなので他校の生徒さんとコミュニケーションがとれるように日々の実習等を頑張り、和牛の知識を高めたいと思います。

(戸屋 恭汰)

## 北海道帯広農業高等学校



今年初めて出場しましたが、他校の発表を見ると外部とうまく連携して研究されていたので、自分たちも今持っている人脈を生かしていきたいと感じました。また枝肉については、あまり知識がなく見方が分からなかったので良い勉強になりました。

(神田 凌佑)

帯広農業高校として初めての出場でとても緊張しましたが、交流会では勇気を出して多くの人に話しかけました。みんな優しく、様々なことを学ぶことができました。この和牛甲子園で学んだことを活かし来年に向けて頑張っていきたいです。

(松本 実希)





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 青森県立三本木農業恵拓高等学校



和牛甲子園に参加して、全国の高校生がそれぞれ特色のある活動を行っていることを実感しました。同世代の高校生が畜産業を盛り上げようと努力している姿を見て、自分も頑張ろうと思いました。貴重な経験になりました。

(阿部 相太)

和牛甲子園は、高校生みんなの熱意がすごくて感動しました！自分達で育てた和牛の成長を見守る姿がかっこよかったし、学びが多かったです。これからも和牛に興味を持っていきたいと思いました。

(川村 大慈)

私は和牛甲子園に参加して、全国から和牛を通じて集まった高校生が、自分の地域や学校の特色を活かし、和牛生産に取り組んでいることがわかる良い機会でした。今後も美味しい牛肉を生産できるよう後輩達に頑張ってもらいたいです。

(小笠原 衣織)

和牛甲子園に参加して、実際に牛の枝肉を見たりセリを見たりして、普通の高校生では経験できないようなことが出来て良かったです。全国の和牛を生産してる高校生、後輩達、これからも和牛生産を頑張ってくださいと思います。

(小林 寧々香)

和牛甲子園に参加して、取組発表会や交流会で自分の県の特徴を活かして美味しい和牛を生産していることがわかりました。枝肉を見たのが初めてで、なかなかない経験ができました。全国の高校生のように、和牛の生産に頑張っていきたいです。

(下久保 美優)

## 岩手県立水沢農業高等学校



他校の方々と将来の夢や牛の好きなところについて話すことができました。枝肉共励会ではどの高校もレベルが高く、美味しいような枝肉ばかりで一つの枝肉に違いがあることを実感しました。また、これもまたひとつの命だったんだと改めて感じました。入賞することは叶いませんでしたが2頭ともA5ランクという良い結果を残すことができました。

(加藤 千尋)

他校の枝肉はどれも素晴らしく、参考にしたい牛が沢山いました。特に、市来農芸高校の取り組みや交流を通じて、細かい所に重点を置いて牛と触れ合う姿勢に感銘を受けました。私も祖父母の繁殖経営を手伝う際には真似できるところは取り入れたいと思います。セリでは同じ東北チームの宮城県農業に高値がついていて嬉しかったです。

(菊池 蓮)

和牛甲子園に参加し、多くのことを学ぶことができました。出品牛の良久号と宝1号は本当によく頑張ってくれました。結果はA5ランクでしたが入賞は難しいものでした。それでも、私たちの2年間の努力が実ったことがとても嬉しかったです。

他校の枝肉を見て感じたことは、全体的に大きく立派でサシのきめ細かさやロース芯の面積の大きさに驚かされました。

(三浦 柊)

大会では他校との交流会で私たちとは異なる牛に対する工夫や愛情の注ぎ方を学び、牛に対する強い想いを感じることができました。枝肉共励会では他校の枝肉の質の高さに驚き、様々な視点から疑問が浮かびましたが、自分たちの牛に対して「頑張ったね」「やりきった」という気持ちでいっぱいでした。セリではその仕組みにワクワクし、自分たちの牛も十分に高値を付けていただき、とても良い思い出となりました。

(中澤 悠斗)



和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 岩手県立盛岡農業高等学校



私が和牛甲子園に参加し、特に良かったと思うことは他校との交流ができたことです。

自分たちとは全く違うプロジェクト活動を行ってきた学校の活動内容を詳しく聞き、意見を交換し合う機会はなかなかないのでとても参考になりました。

(久慈 渚紗)

高校で初めて牛に触れ、和牛甲子園の存在を知り、盛農初の雌牛肥育に挑戦したので毎日試行錯誤の3年間でした。当日他校の方から感じた刺激や学校で得た経験をこれからの生かしていきたいです。

(坂本 裡音)

## 岩手県立花巻農業高等学校



様々な学校との交流や取り組みを審査委員の方に評価して頂き、今後の研究や発表の参考になり、後輩たちにも引き継いでいきたいです。また、枝肉を実際に見て、私は、宮崎の学校の肉が良かったです。今回参加して、生産する際に消費者を意識することができるようになりました。

(千葉 唯翔)

参加して思った事は、私にとっては知らないことばかりという事でした。体験発表では他校の牛児の皆さんの研究結果や課題など見ることができました。また、交流会では、3人の牛児と交流し、分からなかったことを質問することができとても有意義でした。

(藤村 美羽)





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 宮城県農業高等学校



私が目指すのは、利益よりも「安心・安全で美味しい和牛」を届け、消費者に笑顔と幸せをもたらす畜産家です。小さな幸せを積み重ね、環境保全に配慮した持続可能な飼育を実践したい。たとえ1日の利益が100円でも、その背後に笑顔があれば大きな価値があると信じています。和牛を通じて、人と地球に優しい未来を創り、日本の畜産業の発展に貢献したいです。（星碧 虎）

和牛甲子園に参加して和牛の飼育方法やこれからの畜産について理解を深めることが出来ました。また、他の高校生との交流により新しい考え方や取り組みなど色々なことを知る機会になり、自分自身の成長に繋げることができ、楽しい時間を過ごすことが出来ました。（瀬戸 一花）

すすごろうと一緒に目標であった和牛甲子園に出場し、総合優勝は出来なかったものの、取り組み評価部門で優良賞と高校牛児特別賞を受賞し、この3年間の頑張りが評価されたと思います。これからも心の中にいるすすごろうと一緒に頑張ります。（阿部 優愛）

私が和牛甲子園に参加して良かった事は他校の生徒と交流ができた事です。他校の人と交流をする事で今まで自分が気付かなかったことにも気づく事が出来ました。そして、この和牛甲子園で学んだ事を将来は酪農家になりますが、生かせる所は生かしていきたいと思いました。（安達 優希）

## 福島県立会津農林高等学校



和牛甲子園に参加して、入賞校の発表を聴いて、自分たちの発表との違いを良く考察して、次の学年に伝え、活かしていきたいと思いました。交流会ではたくさんの人と話すことができ、牛の肥育の情報交換をして、学ぶことばかりでした。とても良い経験をさせていただきました。（田村 銀星）





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 福島県立磐城農業高等学校



和牛甲子園に初めて参加しましたがどの学校の方発表もすごく圧倒されました。来年に向けての課題をたくさん見つけることができたのでその課題を解決できるように今から頑張っていきたいと思います！

来年は取組発表でも優良賞取れるように頑張ります！

(木村 弥音)

和牛甲子園に初めて参加したのですが、和牛についての説明を聞いたり枝肉のことについて教えてもらいとても勉強になりました。取組み発表部門では賞を取ることは出来ませんでしたが、枝肉評価部門では「きくた91」が優良賞を取ることができて嬉しかったです。来年の和牛甲子園では最優秀賞を目指して頑張ります！

(鈴木 晴海)

私が和牛甲子園に参加して良かったなと思ったことは2つあり、本校の肥育牛が枝肉部門にて優良賞をいただけたことです。そしてもうひとつは、前回よりも多くの高校生たちと知り合い会話することができたことです。次回参加した時にはもっと色んな人と話してみたいです。

(松崎 花咲)

私は初めて和牛甲子園に参加しました。2年生から始めて放課後の管理や和牛甲子園のための活動と初めての経験でした。取組評価では入賞できませんでしたが枝肉評価で「きくた91」が優良賞をとることができました。他校との交流ではその高校独自の取組、改善など参考になることが多く聞けました。

私は将来水族館で働けたらと思っています。畜産とはまた違う形ですが動物と関わる仕事がしたいと考えているので将来に向けて経験を積んでいきたいと思っています。

(渡邊 陽太)

## 茨城県立水戸農業高等学校



今回和牛甲子園に参加して他の学校の活動内容や工夫した点に驚き新たに学ぶことが出来ました。他の学校の研究結果を聞いて今後取り入れていきたいと感じたものが沢山ありました。

私は給餌、牛班や牛部として管理してきました。無事、出荷できてよかったのですが少し寂しいです。しかし二頭が関わった人達に命を持って沢山のことを教えてくれたと感じます。今後は動物看護の道へ進みますが、今まで培ったことをこれから先の生活で活かしていきたいです

(松原 萌夏)

私にとって和牛甲子園は畜産をやりたいと思ったきっかけでありとても憧れてきた大会です。そして今回、第8回和牛甲子園にて「那珂姫野」号と「美津平閑」号を無事出品できたことを嬉しく思います。

3年間の集大成と言えるこの大会で、賞を取ることは叶いませんでしたが2頭と過ごした2年半という時間は私の青春の一部でありかけがえないものです。改めてここまでついてきてくれた2頭や仲間に感謝とお疲れ様でしたという言葉伝えたいです。そして、来年出品予定の希望号には今年よりも良い結果を残してほしいと思うので、今回この大会で培った知識や経験を後輩たちに伝えたいです。

(岡部 光希)

初めて和牛甲子園に参加し、多くの学びを得ることが出来ました。

1日目の名刺交換では、他校の取組みや工夫について、話を聞くことができ、とても有意義な時間となりました。特に飼育方法や課題への取り組みを知ることで、自分たちの活動を見直すきっかけにもなりました。2日目の枝肉審査では、出品した2頭の牛の皮下脂肪について、問題なしと評価をいただき嬉しかったです。ただ、2頭のBMSナンバーに少し差が出てしまった点は悔しかったです。

結果として入賞はできませんでしたが、これまで努力してきた成果を十分に発揮できたと思います。この経験を通して得た学びを、今後に活かしていきたいです。

(村田 美咲)





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 栃木県立宇都宮白楊高等学校



和牛甲子園では、他県の取組や考え方など新しい視点で「牛」について考えることができました。また、交流会では自分の高校の考え方や、問題点について考えることができました。また、改めて命の大切さについて実感することができました。(阿久津 瑠那)

和牛甲子園に参加して全国の高校牛児と交流ができ貴重な体験でした。特に入賞校の発表や枝肉を見ることが自分たちの今後の課題などが再確認できました。特に枝肉では、自分たちが出品した肉と、入賞校の出品牛を見比べることができたことが一番勉強になりました。

今回学んだ事を後輩に伝えていきたいです。(阿部 来桜)

自分たちが育てた牛が、枝肉となってセリにかけられているところは、少し悲しい気持ちになりました。しかし、改めて命の大切さ、つながりを実感することができました。これから畜産を専攻する後輩たちにも、和牛甲子園に向けて頑張ってもらいたいと思います。(岩崎 汐笑)

## 栃木県立鹿沼南高等学校



私が和牛甲子園に参加して感じたことは、私たちよりも深く家畜を考え、家畜の飼養管理の工夫をしている学校が想像していた以上に多いということです。特に、その土地の特産物を利用し、家畜にどのように利用するかと検討し、分かりやすくまとめていることに感心しました。また、BMSが、11や12の枝肉がたくさんあり、私たちが育てた牛よりも優れている枝肉が多かったです。そのため、今後は私たちならではの工夫を見つけ、実践していきたいと思いました。(石川 南々珠)

私たちは、牛の飼養管理から学んだことや体験したことを発表しました。私たちの牛への思いは深いと思っていましたが、全国には、もっと深い思いを持って牛と向き合い学校生活を送っている高校生がたくさんいることを知りました。地元では、JA全農とちぎの滝澤さん、篠原さんのご指導の下、私たちが、丹精込めて飼養管理をした牛の肉を消費者の方々に向けた試食販売実習を行いました。消費者の方々に説明をしながら販売し「頑張って」と声を掛けられるともっと頑張ろうと嬉しい気持ちになりました。また、私たちが育てた牛の肉を食べる機会がありました。脂肪交雑がきれいで、食べるとおいしく、みんなで協力し育てて良かったと思いました。(久野 菜々子)

将来の私の夢は、祖父が営む繁殖農家を受け継ぐことです。そのため、全国に仲間を作りたいと考え、和牛甲子園に参加しました。全国には、牛への熱い思いを持った高校生がたくさんいることを知りました。私は、他県の高校生と連絡先を交換しました。今後は、情報交換をしながら、経済動物の役割である食料生産だけでなく心を豊かにする動物に関しても学習を深め、家畜が望む環境づくりを心掛けていきたいと思いました。(本田 紘大)

現在、我が家は、繁殖農家を営んでいます。私が経営を任されたときには、雌牛の一貫肥育を行い、山川ブランド牛を生産したいと考えています。そのためにも、雌牛を飼育している高校生と情報交換がしたいと考え、和牛甲子園に参加しました。雌牛の特性を考え、生産している高校生と情報交換をすると、「次はこうしたい」と次から次と夢を語り合える仲間に出会えたことが嬉しかったです。大会が終了し、別れの時間が近づいた時、九州の高校生が「待っているからな」と声を掛けてくれました。卒業後、私は、県農大に進学し、黒毛和種の知識を深め、多くのことを経験し、いつか、和牛甲子園で出会った仲間たちと牛の話ができるように成長していきたいと思いました。(山川 巧)

我が家は、祖父の代では酪農経営をしていましたが、父の代では肉牛経営に変更しました。家畜を管理し、経営を安定させるためには、社会の情勢や家畜の諸問題を総合的に判断し、地域の求める産業を営むことが重要だと考えています。和牛甲子園に参加し、全国の牛児たちと話したことで、家畜を扱う仕事は、家畜の生理生態から流通そして、消費者が求める食肉生産をするための知識や体験が必要になると思いました。特に、多くの人たちと情報を交換するためのコミュニケーション能力も必要だと思いました。卒業後は、少し家畜との時間は少なくなりますが、多くのことを学び、多面的に家畜を考えられるように成長したいと思いました。(芳田 史晟)



和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 栃木県立栃木農業高等学校



取り組みを聞いて、各都道府県の特産品や土地柄を生かした飼育方法を模索している学校が多いように感じた。今後は、そのような点も意識して地域に根差した和牛の飼育管理が求められてると分かり、とても勉強になった。

和牛についても勉強会で、特徴を詳しく知ることができ、多くを見て学べた貴重な体験になった。(古橋 叶望)

発表を聞いてから枝肉を比較して見ることで、それぞれの県の育成方法や肥育期間、どこに力を入れているかを、枝肉からも感じることが出来て良かった。

取り組み発表では、ユニーク考えや取り組みが数多くあり驚かされた。全体を通してとても良い経験となった。(藤沼 大志)

取り組みを聞いて今まで考えたこともない取り組みもありとても勉強になった。また、それぞれの地域で枝肉の見た目が違うのが驚きだった。和牛について学んでいく中でとてもいい経験になったし、学んだことを活かしこれからも和牛について学んでいきたいと思えた。(福田 芽生)

他校の発表や意見を聞いてとても参考になり良い経験になったと思う。実際に枝肉を見るのは初めてで学校によって育て方が違うのがはっきりと見てわかることを知り、良い経験になり沢山学べたと思う。(遠藤 唯羽)

取り組みを聞いて色々な視点から研究をしていた。牛について多くのことを学べて、知識を深めることができた。他の高校の人と交流して、どんな飼育管理をしているか知ることができて良い経験になった。(宇賀神 絢香)

## 栃木県立那須拓陽高等学校



和牛甲子園に参加して全国の高校牛児と交流でき貴重な経験ができました。他校の取り組み事例のレベルの高さに驚きました。私は4月から栃木県農業大学校に進学するので今回の経験を活かせるように今後も勉強を続けていきたいと思います。

(秋間 悠斗)

同世代の牛児と情報を交換したり取り組みについて話し合ったりと貴重な時間を過ごすことができた。全国の牛児が高い志を持って和牛の管理をしていることが分かった。私も負けまいように今後も勉強を続け、家業を継いでいきたいと思う。(前田 海澄)





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 栃木県立真岡北陵高等学校



今回、和牛甲子園に参加することができ、他校の取り組みを知ることができ、大変勉強になりました。交流会では、たくさんの人と話ができ、繋がることのできたのも良かったです。貴重な経験ができました。来年は結果を残せるよう頑張ってもらいたいです。  
(佐藤 葵)

## 栃木県立矢板高等学校



他校の生徒が、私たちの課題研究の内容に興味を持ち、様々な質問をしてくれました。「こんなことはどうだろう」と提案してくれた人もいて、牛が好きな高校生ならではの発言をしてくれたことで、新しい課題などを見つけることができました。

(薄井 詩桜)

私は、和牛甲子園に初めて参加しました。畜産が本当に好きだという方々ばかりで、沢山の知識を得ることが出来ました。今まで実際に目にしたことがないブランド牛の枝肉を見ることも出来て幸せでした。

(齋藤 虹々七)

## 群馬県立利根実業高等学校



私の和牛甲子園に出場した感想は、枝肉の勉強で特にロース芯の作り方や石川選手の特別講演、他校との交流が非常に勉強になりました。来年度の後輩達にもしっかりと頑張って欲しいと思います。  
(山田 竣平)

和牛甲子園に行って、体験発表会で印象に残ったのは、「ハエ対策が上手く出来ない」と発言していた学校でした。利根実業もハエの数が多く、サシバエがいたら嫌だなと思ってたので、来年度のウシ班に試行錯誤をしながらハエ対策を見てほしいです。

(岡田 琴音)

私が、和牛甲子園に参加して良かったと思うことは、他校の人と交流できたことです。私は、とても内気で、人前でなかなか話せない性格もあり、名刺交換の時間になっても、最初は自分から話しにいきませんでした。そのため、1日目の交流会は他校の子が誘ってくれて話す感じでした。しかし、2日目は自分から誘うことは出来なかったけれど、声をかけてもらったときに自分なりに会話できたので、楽しかったし良かったな、と思いました。

(宮内 菜美)



和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 神奈川県立中央農業高等学校



今回初めて最後ですが、和牛甲子園に参加することができ良かったです。

出品した牛の誕生から最期まで見届けることができ、大会で改めて肉質等級などの知識をつけることができいい経験を積むことが出来ました。また色々な県の高校牛児たちと交流ができ、互いの牛への思い、夢を話すことができ良かったです。大学に進学しても肉牛のことを学びたいと思っているため、この経験を忘れず活かしていきたいと思います。(柳沢 桃音)

和牛甲子園に参加して、1年生の頃から育てていた牛が、枝肉になって買われていく所を実際に見ることができて、とてもいい経験になりました。また、他校との交流を楽しみにしていたので、色々な人と話せて楽しかったです。(土佐 道香)

去年に続き参加してみて他校の新たな取り組みや発展した取り組みを知り、交流から多くの学びを得ることができました。なかなか競りや食肉市場を見る機会が少なく、枝肉格付協会の人の評価など、貴重な学びを多く得ることができました。(宇留野 笑莉)

今回初めて和牛甲子園に行って、色々な学校の人と交流ができたり、枝肉の見学や競りを見たりしてとても勉強になりました。取り組み発表では自分が思いもしないようなアイデアや活動をたくさんされている学校を見てとても驚き、参考にしてできることを学校に取り入れていきたいと思いました。(金田 心花)

和牛甲子園に参加して良かったことは実際に育てられた牛の枝肉を見て色合いの違いや脂のつき方などの改善点やランクの付け方や価格の上がりやすさのポイントなどを学ぶことができた点です。とても勉強になりました。(小山 隼汰)

和牛甲子園に出ることができてとても光栄でした。他校の人達との情報交換や枝肉見学会・講習会も普段の生活ではなかなか学べないようなことを学べてとても楽しかったです。また来年機会があれば行ってみたいです。(渡邊 智)

## 富山県立中央農業高等学校



昨年に引き続き和牛甲子園に参加させていただきました。交流会では受賞校の高校牛児の話を聞いたり、同じ進学先の高校牛児と話したりと交流を深めることができました。枝肉評価部門では、kg単価は3,000円を超えたもののやはり増体が課題だと感じました。私は今年で卒業ですが、後輩たちには取組の課題や増体など、今大会で気が付いた課題を解決するために頑張ってください！(田中 侑美)

2日間という短い期間でしたが、全国の高校牛児と繋がり、充実した一時を過ごすことができました。冷凍庫で実際に枝肉を見て、本校の枝肉は他校に比べてあまりに細く小さかったため、牛の増体についての探究心が芽生えました。来年度の和牛甲子園に向けてどのような研究をするか模索し、入賞校に名を連ねられるようなデータを収集していきたいです。(益山 実緒)

今年初めて和牛甲子園に出場し、枝肉や競りの現場などたくさんの方が印象に残りました。受賞校の取組発表はレベルが高く、本校はまだまだ出来ることがあると痛感しました。高校牛児交流会では県外のたくさんの生徒さんと名刺交換ができました。県外の高校牛児と交流できる体験は貴重なので様々な話を聞けてよかったです。来年度も先輩の課題を引き継ぎ頑張りたいです。(廣田 望)





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 岐阜県立大垣養老高等学校



第8回和牛甲子園に参加でき質疑応答や発表を通して、わかりやすく伝えることを学ぶことができ、他県の農業高校との繋がりを持つことができました。同じ夢を持った子や、遠い県の子など様々な子と話をし和牛甲子園でしかできない出会いがありとても楽しかったです。

(杉田 蒼依)

今回の和牛甲子園に参加して、全国の高校牛児と交流できる貴重な時間を過ごして、新たな学びや課題を見つけることができました。また、枝肉市場では全国の枝肉が一箇所に集まり、それぞれの都道府県の枝肉を見て、岐阜県の特徴などを実際に学ぶことができました。この経験を活かして将来は岐阜県の畜産に貢献できる人になりたいです。

(佐野 日那多)

2年生で和牛甲子園に参加させてもらい、全国の農業高校生徒の方と交流ができて、すごく勉強になりました。この2日間の経験を来年の和牛甲子園に向けて、今行っている研究をよりよくし、課題を解決していただきたいです。

(藤原 結)

## 岐阜県立加茂農林高等学校



とても充実した貴重な時間でした。他県の農業高校がどんな取り組みを行っているのかを知ることができただけでなく、実際に会話する時間があっただけで全国の仲間とご縁を結ぶことができました。来年もぜひ参加させて頂きたいと思います。

(加藤 璃南)

昨年に引き続き参加させていただいた今年の和牛甲子園は、私にとってとても素敵な2日間になりました。交流の時間では他校の取り組みについてさらに深く知ることができ、全国の牛に関する情報交換ができました。同じ夢を持つ仲間とも出会い、改めて全国の仲間と関わる貴重な機会を頂けたことに感謝しています。取り組み評価部門では最優秀賞を受賞し、私達の取り組みを多くの人に知ってもらえることが出来てとても嬉しかったです。これからも牛に関わって、大好きな牛のことを学び続けたいです。とても楽しく充実した時間をありがとうございました。

(渡邊 煌)

私は和牛甲子園を通してたくさんの方を経験することが出来ました。取組評価部門では2人でドキドキしながら結果を待ち、名前を呼ばれた瞬間はとても嬉しかったです。会場にいる方や配信を見ている方など、たくさんの方々に私たちの研究内容を知ってもらえて嬉しかったです。その後の交流会では、発表で聞けなかったことや飼育方法など各県ごとの違いを多く知ることができ、楽しかったです。この2日間、たくさんの方のことを学ぶ機会を作っていただきありがとうございました。

(小島 幸花)





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 岐阜県立飛騨高山高等学校



2日間の和牛甲子園を通して私は、自分たちの育てた牛の枝肉を見ることができたこと、他校の方々の枝肉を見たり、発表を聞くことができとてもうれしかったです。交流会で他校の取り組んできたことを聞き、私たちの学校ではしていない取り組みもあり、とても勉強になって楽しかったです。（向 心彩）

和牛甲子園で、自分たちが育ててきた牛が購買されて、たくさんの人たちの笑顔に繋がったと考えますごく嬉しいです。他県の牛も見ることができて勉強になったし、たくさんの農業高校生の方々と交流することができました。刺激的な2日間でも楽しかったです！ありがとうございました！（丸山 友希）

和牛甲子園に2日間参加してみて、私たちが育ててきた牛がどんな枝肉になったのかを見ることができ、他校と交流することで様々な取り組み方を知ることができ、新しい発見をすることができました。貴重な体験をすることができて嬉しかったです。とても楽しく濃厚な2日間を味わうことができました！ありがとうございました！（本山 汐里）

## 愛知県立渥美農業高等学校



和牛甲子園に参加して、様々な意見を聞いて良い経験になりました。地域や環境は違っても、牛に関わる問題解決のために一生懸命に取り組んでいることを知り、ここにいる人はみんな畜産の未来を変える仲間なんだと感じました。（岩本 漣）

枝肉勉強会で、自分たちが育てた牛と他校の牛との違いを発見することができたので、参加できてよかったです。交流会では、いろんな学年の子と交流できてたくさん話せました。将来は、動物関係の仕事につけるような資格取得をしていきたいです。（沖尾 瞳月）

初めての参加はとても良い経験になりました。いろんな人と交流して、よい刺激になりました。みんな牛が本当に大好きなんだと感じ、多くの時間を牛に捧げていて、これが本当の高校牛児だと思いました。私も負けずに自分も頑張りたいと思う大会でした。（彦坂 香穂）

初めて参加して、普段見れない光景や、他県の人と交流できたことが本当に嬉しかったです。特に枝肉共励会が印象的で、入賞した枝肉も実際に見れてよかったです。将来は肥育ではなく繁殖を継ぐ予定ですが、肥育もやってみたいと思うようになりました。（峯田 凜）





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 滋賀県立長浜農業高等学校



枝肉勉強会で、自分達で毎日ブラッシングを行い、大切に育ててきた牛が枝肉となり、2頭ともA5ランクという結果だったので嬉しいと感じました。

和牛甲子園を通して私は、畜産への興味関心が高まりました。そして、和牛の良さをもっと広めていきたいと思いました。何事にも挑戦し続けていくことを大切に、これからも頑張りたいと思います。

(大塚 ゆな)

甲子園では、牛が大好きな人がたくさんいて、私たちとは違う思いを抱えてきていることを話す前から感じました。交流会では全ての名刺を交換することができました。一番最初に交換した人が、将来の夢や和牛の好きなところなどでほぼ回答が一緒でとても仲良くなれたので嬉しかった。

(川崎 日葵)

朝早くから中央卸売市場に行き出品した牛の枝肉を見に行きました。農高の牛は他の学校よりも比較的小さかったです。評価では瑕疵もなく、良い肉と褒めてもらえたのでとても嬉しかったです。せりの時には買ってもらう方達にお願いしますとみんなで言って実際に目の前で売れた時は和牛甲子園に行くことが決まってから今日まで頑張ってきたので良かったと思いました。

(小谷 早良)

本校の枝肉は、サーロインなど良く霜降りが素晴らしいとの褒めの言葉を頂きました。私たちが放課後ブラッシングを行った牛は、A5をもらいとても嬉しかったです。2日間での知識、他校の取り組みを生かし本校に活かせるようにしたいです。

(田中 そら)

枝肉の評価としては高かったけどやはりサイズが劣っているのかと思いました。優秀賞を取った但馬牛はサイズも大きく素晴らしいかったです。僕たちの高校の取組としては改善点が多かった、枝肉は肉質は良かったがまだ少し直す部分はあった、など自分では思いました。この経験を活かしてまた来年も頑張りたいと思います。

(宮川 璃桜)





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 京都府立農芸高等学校



和牛甲子園に向けて、但馬農業高校と交流したことが一番の思い出です。京都には畜産を学べる高校が農芸高校しかないけれど、近隣の高校生と交流し、いろんな話ができたとがうれしかったです。近畿には、滋賀県の長浜農業や兵庫の但馬農業など、和牛を学ぶ高校生がたくさんいます。今回全農さんに作っていただいたネットワークを大切に、これからも後輩たちに学んでいってほしいと思っています。僕たちが達成できなかった総合優勝という夢も後輩たちに引き継いでいきたいです。(竹内 舞駿)

和牛甲子園に参加し、入賞している学校は常連の学校だなと思いました。また、その学校みんなの意欲が高く、熱意の違いに圧倒されました。私たちも頑張ってきたつもりですが、まだまだ足りないのだと思いました。結果がすべてではないですが、挑戦したからにはいい結果が欲しかったです。「夢未来」号の格付がA5ランクでBMS.No12だったこと、「煌」号の枝肉価格が全体で一番だったことがうれしかったです。少しハートビで、入賞も逃しましたが、日々の努力が報われたようで頑張ってきてよかったなと思いました。(伴 藍花)

3年間この大会を目指して頑張ってきました。最初は参加者の人数制限があり、全員で行けるか分からなかったけど、全員で行けるようにしてくださいました。ありがとうございました。目指していた結果にはならなかったけど、多くの同志と交流できたり、発表を聞くことができ勉強になりました。畜産とは関係ない会社に就職しますが、和牛甲子園を目指して取り組んできた日々を忘れず、これからも頑張っていきたいです。(稲垣 祥駄)

はじめは全く気持ちがなく、当番実習もおろそかにしていました。しかし、コースの仲間や担当牛の飼育をしているうちに、“やらなければならない”と思うようになりました。和牛の飼育を通じて、責任感やチームワークが身についたと思います。先輩方に引き続き、3年連続入賞を目指していましたが、叶わない結果となりました。しかし、この悔しさをバネにこれからも頑張っていきたいと思います。(岡本 大地)

僕は畜産流通コースと畜産部に所属し、3年間牛づけの日々を送ってきました。和牛が好きで、和牛に関わる仕事がしたいと思ってきてくれました。卒業後は岩手県の牧場で働きます。担当してきた和牛やお世話になった方々には本当に感謝しています。先輩方の活躍をいつもそばで見えてきて、僕も「この結果に続きたい」「超えていきたい」と思っていました。今大会はかなり自信があって、取組部門も枝肉部門も入賞が狙えると思っていました。しかし、結果はダメで、ものすごく悔しかったです。特に枝肉では、成績一覧表を見るたびに不思議で、悔しさがこみ上げてきます。(坂本 慶榮)

和牛甲子園を目指して様々な取り組みをしてきました。たくさんさんの経験をさせてもらい、大きく成長できたと思います。先輩方の活躍を見てきて、和牛甲子園での入賞は高校生活集大成の最大の目標でした。結果は残念でしたが、交流会で多くの他県の高校生と交流でき、意見交換をすることができてうれしかったです。(篠山 紡儀)

## 兵庫県立但馬農業高等学校



私たち但馬農業高等学校は今年、第8回和牛甲子園に初出場しました。初出場なので準備不足も多かったなと考えていますが、和牛甲子園への大きな最初の一歩を踏み出せて良かったと感じています。私は人工授精師を目指しているので、この経験を活かして但馬牛発展のために頑張ります。(田中 陽和)

「高校牛児交流会」では、名刺交換や質問をして親睦を深めました。明るい人や熱心な人、色々な人がいて緊張もあったけど有意義な交流会になりました。交流の中で、他校の生徒さんの意欲や意識の高さに驚いたり、もっと勉強しておくんだと反省したりしましたが、これこそが良い経験でした。(小畑 妃奈)

取り組み発表は、残念ながら入賞できませんでしたが、その後の交流会の中で、審査委員の方から「目の付け所も良く、良くまとめられていて、入賞まであともう少しのところですよ。発表方法を工夫してください」との講評を頂きました。来年度への課題もつかめ、今、やる気が「ふつつつ」と湧いてます。(井口 大和)

枝肉共励会では入賞はなりませんが、目標としていた脂肪の質は達成できたと思います。セリでは最高値がつき、会場から思わず感嘆の声が出ました。とても誇らしい瞬間でした。共励会の講評では特筆すべき枝肉として褒めて頂き、それが最高に嬉しくて、これからの但馬牛飼育に対する意欲がわきました。(井上 結希也)



和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 島根県立出雲農林高等学校



私は愛情を込めて2頭を2年間育ててきました。朝・夕の給餌や管理は大変だったけどその分たくさんの愛情をもらいました。私たちが目標としていた最優秀賞を獲得することはできなかったけど、みじゅまる・忠勝と過ごした日々は一生忘れません！

(川上 華)

約2年間飼育をして大変だったけど、この和牛甲子園に参加をしている人みんな大変だったんだなと感じたし、ここまで一緒に頑張ってきて良かったなと思いました。私たちの結果や取り組みをもとに、次の2年生に頑張ってもらいたいです。(中山 さくら)

ずっと一緒に過ごしてきた「みじゅまる」「忠勝」と出場できたことが何より嬉しかったです。入賞は逃したけど沢山の学びや思い出になりました。この2年間は一生の思い出になりました。友達、先生、牛さんたちの感謝でいっぱいです。(三成 遥菜)

入賞はできなかったけど今まで頑張ってきて良かったなとこの大会に参加して改めて思いました。何よりみんな牛愛が強くて牛のことについてたくさん花足をすることができて楽しかったし、嬉しかったです。(石原 叶実)

## 岡山県立瀬戸南高等学校



私が和牛甲子園に出て学んだことは二つあります。一つ目は飼育方法や血統の重要性、餌の工夫が牛の肉質にどれほど影響を与えるかを実感しました。二つ目は仲間と協力しながら牛の世話をすることの重要性を再認識しました。将来は和牛甲子園で得た経験を活かし飼育技術をさらに磨き、地域や全国に誇れる和牛を生産することが目標です！

(増田 息吹)

私は一年生で和牛甲子園に参加できたことはとてもいい経験になりました。大会に参加して良かったことは、命の大切さをより強く学ぶことが出来たことです。他校と交流することでもいいところ、改善が必要など多くなると気づくことが出来たので参考にしていきたいです。たかのひめと過ごして得た経験や想いを今後の大会で活かして頑張りたいです。(井上 木の葉)

私が和牛甲子園に参加してよかったことは、実際に牛の枝肉を見ることができ、より一層命のありがたみを感じ学ぶことができたことです。他校との交流では、発表を聞いて新しい学びを得ることや牛について話す機会ができてとてもいい時間になりました。将来は動物たちを助けていきたいです。(金田 千妃呂)





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 広島県立西条農業高等学校



私たちが娘だといって三年間愛情をそそいでくれた大好きな先生に総合評価部門最優秀賞をいただくことでこれまでの恩返しことができました。しかし目標としていた、取組評価部門・枝肉評価部門ともに最優秀賞を得ることはできなかったので来年後輩に頑張してほしいです。  
(内城 粋咲)

今回の和牛甲子園では、先輩の研究を受け継いだ継続課題と新たに取り組んだ新規挑戦について発表しました。取組評価部門はもっと上の賞を狙っていたので悔しいですが、総合優勝をいただけてとてもうれしいです。ありがとうございました。

(内城 心粹)

今回初めて和牛甲子園に参加して、普段できない全国の農業高校と交流できてとてもいい経験になりました。他校の研究を知って、自分たちの研究にも役に立つ情報があったり質問で新しい考え方に会えたりと発見も多くありました。また、今回は総合優勝といういい結果を残すことができたのでとてもうれしかったです。  
(遠藤 雪鈴)

私は和牛甲子園を通じて、多くの方々の協力があるということを感じました。研究に携わってくださっている企業・大学の方、指導してくださる先生方、一緒に研究をしてきた13人の仲間など、多くの方々の協力があり、和牛甲子園に出場でき、結果を残すことができていると感じました。  
(川岡 春菜)

## 広島県立庄原実業高等学校



今回の和牛甲子園に参加して他校の牛児の人たちと実際に話す機会があり、様々な意見やその学校の取組のことを詳しく聞くことができたことがよかったです。皆から様々なことを聞くことができたいい機会でした。  
(松木 紗希)

今回も入賞することはできませんでしたが、審査委員の方や他校の方にいろいろとアドバイスを頂くことができたのでとても勉強になりました。次回は後輩に託してぜひ入賞してほしいなと思っています。  
(児玉 真梨菜)





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 山口県立大津緑洋高等学校



和牛甲子園は2日あって、1日目は取り組みの表彰がありました。どの高校もとてもいい取り組みをしていてよかったです。その後に他の学校と意見交換などをしました。2日目は枝肉の表彰がありました。とてもいい枝肉ばかりですごかったです。色々な高校と交流できてよかったです。  
(岩本 絃暉)

和牛甲子園に行ったらたくさんの高校生と話して、みんな牛への愛がすごくて、驚きました。初めての枝肉を見て、まつりのお肉がかなりたれていたので、肉のしまりを知れました。  
(山本 陽菜)

今回参加して、一番感じたことは熱量です。全国の人たちのなかには、僕たちとは違って牛と向き合ってきた時間、思いが違うのが伝わってきた。涙を流している人を見ると、それだけ牛のことが大好きなのだなと思った。また、私たち高校生が斬新なアイデアを出すことで、畜産をよりよくできる、とてもよい大会だと思います。  
(西山 昇汰)

## 福岡県立糸島農業高等学校



他校の発表や枝肉を見て、自分たちの課題や目標を見つけることができました。高校生活の最後に和牛甲子園に出場できたこと、とても良い経験となりました。これまでの学びを将来に活かしながら頑張っていきます！そして、今回出会った高校牛児たちとまた出会えることを願っています！  
(向井 優希)

私は、牛と深く関わりたいと思い和牛甲子園への参加を決めました。どうすれば牛が快適に過ごせるか考え、取り組みました。他校との交流の中で新しい視点と知識を得ることができました。この学びを今後に活かします。  
(森内 まお)

和牛甲子園に関わることで、命に感謝することや命の尊さをより強く感じることができました。様々な発表を聞いたり、枝肉を見たりすることでたくさんの刺激を受けました。私たちの研究は終わってしまったけれど、後輩に引き継いでいきたいと思います。  
(津田 舞香)

私は、和牛甲子園に行ったらようやく実感が湧きました。3年生があれだけ頑張っていたのに入賞することができず悔しかったし、どれだけ難しいのかも分かりました。

来年も本気で取り組んで、良い結果を残したいです。

(寺崎 千夏)





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 大分県立久住高原農業高等学校



私たちは牛を出品したのは初めてでした。育てた牛がどのような評価を受けるのか楽しみであり、大切に育ててきた牛とお別れするのは本当に悲しい気持ちでした。また、学ぶことも多くあり肥育の仕方はもちろん命の尊さ、大切さを学ぶことができました。この経験を今後に活かしていきたいとおもいます。(内田 優月)

毎朝早くから三輝に会いに行き、放課後になったらまた三輝に会いに行くというのが私の日課でした。そんな三輝とトラックでお別れをした時は本当に悲しくて涙止まらなかったです。でも、和牛甲子園ではいい結果を残し、大分の桜花久を盛り上げてくれました。本当に感謝でいっぱいです。そして和牛甲子園に出場出来たことは私の一生の宝物です。(永富 美希)

3人で愛情をたくさん込めてきた三輝号の出荷はとても悲しかったです。

しかし、メディアを通して私たちを知ってくれた方々からの優しい声かけや三輝のお肉の感想を聞いて「頑張ってきて良かった」と感極まりました。和牛甲子園を通して県を跨いで高校牛児の輪が広がっていく実感が沸きました。とても楽しくて有意義な高校牛児生活最高でした!!(今村 都)

## 佐賀県立唐津南高等学校



他校と交流して、自分の学校の課題の解決方法を聞いたり、将来のことを話したりすることができました。また発表を見て意見交換をすることで来年に向けての課題が出てきたりととても良い時間を過ごすことができました。(池田 桜栞)

他校の人たちと交流をしたことで私たちとの学校の違いなどを聞くことができました。また課題解決のための話し合いをすることができたので後輩たちに伝えて取り組んで欲しいと思いました。(竹本 穂乃花)





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 長崎県立諫早農業高等学校



私は、今回が2回目の出場でした。前回は取り組み発表のみの参加でしたが、今回は「恵比寿」号を出品しました。和牛甲子園への出場を決めてから、大会まで「恵比寿」号は、私たちと一緒に頑張ってくれました。本当に感謝しています。和牛甲子園は、私にとってとても貴重な経験となりました。特にスライド作成では、第7回和牛甲子園で注意が入った点などを見直し、見やすく分かりやすくなるように工夫しました。この大会で得た経験を今後も生かしたいと思います。

(稲岡 咲朋)

私は、今回の和牛甲子園に参加して、私が最初に想像していたものより全てのレベルが段違いであることに驚きました。初めて和牛を育てて、和牛甲子園に参加したのもありますが、スライドのまとめ方や発表の仕方・内容がとても素晴らしく、上位校はレベルが本当に違うと感じました。本校は肉質A4ランクでしたが、大半の高校がA5ランクで少々悔しい気持ちです。和牛甲子園という大会に参加しているいろいろな経験と思い出を残すことができ、ほんとに良かったと思います。

(岩永 愛奈)

高校に入学して初めてウシに関わった私は、最初は和牛甲子園の存在すら知りませんでした。和牛甲子園は畜産を勉強するうえでとても貴重な経験になり、3年間愛情を持ってウシを育てた経験は大切な思い出となりました。今回、結果は悔しいものとなりましたが、この結果をバネに後輩たちが更なる研究を続け、頑張っしてほしいものと思っています。私自身もこの経験をバネにこれからの生活を頑張っていきたいと思います。

(小笹 智美)

和牛甲子園を通して、命の尊さを改めて感じた経験となりました。私たちが育てた「恵比寿」号は、好き嫌が多く、エサを与えていくのも大変でした。それでも課題を解決しながら、3年間をともに過ごしてきました。3年間と短い期間ではあったものの、出荷のときはとてもつらく悲しい気持ちでした。これが家畜としての運命だど身をもって感じ取ることができました。肉質はA4のBMS7で、悔しい気持ちはあったものの、私たちの肥育のコンセプトが「ウシの健康に配慮した肥育牛の育成」だったので、最後まで健康で元気に育てることが一番うれしく思っています。今回の経験を今後の人生に生かしたいと思います。

(西岳 彩乃)

## 宮崎県立高鍋農業高等学校



第8回和牛甲子園に参加でき、多くの高校生たちが集まり和牛について沢山交流することができました。取り組み発表部門優良賞、枝肉部門、審査委員特別賞という前回に引き続き入賞することができとても嬉しかったです。

(永谷 和希)

初めて現地で参加しました。全国トップクラスの高校がたくさんいて、交流ができ、仲の良い友達もでき、全国に輪を広げることができた。昨年より上をいきたいと仲間と愛牛と頑張ったが悔しかったです。

(石山 弘樹)

全国トップクラスの高校がいて、とても緊張しました。友達もつくれて良かったです。結果は悔しかったのですが、これまで、日々の管理や発表練習に取り組んできましたとても収穫のある大会でした。

(仲武 勇雅)

両部門とも入賞はできたものの、昨年を超えることができませんでした。改めて、牛づくりの難しさを知ることができました。貴重な経験ができました。

(藤井 翔星)

先輩の姿をみて、協力してみんなで考え、自分から行動しないといけないと思いました。あと枝肉の見方や評価を頂き、枝肉について勉強になりました。次は、自分達の代で先輩を超えられるように頑張っていきたいです。

(林田 陸希)



和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 鹿児島県立市来農芸高等学校



牛が大好きな全国の牛児との交流は最高に楽しく、本大会に夢魅せられ3年間の青春をかけてきました。あと一步勝ち切れなかった3大会でしたが、牛児として成長することができ、今後はここで学んだ事や繋がりを大切に畜産業の発展に従事します。高校牛児、先生方、運営陣の皆さん、大変お世話になりました。感謝します。  
(宮脇 優)

目標だった和牛甲子園に参加できとても楽しかったです。他校との交流や先輩牛児の方々のお話も含め深い学びになりました。総合優勝を逃してしまいましたが、両部門で入賞できて嬉しかったです。3年間、仲間と活動してきた成果が発揮できたと思います。これからも、牛と共に夢叶えられるように頑張ります。ありがとうございました。  
(東 希好絆)

僕が大会を通して良かったことは他県の出組を知れたことです。赤めかでおレイン酸の向上を図ったり、ルーメンコントロールで体調管理をしていることなどです。これらの情報はこれからの畜産技術に活用できるのでよい機会となりました。今大会での学びを将来の経営に取り入れていきたいです。ありがとうございました。  
(根釜 由空)

今回2年生として和牛甲子園に参加し、率直な感想として他県の牛児と交流し、仲を深めることもでき、より良い和牛生産を目指す各校の新たな取り組みなども知れた良い機会になりました。また来年も頑張ります。  
(宮下 湧介)

## 鹿児島県立鶴翔高等学校



和牛甲子園に参加して、全国の牛児と交流でき、技術や知識を共有できたことが良かったです。また、自分が育てた和牛の良さを実感し、さらなる向上心が芽生えてきました。来年度に向けて、もっと良い牛を育てようと計画しているところです。  
(谷口 尚彌)





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 鹿児島県立鹿屋農業高等学校



私は肉用牛専攻班、鹿児島黒牛研究部の部員として牛に愛情を持って一生懸命に活動をし、2年連続で和牛甲子園に参加することが出来ました。今回出品した2頭は自信を持って送り出した牛で、「虎大」が最優秀賞を受賞した時は嬉しすぎて泣いてしまいました。この3年間、牛に捧げた愛情が良い結果となって出たのだと思います。これまで肉用牛担当の先生方や先輩達から丁寧に指導を受け、他の関係者の方々からは多くの協力をいただき、皆様には感謝しかありません。後輩達には私自身の経験をしっかりと伝え、引き継ぎます。そして、これから先は次の高校牛児達が活躍できるよう自分が支える側の人になれるよう頑張りたいと思います。最後に、高校生活では「和牛甲子園」という最高の舞台でとても良い経験が出来たと思います。本当にありがとうございました。(浦崎 聖斗)

私は和牛甲子園を通して、春に同じ大学に入学する友達や、全国に多くの友達を作ることが出来てとても嬉しく思いました。これから先、農業分野でまた出会うことや関わることも絶対にあると思うので、大人になった時などに和牛甲子園のことなど、多くのお話をしたいです。今回の和牛甲子園では、取組評価部門では入賞できず、残念で悔しい思いをしました。しかし、枝肉評価部門では2大会連続最優秀賞を取ることができ、自分達だけでなく、先生方や先輩方、後輩達の頑張りが認められたような気がしてとても嬉しく思います。次回の和牛甲子園に向け、自分達の体験からの思いや経験を後輩達に引き継いで、自分達は出来なかった2部門での最優秀賞や総合優勝を狙ってほしいです。全力で応援します。最後に、和牛甲子園に関わる関係者の方々、このような大会を毎年開催してくださり、本当にありがとうございました。貴重な体験はこれからの農業に活かしていきます。(門原 真央)

第8回和牛甲子園において、出品牛である「虎大」と「鹿農261号」の枝肉が高く評価され、「虎大」は枝肉評価部門で最優秀を受賞し、大会初の2連覇をすることができました。今までの努力が実ったようで、とても誇らしい気持ちでいっぱいです。この結果には、自分達の力だけでなく、今までの先輩方や日頃から指導してくださっている先生方、地域の方々などの支えがあったからこそだと思います。私は第7回和牛甲子園に参加したことがきっかけで、もっと畜産について学びたいと思い、県立農業大学校に進学することを決めました。高校卒業後も和牛甲子園出場で培った知識や経験、仲間との繋がり等を活かして、これからの畜産を盛り上げていけるような人材になれるよう日々努力していきます。このようなきっかけをくれた和牛甲子園を開催してくださったJA全農の方々、そして関係者の皆様、本当にありがとうございました。将来は、このような大会に携われるような人材を目指したいと思います。(長嶺 葉月)

和牛甲子園に参加して、他校の生徒と交流し取組発表を聞いたことで、自分には無かった考え方やアイデアなどがあり、生徒同士でも学ぶことが沢山あった。普段では学べないようなことを学ぶ貴重な経験になったと思う。枝肉評価部門では2年連続で最優秀賞を受賞できたのは良かったが、1頭は瑕疵が付いてしまい、課題が残る結果となったため、後輩達に引き継いで来年に向けて頑張りたいと思う。卒業後は東京農業大学に進学するが、和牛甲子園で学んだことや経験したことは進学後や将来の自営の場面でも必ず役に立つと思うので、今回の経験を糧に卒業後も頑張っていきたいと思う。また、自分達を含め、全国の高校牛児の活躍を見て、牛に興味を持つ人が増えて、日本の畜産の未来がもっと明るくなったら良いと思う。(森元 陽哉)

今回の和牛甲子園では、全国の高校牛児と沢山話することができて充実した2日間でした。1年生の時に生まれた子牛が今年の1月には900kgまで成長し、現地で最優秀賞の札が貼られた時はとても嬉しかったです。入学してからほとんどの学校生活を牛舎で過ごし、牛たちに愛情を注いで管理をしていたことに牛が応えてくれて、これからも頑張ろうと思いました。先生が忙しい時などに「任せた」と言われたときは嬉しくなり、いつもより注意深く見回りをしていました。しかし、出荷までは瑕疵が付かないように気を付けて管理していたつもりでしたが、1頭はバラに瑕疵がありました。現地で見た発表は同じ高校生とは思えない研究内容と発想ばかりで、交流会では詳しく話を聞き、牛についても沢山の話が出来たので楽しかったです。審査講評や講演会などを聞き、これからの自分について考えることもできました。進学先の県立農業大学校でも周りの人と協力して、これまで学んできたことに磨きをかけて、誰もが美しいと言ってくれるような美味しい牛肉を作る生産者になりたいです。(山口 蒼真)





和牛甲子園

# 和牛甲子園に参加して

## 鹿児島県立曽於高等学校



今回、初めて和牛甲子園に参加して、他校の方々の取り組み発表や交流を通して、さまざまな知識を身につけることができる良い機会となりました。また、枝肉のセリはなかなか見る機会がなかったので今回の和牛甲子園で見ることができて良かったです。今回は賞を受賞することができなかったのですが、来年は受賞できるように後輩に託したいと思います。(田実 夢佳)

今回和牛甲子園に参加し、良い思い出となりました。そして私にとって一番嬉しかったことは、牛が大好きで牛に真剣に向き合っている生徒と交流ができ、いい刺激を得られたことです。和牛甲子園で出会った生徒に負けずに将来に向けて頑張ります。(児玉 創馬)

初めての和牛甲子園は非日常的で一年間頑張ってきてよかったなと感じました。沢山のことを経験し充実した二日間になりました。とても悔しい思いをしたので来年は良い涙を流せるよう頑張っていきたいです。(末満 結衣花)

初めて参加した和牛甲子園でどのような枝肉がいいのか飼料の与え方で肉質が変わることなどを目の当たりにして多くの貴重な体験を2日間で学ばせていただきました。このような体験をさせていただきありがとうございました。(野口 真優)

今回初めて和牛甲子園に参加できてとてもいい思い出になりました。この二日間でどのような取り組みをすればいいのか、いい枝肉にするにはどのような工夫が必要なのかを知ることができました。今回知ったことを今後の課題として頑張っていきたいです。(吉水 希杜菜)





和牛甲子園

# 大会風景

## 開会前～開会式





和牛甲子園

# 大会風景

## 和牛飼育体験発表会



北海道岩見沢農業高等学校



北海道帯広農業高校



青森県立三本木農業恵拓高等学校



岩手県立水沢農業高等学校



岩手県立盛岡農業高等学校



岩手県立花巻農業高等学校



宮城県農業高等学校



福島県立会津農林高等学校



福島県立磐城農業高等学校



茨城県立水戸農業高等学校



栃木県立宇都宮白楊高等学校



栃木県立鹿沼南高等学校



栃木県立栃木農業高等学校



栃木県立那須拓陽高等学校



栃木県立真岡北陵高等学校



栃木県立矢板高等学校



群馬県立利根実業高等学校



神奈川県立中央農業高等学校



富山県立中央農業高等学校



岐阜県立大垣養老高等学校



岐阜県立加茂農林高等学校



岐阜県立飛騨高山高等学校



愛知県立渥美農業高等学校



滋賀県立長浜農業高等学校



和牛甲子園

# 大会風景

## 和牛飼育体験発表会



京都府立農芸高等学校



兵庫県立但馬農業高等学校



島根県立出雲農林高等学校



岡山県立瀬戸南高等学校



広島県立西条農業高等学校



広島県立庄原実業高等学校



山口県立大津緑洋高等学校



福岡県立糸島農業高等学校



大分県立久住高原農業高等学校



佐賀県立唐津南高等学校



長崎県立諫早農業高等学校



宮崎県立高鍋農業高等学校



鹿児島県立市来農芸高等学校



鹿児島県立鶴翔高等学校



鹿児島県立鹿屋農業高等学校



鹿児島県立曾於高等学校





和牛甲子園

# 大会風景

## 和牛枝肉勉強会および共励会





和牛甲子園

# 大会風景

## 褒賞式～閉会式





# 第8回和牛甲子園 開催要領

## 第8回和牛甲子園 開催要領

### 全国農業高等学校和牛飼育体験発表会および和牛枝肉共励会開催要領

制定 令和6年12月26日

#### 第1章 和牛甲子園 開催概要（趣旨・主催・後援・事務局等）

（趣旨）

第1条 全国の農業高等学校で飼育された和牛を対象に、全国の農業高等学校の生徒を集めて和牛飼育体験発表会（以下、「体験発表会」とする）および和牛枝肉共励会（以下、「枝肉共励会」とする）を開催することで、将来の畜産業の後継者たる農業高等学校の生徒に情報交換・交流の場を提供し、参加者の飼育技術と生産意欲の向上を図るとともに、わが国の農業の後継者・担い手の育成に資することを目的とする。

（主催）

第2条 全国農業協同組合連合会（以下JA全農という）が主催する。

（後援）

第3条 文部科学省、農林水産省、独立行政法人農畜産業振興機構、独立行政法人家畜改良センター、東京都中央卸売市場食肉市場、東京食肉市場株式会社、全国農業高等学校長協会、日本学校農業クラブ連盟、公益財団法人全国学校農場協会、公益社団法人全国食肉学校、一般社団法人全国農業協同組合中央会、JA全農ミートフーズ株式会社の後援とする。

（事務局）

第4条 この事務局はJA全農畜産総合対策部に設置する。また、JA全農ミートフーズ株式会社東日本営業本部内に開催事務局を設置して、開催時等の対応をおこなう。但し、会期中はともに東京都中央卸売市場食肉市場内に置く。

#### 第2章 体験発表会

（開催日時・場所）

第5条 第1条の目的を達成するため、令和7年1月16日に品川グランドホールで行う。

（出場校の資格）

第6条 出場校は日本国内の高等学校で、「枝肉共励会」への出品予定者であること。但し、「出品予定牛のへい死等」もしくは、「第9回和牛甲子園に出品予定の牛がいるが、出荷適齢期ではないため枝肉共励会には出品できない」といった止むを得ない理由で枝肉共励会に出品が出来ない場合に限り、事務局長の承諾の上、体験発表会のみの参加を認める。

（発表内容）

第7条 発表内容は、主に「枝肉共励会」の出品牛を対象とした取組内容（飼養、研究取組、飼育体験その他）とする。





# 第8回和牛甲子園 開催要領

(提出方法)

第8条 発表内容の提出については別表1 第8回和牛甲子園 体験発表会動画規定に留意して応募すること。

(出場校数)

第9条 出場校は40校を予定する。但し事情により変更することもある。

(出場登録)

第10条 出場校は事務局に別紙様式の体験発表会事前審査資料提出表（出場登録用）と事前審査資料の提出を令和6年11月8日までにおこない、出場登録をおこなう。

## 第3章 枝肉共励会

(開催日時・場所)

第11条 枝肉共励会は第1条の目的を達成するため、令和7年1月17日に東京都中央卸売市場食肉市場において開催し、同日に褒賞授与式を品川グランドホールで行う。

(出品資格)

第12条 出品牛は審査において、次の条件に適合するものでなければならない。

- (1) 日本国内の高等学校から出品されたものであり、かつ、最長飼養地・最終飼養地が出品高等学校であること。
- (2) 黒毛和種飼育牛（去勢・雌）であること。
- (3) 子牛登記証または血統証明書を具備し、生産履歴証明書を有していること。
- (4) 1校につき2頭まで出品できる。

(出品頭数)

第13条 出品頭数は63頭を予定する。但し事情により変更することもある。

(出品登録)

第14条 出品校は別紙様式の枝肉共励会出品申込書（出品登録用）を令和6年11月8日までに事務局に提出し、出品登録をおこなう。

(出品牛および枝肉)

第15条 出品牛は令和7年1月15日の13時までに東京都中央卸売市場食肉市場に搬入する。

第16条 出品牛及び枝肉には、主催者が指定する標識を付する。

第17条 枝肉の販売は冷と体で、ロース芯および周囲筋の状態がわかるように、第6、第7肋間筋を切開することとし、出品者は販売を拒むことはできない。

第18条 出品牛及び枝肉の事故による損害、ならびに予見できない瑕疵については、主催者ならびに事務局はその責を負わない。

# 第8回和牛甲子園 開催要領

## 第4章 和牛甲子園開催日程・審査委員・審査方法・褒賞等

(日程等)

第19条 行事日程はおおむね次の順序に従っておこない、詳細日程は別途に定める。

- (1) 生体搬入(測定・計量) : 令和7年1月15日 13:00
- (2) と畜解体 : 令和7年1月16日 9:00～
- (3) 枝肉セリ販売および枝肉共励会 : 令和7年1月17日 9:00～
- (4) 褒賞授与式他 : 令和7年1月17日 13:30～

(審査委員)

第20条 審査委員は、学識経験者および全農職員等から和牛甲子園事務局長が選出・委嘱する。

(審査方法)

第21条

- (1) 審査は、体験発表会を審査する「取組評価部門」と、公益社団法人日本食肉格付協会の牛枝肉取引規格に基づき枝肉審査をする「枝肉評価部門」とし、審査方法は別途定める。
- (2) 総合評価部門の審査にあたり、2頭出品されている高校においては、成績が優良な方の枝肉1頭を審査対象とする。なお、枝肉評価部門においては、2頭とも入賞の対象となる。
- (3) 原則として、採点結果は公表しない。

(褒賞)

第22条 褒賞は審査の結果、別表2に定めるとおりとする。

## 第5章 出品校に対する補助

(出品牛の運搬に対する補助)

第23条 出品校は出品牛の運搬を全国農業協同組合連合会各県本部、および各県経済農業協同組合連合会、各県農業協同組合(以下「県組織」という)に委託し、積込の場所については、別途指示する。また、事務局は運搬にかかる費用を別表3に従い、出品校に補助する。

(参加に要する旅費・宿泊費の出品校の生徒・引率教員に対する補助)

第24条 事務局は出品校の和牛甲子園参加のために要する旅費・宿泊費を、別表4に従い、出品校に補助する。

(23条・24条以外の経費の出品校負担)

第25条 前23および24条で定めた以外の出品に要する経費は出品校の負担とする。

(対策費の受入・支出および手続き)

第26条 対策費(出品牛の運搬、その他大会経費)の受入・支出および手続き

- (1) 対策費(協賛金等)の受入 : 事業促進費  
受入科目 : 事業促進費－情報宣伝費－外部受入  
科目コード : 551－617－10



# 第8回和牛甲子園 開催要領

- (2) 生体運搬費、およびその他大会経費の支出:事業促進費  
支出科目 : 事業促進費－情報宣伝費－集約  
科目コード : 5 5 1－6 1 7－0 0
- (3) 支出申請期日:出品校は令和7年1月末までに、事務局指定の様式にもとづき、事務局に支出申請をおこなう。
- (4) 支出時期:本会は県組織・各学校の申請にもとづき、令和7年3月末までに各学校等への支出を完了する。

## 第6章 役職員・その他

(役職員)

第27条 和牛甲子園には次の役職をおく。

会長1名、事務局長1名、事務委員 若干名。

なお、会長には主催者であるJA全農の畜産担当常務理事がその職務にあたる。また、事務局長はJA全農の畜産総合対策部長がつとめる。

(その他)

第28条 その他

- (1) 広報活動を目的として、和牛甲子園に関する写真及び映像を印刷物やWEB・SNS・テレビ番組上で掲載をおこなう場合がある。
- (2) 開催要領の解釈その他疑義、および必要な事項は事務局長がこれを決定する。
- (3) 事故防止策および感染症対策は別表5に定めるとおり、開催地の行政機関（東京都等）の要請等と開催会場が定める「ガイドライン」等に則り、適宜対応する。

第29条 この開催要領の適用期間は、次回和牛甲子園開催要領の制定までとする。

以下余白

# 第8回和牛甲子園 開催要領

## 別表1. 第8回和牛甲子園 体験発表会動画規定

体験発表会動画の作成・提出においては、以下の点に留意して応募すること。

### 1 発表時間

#### (1) 計測の開始と終了

- ①発表者が発声を始めた時点から計測を開始し、「終了します」を言い終えた時点までとする。
- ②開始から終了までの時間は、7分前後とすること。

#### (2) 注意事項

- ①発表時間が7分20秒を超過した場合は、1点減点とする。その後30秒超過するごとに1点減点とする。

### 2 撮影場所

- (1) 動画の撮影場所は、学校施設の屋内で行うこと。
- (2) 発表者の声が聞き取りやすい場所での撮影が望ましい。
- (3) 発表者の身振りや表情が分かりやすい光量の場所で撮影が望ましい。
- (4) 撮影後に音声聞き取れるか確認を行なうこと。

### 3 撮影機材

- (1) 撮影機材はビデオカメラ、タブレット端末（ipad）等を用いて撮影する。
- (2) 撮影機材は手持ちではなく、三脚など機材を固定する方法を用いて撮影すること。
- (3) 加工は行なわないこと。

### 4 撮影画面構成

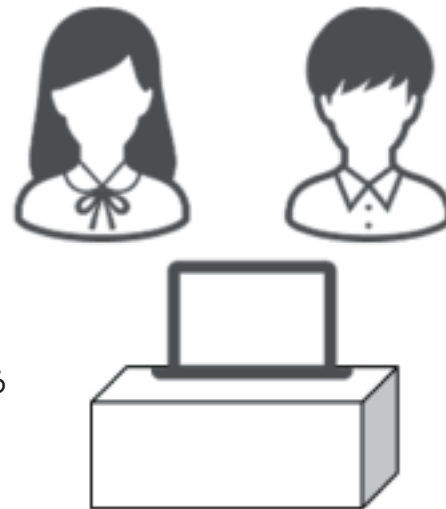
- (1) 登壇する人数に制限は設けないが、発表者含め登壇者は全員顔まで含め上半身以上は必ず映るようにすること。
- (2) 発表者の表情や身振り手振りが分かるような大きさとで撮影すること。
- (3) カメラのピントは発表者に合わせる。
- (4) 発表資料はパワーポイントをスクリーンに映すこと。
- (5) プロジェクターの明るさは一定以上が望ましい。  
(目安として2,000ルーメン以上とする。)
- (6) 撮影画面構成は以下の図を参考にする。



# 第8回和牛甲子園 開催要領



- ・発表者が全員映るようにすること
- ・発表者の表情や身振り手振りが分かるような大きさを撮影すること
- ・ピントは発表者に合わせる



- ・スライド画面の切り替えが見えるようにする
- ・細かい文字は読めない大きさでも可  
(※手元でも資料を確認するため)

(7) 第7回大会の体験発表動画を参考にし、作成すること。

第7回体験発表動画 (YouTube)

URL: <https://wagyu-koushien.com/2023/main/koushien04/torikumi/>

## 5 編集・加工について

- (1) アプリやソフトによる映像・音声加工は禁止する。
- (2) タイトルやテロップ、クレジットの表記は不要とする。

## 6 動画ファイルの仕様とフォーマット (FHD推奨)

- (1) 解像度 : 1080 p
- (2) 動画アスペクト比 : 16 : 9 (ワイド比率)
- (3) ファイル形式 : MOV または MP4
- (4) フレームレート : 30fps

## 7 動画提出締切日

令和6年12月16日13時までとし、事務局へLINE WORKSにて送付する。



和牛甲子園

# 第8回和牛甲子園 開催要領

別表2. 第8回和牛甲子園褒賞一覧

|        |                | 体験発表会  |    | 枝肉共励会  |    |
|--------|----------------|--------|----|--------|----|
| 総合評価部門 |                | 取組評価部門 |    | 枝肉評価部門 |    |
| 最優秀賞   | 1点             | 最優秀賞   | 1点 | 最優秀賞   | 1点 |
| 奨励賞    | 最優秀賞以外<br>全参加校 | 優秀賞    | 2点 | 優秀賞    | 2点 |
|        |                | 優良賞    | 3点 | 優良賞    | 3点 |
| 合計     | 全参加校           | 合計     | 6点 | 合計     | 6点 |

総合評価部門の最優秀賞1校に対し、農林水産省畜産局長賞を授与する。  
ここに定める以外の特別賞等は審査委員会の合意により、適宜設定する。

別表3. 第8回和牛甲子園「枝肉共励会」生体運送に要する経費の補助

| 項目            | 使用基準                                                                                                         | 備考                                              |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 生体運送に要する経費の補助 | 事務局は学校の所在地から開催地（東京都中央卸売市場食肉市場）までの実距離を基準とした別記1の金額か、実経費のいずれかの低い金額を出品校に補助する。ただし、その他経費においては、事務局が別途支出の可否について検討する。 | 提出書類<br>(支出を証明する書類)                             |
|               | 別記1 生体輸送に要する補助金額基準表（税抜価格）                                                                                    | ①運送業者の見積り・請求書と<br>いった金額が明記されたもの<br>②あるいは①にかわるもの |
|               | 生体運搬費補助の基準                                                                                                   |                                                 |
|               | 出品校から開催地（品川）<br>までの距離                                                                                        | 生体運搬費補助<br>（単価）／1頭あたり                           |
|               | 100キロまで                                                                                                      | 11,000                                          |
|               | 200キロまで                                                                                                      | 15,000                                          |
|               | 400キロまで                                                                                                      | 17,000                                          |
|               | 600キロまで                                                                                                      | 19,000                                          |
|               | 800キロまで                                                                                                      | 21,000                                          |
|               | 1,000キロまで                                                                                                    | 23,000                                          |
| 1,000キロ以上     | 25,000                                                                                                       |                                                 |
|               |                                                                                                              | 上記①または②を参加学校毎に事務局に提出すること。                       |
|               |                                                                                                              | ※この書類等の添付がない場合、補助しない。                           |
|               |                                                                                                              |                                                 |
|               |                                                                                                              |                                                 |
|               |                                                                                                              |                                                 |
|               |                                                                                                              |                                                 |
|               |                                                                                                              |                                                 |
|               |                                                                                                              |                                                 |





和牛甲子園

# 第8回和牛甲子園 開催要領

別表4. 第8回和牛甲子園 参加（旅費・宿泊費）に要する経費の補助

| 項目                          | 使用基準                                                                                                                            | 備考                                       |                             |             |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------|-------------|
| 参加旅費・宿泊費の補助                 | 事務局は出品校の生徒および引率教員等により下記の基準に従い支出し、参加旅費・宿泊費を補助する。<br>また、出品校は、補助金の申請にあたり、事務局に支出を証明する書類を提出する。                                       | 提出書類<br>(支出を証明する書類)                      |                             |             |
|                             | (1) (補助対象の範囲)<br>参加1校あたりの補助範囲は、生徒・引率教員等を含め、最大3名までとする。                                                                           | ①利用した交通機関、宿泊施設の領収書<br>(裏面に利用者氏名と押印をすること) |                             |             |
|                             | (2) (旅費・宿泊費に対する補助の基準)<br>旅費と宿泊に対する補助の基準は別記2のとおり。                                                                                | ②または①に代わるもの                              |                             |             |
|                             | 別記2. 参加旅費・宿泊費の補助基準 (税抜価格)                                                                                                       | 上記①または②を参加学校毎に事務局に提出すること。                |                             |             |
|                             | <table><tr><td>生徒・引率教員等の参加旅費・宿泊費の補助</td></tr><tr><td><u>往復にかかる旅費と宿泊費の合計金額の半額</u></td></tr><tr><td>(注) 円未満は切捨て</td></tr></table> | 生徒・引率教員等の参加旅費・宿泊費の補助                     | <u>往復にかかる旅費と宿泊費の合計金額の半額</u> | (注) 円未満は切捨て |
| 生徒・引率教員等の参加旅費・宿泊費の補助        |                                                                                                                                 |                                          |                             |             |
| <u>往復にかかる旅費と宿泊費の合計金額の半額</u> |                                                                                                                                 |                                          |                             |             |
| (注) 円未満は切捨て                 |                                                                                                                                 |                                          |                             |             |
|                             | 注1. 宿泊費は1人1泊12,000円(消費税抜)までを目安とする。                                                                                              |                                          |                             |             |

注1. 宿泊費は1人1泊12,000円(消費税抜)までを目安とする。

別表5. 和牛甲子園大会における事故防止対策・公衆衛生対策

本行事の実施に当たっては、災害の未然防止と来場者等の安全確保のため、非常時における通報連絡体制や避難誘導など、必要な事故防止対策を講じる。

また、各種感染症予防のため、使用会場の「使用ガイドライン」に則り、会場内の換気やこまめな消毒・清掃・手洗いの実施など、必要な公衆衛生対策を適宜実施する。



和牛甲子園

# 審査基準・褒賞について

## 1. 評価部門・褒賞

### (1) 取組評価部門

最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞3点の計6点とする。

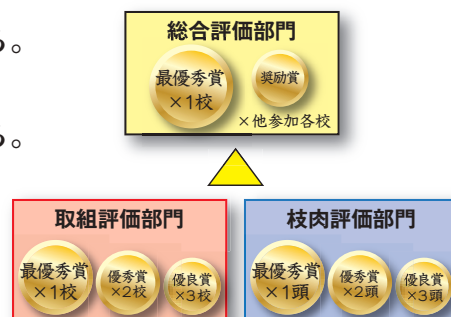
### (2) 枝肉評価部門

最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞3点の計6点とする。

### (3) 総合評価部門

取組評価50点＋枝肉評価50点の合計100点で評価する。

(最優秀賞1点のみで、他は奨励賞)



## 2. 審査基準

### (1) 最優秀賞の決定

取組評価部門（体験発表会）の得点（50点満点）と、枝肉評価部門の得点（50点満点）との合計点数（100点満点）で、総合評価部門の最優秀賞を決定する。

### (2) 取組評価部門（体験発表会）

体験発表会の発表は、審査委員が【表1】の基準により点数評価し、5項目×5点満点／項目×審査委員5名（審査委員6名のうち最低得点者を除く5名）の125点満点を2.5で除した50点満点とする。

### (3) 枝肉評価部門

出品牛は、公益社団法人日本食肉格付協会の牛枝肉格付規格に基づく肉質審査をおこない、格付結果を【表2】の基準により点数評価した、50点満点とする。

【表1】

|   | 評価項目          | 体験発表会評価ポイント                                                                    |
|---|---------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | チャレンジ・挑戦      | 前年と比べてどのような新しい取組みを行ったり、困難に直面したときどのように問題解決を行ったりしたかなど、高校生のチャレンジ・挑戦を評価出来る発表であったか？ |
| 2 | 資料            | 発表資料はわかりやすく、起承転結がしっかりした内容で、誤字脱字がなく、構成・図表等を含め読み手に対して取組内容が的確に伝わるものであったか？         |
| 3 | 内容1（表現）       | 発表は、論理的・客観的で分かりやすく、かつ明瞭簡潔で聞き取りやすく、チームワーク等も伝わる意欲溢れた内容であったか？                     |
| 4 | 内容2（目的・創意工夫等） | 取り組むべき目標を計画的に進め、高校生らしい創意工夫や独自性がある目的意識を持った取組内容であるか？                             |
| 5 | 総合            | 全体を通して評価すべき内容があれば加算。（加算部分0～5点）                                                 |





和牛甲子園

# 審査基準・褒賞について

【表2】

和牛甲子園：審査基準

|                |                |     | 枝肉評価の得点                                                                     |      | + | 取組評価の得点                                                 |  | = | 合計100点満点     |  |
|----------------|----------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------|------|---|---------------------------------------------------------|--|---|--------------|--|
|                |                |     | 合計50点                                                                       |      |   | 合計50点                                                   |  |   |              |  |
|                |                |     | 加点                                                                          |      |   |                                                         |  |   |              |  |
|                |                |     | +0～7点                                                                       |      |   |                                                         |  |   |              |  |
| 追加<br>加点<br>基準 | ロース芯<br>面積     |     | 令和5年度全国平均<br>(去勢・雌別)より上                                                     | +2   | + | 審査委員5名(審査委員<br>6名のうち、最低得点者<br>を除く5名)×25点/2.5<br>のポイント付与 |  | = | 総合評価<br>100点 |  |
|                |                |     | 100cm <sup>2</sup> (去勢)以上<br>90cm <sup>2</sup> (雌)以上                        | 上記+1 |   |                                                         |  |   |              |  |
|                | バラの厚さ          |     | 令和5年度全国平均<br>(去勢・雌別)より上                                                     | +1   |   |                                                         |  |   |              |  |
|                |                |     | 10cm(去勢)以上<br>9cm(雌)以上                                                      | 上記+1 |   |                                                         |  |   |              |  |
|                | 脂肪酸<br>(オレイン酸) |     | 55%以上                                                                       | +2   |   |                                                         |  |   |              |  |
|                |                |     | 加点                                                                          | 減点   |   |                                                         |  |   |              |  |
| 等級             | BMS            | 基準点 | ±8点                                                                         |      | + |                                                         |  |   |              |  |
| 5等級            | 12             | 35  | ①歩留まり<br>②肉の色沢<br>③脂肪の色沢と質<br>④肉の締まり<br>及びきめ<br>⑤肉付・体形<br>⑥その他<br>(周囲筋の状態等) |      | + | ※(25点/審査委員)×5名/2.5                                      |  | = |              |  |
|                | 11             | 33  |                                                                             |      |   |                                                         |  |   |              |  |
|                | 10             | 31  |                                                                             |      |   |                                                         |  |   |              |  |
|                | 9              | 29  |                                                                             |      |   |                                                         |  |   |              |  |
|                | 8              | 27  |                                                                             |      |   |                                                         |  |   |              |  |
| 4等級            | 8              | 22  |                                                                             |      |   |                                                         |  |   |              |  |
|                | 7              | 20  |                                                                             |      |   |                                                         |  |   |              |  |
|                | 6              | 18  |                                                                             |      |   |                                                         |  |   |              |  |
|                | 5              | 16  |                                                                             |      |   |                                                         |  |   |              |  |
| 3等級            | 5              | 12  |                                                                             |      |   |                                                         |  |   |              |  |
|                | 4              | 10  |                                                                             |      |   |                                                         |  |   |              |  |
| 2等級            | 3              | 8   |                                                                             |      |   |                                                         |  |   |              |  |
|                | 3-1            | 6   |                                                                             |      |   |                                                         |  |   |              |  |

上記①～⑥の内容の良  
好な項目を加点する  
(全+8点)

上記①～⑥の内容の劣  
る項目を減点する  
(全-8点)

上記①～⑥の内容の良  
 好な項目を加点する  
 (全+8点)

上記①～⑥の内容の劣  
 る項目を減点する  
 (全-8点)

※(25点/審査委員)×5名/2.5

○枝肉部門の配点は、50点満点とする。

○ロース芯面積について、令和5年度全国平均（去勢・雌別）を越えたら2点加点

○バラ厚さについて、令和5年度全国平均（去勢・雌別）を越えたら1点加点

○脂肪酸（オレイン酸）の数値について、55%以上は2点加点

【加点基準】

| 令和5年度<br>令和5年4月-令和6年3月 | ロース芯面積<br>(胸最長筋面積)                                                                | バラ厚さ                                                  | 脂肪酸<br>(オレイン酸) |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|----------------|
| 黒毛去勢牛 全国平均             | 68.8cm <sup>2</sup>                                                               | 8.4cm                                                 |                |
| 黒毛めす牛 全国平均             | 66.4cm <sup>2</sup>                                                               | 8.0cm                                                 |                |
| 加点基準                   | ①平均を越えたら<br>2点加点<br>②去勢牛 100cm <sup>2</sup><br>めす牛 90cm <sup>2</sup><br>以上で更に1点加点 | ①平均を越えたら<br>1点加点<br>②去勢牛 10cm<br>めす牛 9cm<br>以上で更に1点加点 | 55%以上で2点加点     |

参考資料：公益社団法人日本食肉格付協会



和牛甲子園

# 審査基準・褒賞について

## 3. 褒賞一覧

| 褒 賞 名 |                          | 総合<br>評価部門       |             |             | 取組<br>評価部門       |             |             | 枝肉<br>評価部門       |             |             |
|-------|--------------------------|------------------|-------------|-------------|------------------|-------------|-------------|------------------|-------------|-------------|
|       |                          | 最<br>優<br>秀<br>賞 | 奨<br>励<br>賞 | 参<br>加<br>賞 | 最<br>優<br>秀<br>賞 | 優<br>秀<br>賞 | 優<br>良<br>賞 | 最<br>優<br>秀<br>賞 | 優<br>秀<br>賞 | 優<br>良<br>賞 |
| 1     | 全国農業協同組合連合会会長賞           | 1                |             | ※           |                  |             |             |                  |             |             |
| 2     | 農林水産省畜産局長賞               | 1                |             |             |                  |             |             |                  |             |             |
| 3     | 独立行政法人農畜産業振興機構理事長賞       | 1                |             |             | 1                | 2           | 3           |                  |             |             |
| 4     | 独立行政法人家畜改良センター理事長賞       | 1                |             |             | 1                |             |             | 1                |             |             |
| 5     | 東京都中央卸売市場食肉市場場長賞         | 1                |             |             | 1                |             |             | 1                |             |             |
| 6     | 東京食肉市場株式会社社長賞            | 1                |             | ※           |                  |             |             | 1                | 2           | 3           |
| 7     | 全国農業高等学校長協会賞             | 1                | 39          |             | 1                | 2           | 3           |                  |             |             |
| 8     | 公益財団法人全国学校農場協会賞          | 1                | 39          |             | 1                | 2           | 3           |                  |             |             |
| 9     | 公益社団法人全国食肉学校賞            | 1                | 39          |             |                  |             |             |                  |             |             |
| 10    | くみあい飼料工場会長賞              | 1                |             |             |                  |             |             |                  |             |             |
| 11    | 公益社団法人日本食肉格付協会会長賞        |                  |             |             |                  |             |             | 1                |             |             |
| 12    | JA全農ミートフーズ株式会社社長賞        |                  |             |             |                  |             |             | 1                |             |             |
| 13    | JA全農ミートフーズ株式会社 東日本営業本部長賞 |                  |             |             |                  |             |             |                  | 2           | 3           |
| 14    | 全農畜産サービス株式会社社長賞          | 1                |             | ※           |                  |             |             |                  |             |             |
| 15    | 株式会社日本農業新聞社長賞            | 1                | 39          |             |                  |             |             |                  |             |             |
| 16    | 三洋貿易株式会社                 |                  |             | ※           |                  |             |             |                  |             |             |

※…全出場校に記念品贈呈

※…「東京食肉市場株式会社社長賞」は参加校全63頭分に贈呈





# 協力者一覧

和牛枝肉共励会への出品にあたり、全国の高校からの  
集荷・運搬について、以下の方々にご協力をいただきました。  
(※敬称略)

協力：古川牧場株式会社（群馬県利根郡）  
株式会社吉博畜産（栃木県河内郡）  
株式会社昌栄（群馬県佐波郡）  
防長運輸産業株式会社（福岡県粕屋郡）  
有限会社尾嶋運送（鹿児島県出水市）  
有限会社みかさ運送（鹿児島県阿久根市）  
多久島運送有限会社（佐賀県伊万里市）  
連協運送有限会社（大分県玖珠郡）  
株式会社MY・LIFE（広島県三次市）  
有限会社津村運送（鳥取県八頭郡）  
柏 慶太氏（富山県島川郡）

大会の開催と運営にあたり、以下の大学の協力をいただきました。  
(※敬称略)

協力：○帯広畜産大学  
○東京農業大学  
○酪農学園大学

ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

畜産映像情報

# がんばる! 畜産! 8



日本中央競馬会  
特別振興資金助成事業

今、畜産業は担い手不足や国際化の進展など、大きな変化の局面にあります。そんな中、飼料を自ら生産したり、省力化を図ったりと、さまざまな工夫で素晴らしい経営を行っている生産者がたくさんいます。

このサイトでは、そうした各地の優れた畜産経営や、後継者の活躍、おいしくて安全な畜産物を消費者の方々に届けるまでを映像で紹介します。

この映像情報を生産者の方はもとより消費者の方々と共有することで、元気で健全な畜産の発展につなげることを目指しています。



## なるほど! 畜産現場

このコンテンツでは、畜産物ができるまでや、現場を支える職人たち、馬事文化などあまり知られていない様々な畜産現場を紹介します。

### ●配信中の内容●

総集編 思いが繋ぐ畜産の未来／総集編 畜産DX 2023／明るい未来へ向けて畜産DXの取り組み／東北一の酪農郷葛巻町の酪農に迫る ほか

## 畜産トレンド発見!

このコンテンツでは、生産現場での省力化技術や、飼料用米やエコフィードなどの活用による飼料コスト削減など、「技術」に着目して各地の事例を紹介します。

### ●配信中の内容●

天皇杯受賞等から見る畜産優良経営／乳用牛改良の取り組み／地域ぐるみで国産飼料生産!／令和5年度全国優良畜産経営管理技術発表会  
ほか

グリーンチャンネル  
でも放送中

--- 放送日 ---  
毎週月～金曜日  
朝7時～

## 「がんばる! 畜産! 8」

URL : <https://jlja.lin.gr.jp/ganbaruchikusan/>

(お問合せ先)

公益社団法人中央畜産会 経営支援部 (情報)

TEL : 03-6206-0846 FAX : 03-5289-0890



# いのちをいただき、未来につなげる。



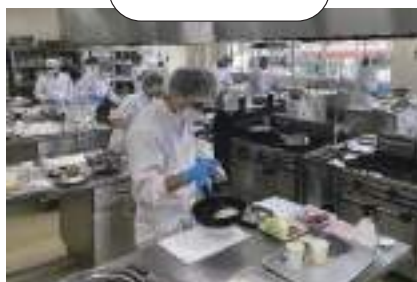
豊富なカリキュラムと  
実習教材



充実した設備



行事ごとに深まる絆



## 令和7年度学生募集中

| 科・コース       | 総合養成科                                  | 総合養成科<br>前期コース                 | 食肉販売科                         |
|-------------|----------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 募集人員        | 30名                                    |                                | 20名                           |
| 修学期間        | 入学4月8日(火)<br>卒業2月27日(金)<br>1年          | 入学4月8日(火)<br>卒業9月26日(金)<br>6カ月 | 入学4月8日(火)<br>卒業7月4日(金)<br>3カ月 |
| 出 願<br>受付期限 | 令和7年3月14日(金)まで<br>ただし、募集定員に達し次第締め切ります。 |                                |                               |

※入学・卒業日については都合により変更する場合があります。



公益社団法人 全国食肉学校

Federal Meat Academy

〒370-1103 群馬県佐波郡玉村町大字樋越1794

お問合せ先

TEL0270(65)2571

FAX0270(65)9274

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.fma.ac.jp>

Eメール / [fma@fma.ac.jp](mailto:fma@fma.ac.jp)

それで、常に一步先を  
歩んできた商社。

三洋貿易株式会社



**Sanyo Trading**  
Quest for Next



[sanyo-trading.co.jp](http://sanyo-trading.co.jp)

# 世界の技術とともに。

YPTECH will proceed with the dairy and livestock.



## PRODUCTS LINEUP

### 牛用製品

- 乾燥菌体入り混合飼料

**フィブラーゼ**

- パーム油脂脂肪酸カルシウム

**マグナパック®**

- パーム油脂脂肪酸カルシウム + メチオニン

**マグナパック プラス®**

- バイパスコリン

**スターコル60**

- バイパスビタミンC

**テクノコートV70**

- 硫酸亜鉛メチオニン

**バイオメットジンク**

- ハーブ入り混合飼料

**アクティフォー**

### 牛豚用製品

- 活性型酵母

**アクティサフ® Sc 47**

- 植物性粉末油脂

**パームファット**

- 消化吸収性に優れた

**MCT**

(中鎖脂肪酸トリグリセリド)

- 牛・豚床用マット

**ポビレックス**

- リグノセルロース

**アーボセル**

### 牛豚鶏用製品

- 酪酸ナトリウム・硬化油混合飼料

**ガスターBP70WS**

- カビ毒吸着材

**ミズカバインダー®** 国産

### 豚用製品

- 酵素処理脱皮大豆

**HP300**

- ハーブ入り混合飼料

**フレスタF**

- キラヤ・ハーブ入り混合飼料

**アロメックス Pro**

### 鶏用製品

- 飼料用酵母

**サフマンナン**

- 竹酢液吸着混合飼料

**竹酢パウダー**

- 酵素処理脱皮大豆

**アビスタート**

- ハーブ入り混合飼料

**バイオストロング**

ワイピーテックは三洋貿易グループです

**Sanyo Trading Group**



**株式会社ワイピーテック**

<https://www.yptech.co.jp/>



本社：東京都千代田区大手町1丁目6-1 大手町ビル3階  
 帯広営業所：北海道帯広市東一条南一丁目一番地 東一条ビル3階C号  
 福岡営業所：福岡県福岡市博多区中呉服町1番5号 祐徳ビル1号館

TEL.03-3214-7330 FAX.03-3214-6731

共栄火災

一緒にずっと。安心をもっと。

あなたを、もっと笑顔に。

創業の理念「共存同栄」「相互扶助」のもと、  
これからも皆様の大切な笑顔のために  
安心と安全を提供してまいります。

**共栄火災海上保険株式会社**

〒105-8604 東京都港区新橋 1-18-6  
<https://www.kyoeikasai.co.jp/>

日本農業新聞 電子版

▼詳しくはこちら



成功の秘訣は専門紙！

2025年6月20日まで

# 学割キャンペーン



月額購読料  
半額以下  
**1,100円**

Amazon  
ギフトカード  
**3,000円**  
プレゼント



で届くデジタルメディア



# 和牛新聞



誰でも **登録無料**

毎週木曜日に  
配信します



登録は  
こちら

和牛新聞  
マスコット  
キャラクター  
わぎゅも



和牛の生産から消費まで  
役立つ・気になる  
ニュースが満載

**高校牛児  
必読!!**

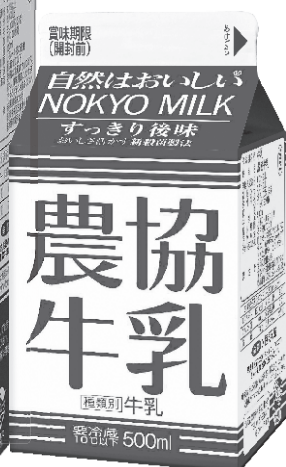
✓ 和牛甲子園の最新情報

✓ 農家注目の技術や種雄牛



日本農業新聞

自然のおいしさを届けたいという  
酪農家の想いが詰まった牛乳です



クセがなく  
すっきりとした後味で  
ごくごく飲める  
おいしい牛乳です。

生乳本来のおいしさを大切に伝えるため、独自の  
製法を活用し自然豊かな牧場の酪農家と共に丹精  
込めて丁寧につくっています。

商品の詳しい情報は、コチラ▶



協同乳業株式会社 **0120-369817**

協同乳業(株)お客様相談室(9:00~17:00)

<https://www.meito.co.jp/>

私たちは、いのちを育み、  
豊かな食を創造し、  
みんなの笑顔をサポートします。



牛群管理システム  
「Farmnote Color」

分娩監視システム  
「モバイル牛温恵」



子牛用管理システム  
「アットモーメント」

牛体調監視システム  
「CAPSULE SENSE」



牛用監視カメラ  
「カメセン」

この他にも様々な畜産資材を  
数多く取り揃えております。  
畜産資材をお求めの際はぜひお近くのJAまで!!



全農畜産サービス株式会社  
ZEN-NOH LIVESTOCK CO., LTD.

▽会社HPはこちら



本社 資材・大家畜事業部  
〒135-0041 東京都江東区冬木11-17  
TEL:03-5245-4871

北海道駐在  
〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西1-1  
共済ビル5階  
TEL:070-4422-8092

北九州営業所  
〒810-0073 福岡県福岡市中央区1-4-30  
TM-36ビル303号室  
TEL:092-715-8787

南九州営業所  
〒899-8212 鹿児島県曽於市大隅町月野1587-5  
TEL:099-482-2521

# 祝 第8回全国農業高等学校 和牛枝肉共励会

## 科飼研の提供する和牛用製品ラインナップ



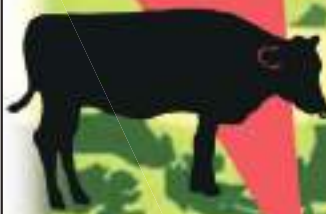
### 繁殖牛

| 商品名    | 特長           | 包装単位  |
|--------|--------------|-------|
| E繁殖    | 繁殖に必要なビタミン補給 | 10kg袋 |
| とまるちゃん | 受胎に必要なアミノ酸補給 | 10kg袋 |



### 子牛

| 商品名           | 特長                  | 包装単位                |
|---------------|---------------------|---------------------|
| さいしょのミルク      | 免疫グロブリン強化           | 250g × 8            |
| ネオドリンクHG      | 速やかなエネルギー補給<br>(液剤) | 30mL × 100、18L      |
| ネオドリンクパウダーBOX | 速やかなエネルギー補給<br>(粉末) | 2kg × 5、20kg        |
| ニューケアフルメイト    | 脱水時のイオンサプライ         | 630g × 10、2.5kg × 2 |
| ミラクルメイト       | 食物繊維(オオバコ粉末)<br>強化  | 2.5kg × 2           |



### 肥育牛

| 商品名          | 特長           | 包装単位  |
|--------------|--------------|-------|
| くみあい起き上がりこぼし | 肥育時のビタミンB群補給 | 20kg袋 |
| ミネビタさじかげん    | 肥育後期のビタミンA補強 | 10kg袋 |
| くみあい喝牛       | 食い止まり対策時に    | 10kg袋 |
| くみあい快食快尿さん   | 雄牛の快尿快食に     | 10kg袋 |



### 防疫・衛生

| 商品名      | 特長              | 包装単位                |
|----------|-----------------|---------------------|
| ロンテクト    | 畜舎、車両、踏込槽、真菌の消毒 | 1L × 10、18LBIB、180L |
| 201プラスR  | 堆肥の発酵促進         | 20kg                |
| デオマジックHG | 糞便臭の対策に         | 1Lパック、16kg缶         |



株式会社 科学飼料研究所  
<https://www.kashiken.co.jp/>

動薬部  
札幌事業所  
東日本事業所  
東北駐在

TEL:027-347-3223  
TEL:011-214-3656  
TEL:027-346-9091  
TEL:019-637-6050

FAX:027-347-4577

西日本事業所 TEL:099-482-3044  
北九州駐在 TEL:096-294-8322

## 徹底した品質管理と全国ネットワークで 日本の『食生活』を支えることが使命です。



鶏・豚・牛に与える飼料や、食用油・ウイスキー・コーンスターチなど食品の原料となるトウモロコシ・大豆などの穀物は、日本の食生活に欠かすことができませんが、これらはアメリカ・ブラジル・カナダ・豪州など世界各国から輸入されています。

私たち「全農サイロ」は、全国の農業協同組合（JA）が組織する全農グループの一員として、輸入穀物を高い安全性と最新設備を備えたサイロに保管し、飼料メーカーや食品メーカーにお届けしています。

「全農サイロ」は輸入穀物の徹底した品質管理と全国ネットワークで日本の毎日の「食生活」を支えています。



全農サイロ株式会社

# **ホクレンくみあい飼料株式会社**



私たちの使命は、  
高品質で安全・安心な飼料を  
安定的にご提供することです。



|                                 |                       |                  |
|---------------------------------|-----------------------|------------------|
| 本 社                             | 北海道札幌市中央区北4条西1丁目1番地   | TEL 011-222-3301 |
| 釧路西港工場                          | 北海道釧路市西港2丁目101番地3     | TEL 0154-53-2411 |
| 十 勝 工 場                         | 北海道河東郡士幌町字士幌西1線147番地1 | TEL 01564-5-4111 |
| ホクレンくみあい・<br>雪印飼料株式会社<br>(関連会社) | 北海道苫小牧市真砂町36番地12      | TEL 0144-51-5535 |



生産者と共に豊かな食生活を未来へつなぐ

# 『JA全農くみあい飼料』に統合

— message —

「飼料」のプロフェッショナルとして、  
時代の変化と生産者の期待に  
応え続けます。

私たちJA全農くみあい飼料(株)は、2024年4月1日にJA全農グループの飼料会社5社が合併し、新たな一歩を踏み出しました。

JAグループの一員として「くみあい配合飼料」を通じて生産者のニーズに応えるとともに、環境への対応が求められる畜産・酪農でイノベーションをリードし、持続可能な経営を支えていきます。

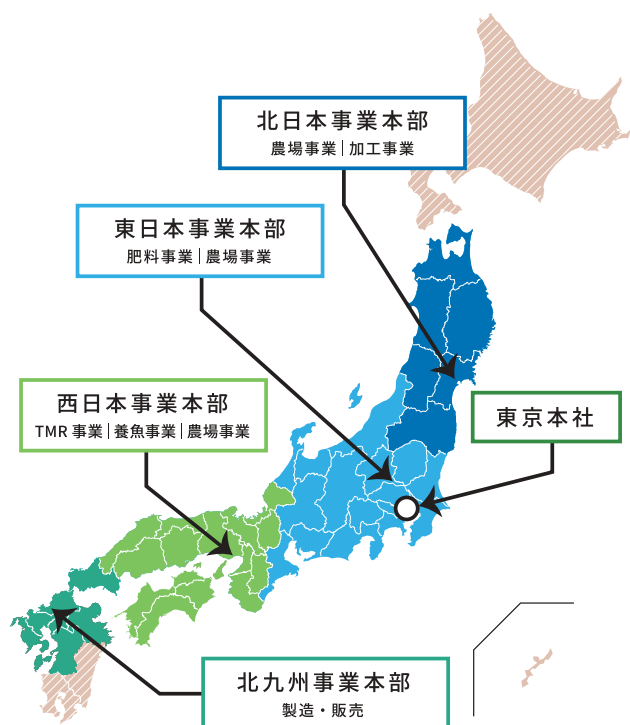
私たちの使命は、従業員一人ひとりが働きがいを感じ、成長できる環境を実現し、豊かな食生活と健康を支える畜産物の生産に貢献することです。

これからも地域に密着し、地域社会に貢献できる仲間と共に「豊かな食生活を未来につなぐ」ことができるよう、努力し続けてまいります。



— service —

日本の畜産業に  
“ALL ONE >>> ONE STOP”で



 JA全農くみあい飼料株式会社

本店：〒373-0015 群馬県太田市東新町 818 番地  
東京本社：〒100-6832 東京都千代田区大手町 1 丁目 3 番 1 号 JAビル 31 階

# くみあい配合飼料は、畜産農家の皆様へ 『安全・安心な飼料』 をお届けします

## 製品の供給エリア/工場配置図



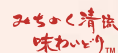
**南日本くみあい飼料株式会社**



## まじめに、チキンと。

私たちは真摯に、丹精込めてつくりあげた  
チキンをまごころ込めて、全国の食卓へお届けしています。  
また、グループ各社が連携し、地域農業の発展に努めるとともに、  
国産鶏肉産業の発展に貢献していきます。

### 全農チキンフーズグループ



アサヒフロイラー 直営店



**ZC** 全農チキンフーズ株式会社

**MC** 宮崎くみあいチキンフーズ株式会社  
**Sumita Foods** 住田フーズ株式会社

**KC** 鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社  
**asahi** 株式会社 アサヒフロイラー



# TAMAGO TRIP

～ たまごが供給されるまで～

## 物流

いつも、いつまでも、たまごがある毎日。ほぼ全国の生産者から安定的にたまごを仕入れ、全国の量販店、食品メーカー、鶏卵問屋などに販売。日本のたまごの安定流通を支えています。

## 相場発表

全国のたまごの需給動向を集約し、東京・大阪・名古屋・福岡の各市場の当日相場をJA全農たまごのホームページにて発表しています。全国の鶏卵取引価格の指標として広く活用されています。

## 品質管理

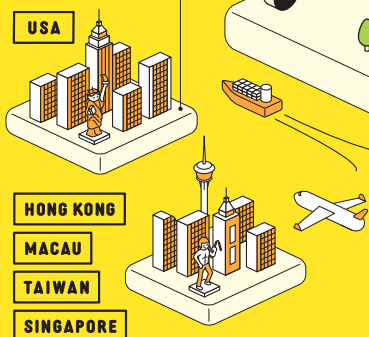
たまごの賞味期限の日付管理を行っています。また、毎年提携生産農場の衛生管理状況などを点検し、高品質で安心できる商品提供をサポートしています。

## 液卵製造・販売

自社工場や提携工場で製造した液卵を、食品メーカー（パン・お菓子・玉子焼など）やスーパーの総菜、外食産業など業務用のお客様に向けて販売しています。

## 輸出

販路拡大に向けてたまごの海外輸出に力を入れています。日本のたまごは、安全性の高いたまごとして香港・マカオなどアジア圏を中心に家庭向けの消費を伸ばしています。



## 外食販売

牛丼・ハンバーガー・ファミレスチェーンなどの外食産業に向けて業務用のたまごを販売しています。

## たまご加工品製造

自社工場や提携工場で、ゆでたまごや温泉たまごを製造し、全国の量販店などへ販売しています。グループ会社の京食品では玉子焼などのたまご加工品を製造・販売しています。

## スイーツショップ

直営のスイーツショップTAMAGO COCCOでは、パティシエがたまごや国産の原料にこだわったお菓子を製造・販売。たまごの美味しさを直接お客様へ届けています。また、パティシエは業務用たまごの商品開発やレシピ開発・食育活動などにも携わっています。



JA全農たまご株式会社

たまごの栄養・味・調理特性・文化など、知られざる「たまごのチカラ」を紹介。

紹介ページはこちら▶



「食」  
に関わること  
すべてが、  
私たち  
JAグループの  
仕事です。



### JA全農ミートフーズ株式会社の事業

日本の農業と農家を、さまざまな事業や活動でサポートしているJAグループ。  
その中でJA全農ミートフーズ株式会社の事業は、  
畜産農家が育てた畜産物を新鮮な状態で、安心して食べていただけるよう、  
消費者にお届けすることや畜産農家のために貢献することです。

**全農** **JA全農ミートフーズ株式会社**

〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル2階 TEL03-5783-9711 FAX03-5783-9716

# みらいへつなぐ 高校牛児の輪



開催日  
2025

1 | 16 | 17 |

1日目 和牛飼育体験発表会 2日目 和牛枝肉共励会

開催場所 東京都中央卸売市場食肉市場・  
品川グランドホール (THE GRAND HALL)



第8回の和牛甲子園ホームページ  
大会の様子はこちらでも  
ご覧いただけます。



## 和牛甲子園について

和牛甲子園は、和牛を飼育する全国の農業高校の生徒、高校球児ならぬ「高校牛児」たちの大会です。育てた和牛の肉質と、飼育に関する日頃の取り組み内容を競います。全農は(1)将来の担い手候補である高校生の就農意欲の向上(2)日本各地で同じ志を持つ高校生同士のネットワークを創出し、意欲と技術の向上を図る—の2点を目的に、和牛甲子園を開催しています。



※ 高校牛児とは、JA全農が応援する全国の農業高校で和牛を飼う生徒のことです。

## 全国25道府県40校63頭がエントリー！

| No. | 第8回参加校              | No. | 第8回参加校              |
|-----|---------------------|-----|---------------------|
| 1   | 北海道 北海道岩見沢農業高等学校 ※初 | 21  | 岐阜県 岐阜県立加茂農林高等学校    |
| 2   | 北海道 北海道帯広農業高等学校 ※初  | 22  | 岐阜県 岐阜県立飛騨高山高等学校    |
| 3   | 青森県 青森県立三本木農業恵拓高等学校 | 23  | 愛知県 愛知県立渥美農業高等学校    |
| 4   | 岩手県 岩手県立水沢農業高等学校    | 24  | 滋賀県 滋賀県立長浜農業高等学校    |
| 5   | 岩手県 岩手県立盛岡農業高等学校    | 25  | 京都府 京都府立農芸高等学校      |
| 6   | 岩手県 岩手県立花巻農業高等学校    | 26  | 兵庫県 兵庫県立但馬農業高等学校 ※初 |
| 7   | 宮城県 宮城県農業高等学校       | 27  | 島根県 島根県立出雲農林高等学校    |
| 8   | 福島県 福島県立会津農林高等学校    | 28  | 岡山県 岡山県立瀬戸南高等学校     |
| 9   | 福島県 福島県立磐城農業高等学校    | 29  | 広島県 広島県立西条農業高等学校    |
| 10  | 茨城県 茨城県立水戸農業高等学校    | 30  | 広島県 広島県立庄原実業高等学校    |
| 11  | 栃木県 栃木県立宇都宮白楊高等学校   | 31  | 山口県 山口県立大津緑洋高等学校    |
| 12  | 栃木県 栃木県立鹿沼南高等学校     | 32  | 福岡県 福岡県立糸島農業高等学校    |
| 13  | 栃木県 栃木県立栃木農業高等学校    | 33  | 大分県 大分県立久住高原農業高等学校  |
| 14  | 栃木県 栃木県立那須拓陽高等学校    | 34  | 佐賀県 佐賀県立唐津南高等学校     |
| 15  | 栃木県 栃木県立真岡北陵高等学校    | 35  | 長崎県 長崎県立諫早農業高等学校    |
| 16  | 栃木県 栃木県立矢板高等学校      | 36  | 宮崎県 宮崎県立高鍋農業高等学校    |
| 17  | 群馬県 群馬県立利根実業高等学校    | 37  | 鹿児島県 鹿児島県立市来農芸高等学校  |
| 18  | 神奈川県 神奈川県立中央農業高等学校  | 38  | 鹿児島県 鹿児島県立鶴翔高等学校    |
| 19  | 富山県 富山県立中央農業高等学校    | 39  | 鹿児島県 鹿児島県立鹿屋農業高等学校  |
| 20  | 岐阜県 岐阜県立大垣養老高等学校    | 40  | 鹿児島県 鹿児島県立曾於高等学校    |

主催 **全農** 全国農業協同組合連合会 (JA全農)

後援 文部科学省、農林水産省、独立行政法人農畜産業振興機構、  
独立行政法人家畜改良センター、東京都中央卸売市場食肉市場、  
東京食肉市場株式会社、全国農業高等学校長協会、  
日本学校農業クラブ連盟、公益財団法人全国学校農場協会、  
公益社団法人全国食肉学校、一般社団法人全国農業協同組合中央会、  
JA 全農ミートフーズ株式会社

【お問合せ】JA全農 畜産総合対策部 ☎03-6271-8216

